

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

ソフトウェア資産

ビルド番号 : 27



利用規約

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	11
ソフトウェア資産モジュールの対象ユーザ	11
ソフトウェア資産モジュールの使用目的	11
本マニュアルの使用方法	12
1. ソフトウェア資産管理: 利害	15
なぜ、ビジネスはソフトウェア資産管理を実施すべきなのでしょうか?	15
効率的なソフトウェア資産管理の利点	16
既存のライセンスタイプを把握する	17
ソフトウェア資産管理を実装する	17
AssetCenterのソフトウェア資産の管理方法	20
2. ライセンス、資格、インストール、使用、契約	21
ソフトウェア管理に関連するテーブル	21
インストール/使用とライセンスの間のリンク	23
管理タイプ	24
ソフトウェア資産モジュール: 実装の順序	24
レコードの作成方法	25
[ソフトウェアの管理] ウィザード構造 (sysSamLauncher)	25
3. 準備タスク	27

適切なライセンスをAssetCenterデータベースに挿入	27
Windowsクライアント：必要なモジュールを起動	27
専門分野の既存データベースへのインポート	28
AssetCenterのインストールに関する詳細	29

4. ソフトウェアライセンス管理 31

ライセンス契約を作成する	31
ソフトウェアの管理ウィザード (sysSamLauncher) で現在の契約を選択する	33
自動契約承認	33
ライセンス契約を変更する	41
新規メンテナンス契約を契約ライセンスに関連付ける	42
現在の契約に関連付けられているメンテナンス契約を変更する	42
現在の契約に資産を追加する	43
請求明細を現在の契約にリンク	43

5. ソフトウェアライセンス管理 45

ソフトウェアライセンスの属性を作成する	45
ソフトウェアライセンスモデルを作成する	46
ソフトウェアライセンスの作成	46
ソフトウェアライセンスの変更	47
新規ソフトウェアライセンスを依頼する	48
ライセンスを削除する	49

6. ソフトウェア資格の管理 51

ライセンスのための特定資格を作成する	51
ライセンスの特定資格を変更する	52
ライセンスの特定資格を削除する	52

7. ソフトウェアのインストールと使用の管理 55

インストール/使用を自動作成する	55
インストール/使用を手動で作成する	61
違反インストールが発生した場合に自動メッセージを送信する	64
インストール/使用を削除する	65
不明なインストールの照合更新	66
OEMインストールとしてインストールをフラグ	67
ユーザを現在のASP契約に追加	68
現在のASP契約からユーザを削除	68

8. インストールのライセンスコンプライアンスを監視する	71
概要	71
ソフトウェアカウンタの作成	76
ソフトウェアカウンタを変更する	82
ソフトウェアカウンタの結果の更新	84
インストール/使用とライセンス間の不整合を処理する	86
「旧モード」ソフトウェアカウンタ	87
ライセンス数超過の場合に自動メッセージを送信する	88
ソフトウェアカウンタを定期的に検証する	89
9. レポートとグラフの表示	91
ソフトウェアのコントロールパネルの表示	91
ソフトウェアに関するレポートを表示する	92
10. 実用例	93
一般情報と必要条件	93
実用例1: 必要品目の作成	94
実用例4: 契約ライセンスを作成する	95
実用例3: 契約ライセンスの承認を管理	107
実用例1a: ライセンスとインストールに対する単純なカウンタの作成	118
実用例1b: 特定の部署にカウンタの範囲を制限	124
実用例1c: 権限の内部割り当て	126
実用例1d: 実際のソフトウェア使用の考慮	129
実用例2: Microsoft Select契約	131
11. 用語集	151
ソフトウェアのインストール/使用	151
ソフトウェアライセンス	152
ライセンスの権限	152
ソフトウェアカウンタ	152
特定資格	152
棚卸されたモデルの正常化	153
ITIL	153
12. 参考情報	155
ナビゲーションバー、メニューとタブ	155
Windowsクライアントツールバーのアイコン	160
Windows クライアントのインタフェースのオプション	160
テーブル	160

テーブルの関係	162
リストデータ	164
特殊フィールド	165
カウンタ	166
アクションとウィザード	166
ワークフロー	170
AssetCenter Serverモジュール	172
システムデータと専門分野データ	172
レポートと書式	173
バックグラウンドプロセス	174
API	174
ビュー	174
その他のマニュアル	174
インデックス	177

図の一覧表

1.1. ソフトウェア資産の管理	18
2.1. 物理データモデル	23
8.1. カウンタにリンクされたテーブル	73
8.2. 特定資格に関連するテーブル	74
8.3. カウンタ、資格、ポートフォリオ品目間のリンク	75

表の一覧表

2.1. テーブル	21
4.1. ライセンス契約承認 - 契約の承認ワークフローチャート	34
7.1. スキャンインポート - 前回のスキャンで見つからなかったソフトウェアの検出ワークフローチャート	60
7.2. ライセンスコントロール - 違反インストールワークフローチャート	64
8.1. カウンタ - カウントに使用できるフィールド	81
8.2. カウンタ - インストール/使用の識別に使用できるフィールド	81
8.3. カウンタ - ライセンス/資格の識別に使用できるフィールド	81
8.4. カウンタ - 資格の識別に使用できるフィールド	82
8.5. ライセンスコントロール - ライセンス数の不足ワークフローチャート	88
8.6. ライセンスコントロール - ライセンス数の定期検証ワークフローチャート	89
12.1. ソフトウェア資産モジュールのナビゲーションバーリンク、メニューとタブ - 一覧	155
12.2. ソフトウェア資産モジュールのテーブル - 一覧	160
12.3. テーブル間の依存関係 - 表	162
12.4. リストデータ - 一覧	164
12.5. 特殊フィールド - 一覧	165
12.6. アクションとウィザード - 一覧	166
12.7. ワークフロー - 一覧	171
12.8. AssetCenter Server モジュール - 一覧	172
12.9. その他のマニュアル - リスト	175

はじめに

ソフトウェア資産モジュールの対象ユーザ

ソフトウェア資産モジュールは、ソフトウェア資産をそのライフサイクルの各段階で管理、制御、保護する組織を対象としています。

ソフトウェア資産モジュールの使用目的

ソフトウェア資産モジュールを通常使用するユーザが実行する作業を以下に挙げます。

- ソフトウェア契約データベースを入力
- ソフトウェアライセンスデータベースを入力（ソフトウェアアプリケーションを使用するための権限の取得）
- インストールデータベースを入力（ソフトウェアアプリケーションを使用するための権限の消費量）
- インストールがライセンスに遵守することを監視
- ソフトウェアポートフォリオ（インストール、更新）を監視

本マニュアルの使用方法

「ソフトウェア資産管理:利害」の章

本章では、ソフトウェア資産モジュールの開発理由について説明します。
ソフトウェア資産管理が大事である理由、AssetCenterでのソフトウェア資産管理方法を把握するには、本章を参照してください。

「ライセンス、資格、インストール、使用、契約」の章

本章では、ソフトウェア資産を管理する、AssetCenterの設計理念について説明します。
ソフトウェア資産管理で実装されるさまざまなメカニズムを把握するには、本章を参照してください。

「準備タスク」の章

本章では、ソフトウェア資産モジュールの使用に先立ち、完了しておく必要のあるタスクについて説明します。

「ソフトウェアライセンス管理」の章

本章では、ライセンス契約の作成、検証および更新の方法について説明します。

「ソフトウェアライセンス管理」の章

本章では、ソフトウェアライセンスと資格の依頼、作成、変更および削除の方法について説明します。

「ソフトウェアのインストールと使用の管理」の章

本章では、ソフトウェアのインストールと使用の依頼、作成、変更、説明および削除の方法について説明します。

「インストールのライセンスコンプライアンスを監視する」章

本章では、カウンタを使用して、取得した権限（ライセンス）の個数が使用した権限（インストール）の個数を満足していることを確認する方法について説明します。

ソフトウェアのインストールが取得した権限と内部資格ポリシーを遵守することを確認する方法を把握するには、本章を参照してください。

「レポートとグラフの表示」の章

本章では、ソフトウェア資産のステータスをまとめるレポートの迅速な表示方法について説明します。

「実用例」の章

本章では、デモデータベースでAssetCenterを使用して実行する実用例を示します。

実用例を一通り実行して、ソフトウェア資産モジュールの使用方法を学習します。

「用語集」の章

用語集には、ソフトウェア資産モジュールで 사용되는主要な用語が含まれています。

「参考情報」の章

本章では、ソフトウェア資産モジュールと併用されるAssetCenterコンポーネントのリファレンスを一覧します。

1 ソフトウェア資産管理: 利害

なぜ、ビジネスはソフトウェア資産管理を実施すべきなのでしょう
うか?

ソフトウェア資産は無形の性質を持つため、有形資産と比べると管理が漠然として
います。

 **重要項目:**

全業態の10%のみが、効率的なソフトウェア資産管理プログラムを実装している
という見積りがあります。

それでもなお、以下の分野でソフトウェア資産はIT支出の大部分を生み出して
います。

- 取得方法
- インストール
- サポート
- メンテナンス
- 使用

重要項目:

多くの組織で、ソフトウェア資産の調達に用いられるIT予算の割合が年々と増えています。

通常、ソフトウェア資産の調達は、IT予算の18パーセントから37パーセントに相当します。

ほとんどの組織では、以下の事柄に無関心です。

- どのソフトウェアがインストールされているか
- どこにソフトウェアがインストールされているか
- ソフトウェアのインストールが、ライセンス権限を遵守しているかどうか

このような情報がないと、組織は以下に挙げる重大なリスクを冒します。

- 所有ライセンス権限が少ない状態で、ソフトウェアを不正に使用してしまう
- 未インストール、未使用のソフトウェアのライセンスを購入して、経費を無駄にってしまう

重要項目:

多くの組織が、10パーセントから15パーセントの割合の多すぎるライセンスを購入しています。

- ソフトウェアの更新の見積りおよび整理が困難になってしまう

効果的なソフトウェア管理と関連する利害の詳細情報は、Business Software Alliance (BSA) Webサイトを参照してください。

▶ [Just ask SAM](http://www.justasksam.co.uk/index.cfm) [http://www.justasksam.co.uk/index.cfm]。

効率的なソフトウェア資産管理の利点

ソフトウェア資産を効率的に管理することで、組織にさまざまな面で利点をもたらします。

- 誰が、どのソフトウェアを使用しているかをいつでも把握できる
- どのソフトウェアのインストールが使用されなくなったかを把握し、ライセンス権限を他のユーザに再割り当てすることで、余分な権限を取得することがなくなる
- 組織におけるソフトウェアの現状と望ましい発展とを把握することで、より良くサプライヤと交渉できるようになる
- より正確に更新を目標とできる
- 不正インストールを排除
- ワークステーションが必要とし適格である更新を、ワークステーションに受信させることができる

- 不正なソフトウェアのインストールによる罰金のリスクを削減できる
 - 不定期の監査期間中、組織のソフトウェアインストールに関するオンデマンドレポートを作成できる
-

 **重要項目:**

効率的なソフトウェア資産管理プログラムを実装する多くの組織は、ソフトウェア調達経費を25%削減しています。

既存のライセンスタイプを把握する

実際のところ各ソフトウェア発行者は、独自のライセンスポリシーを実施していません。

しかし、主要となるライセンスタイプを定義することは可能です。

ライセンス方法に関する興味深い文書がBSA Webサイトにあります。

▶ [Why does licensing matter?](#)

[<http://www.bsa.org/uk/antipiracy/upload/BSA-Licensing-Guide-July-2004.pdf>]

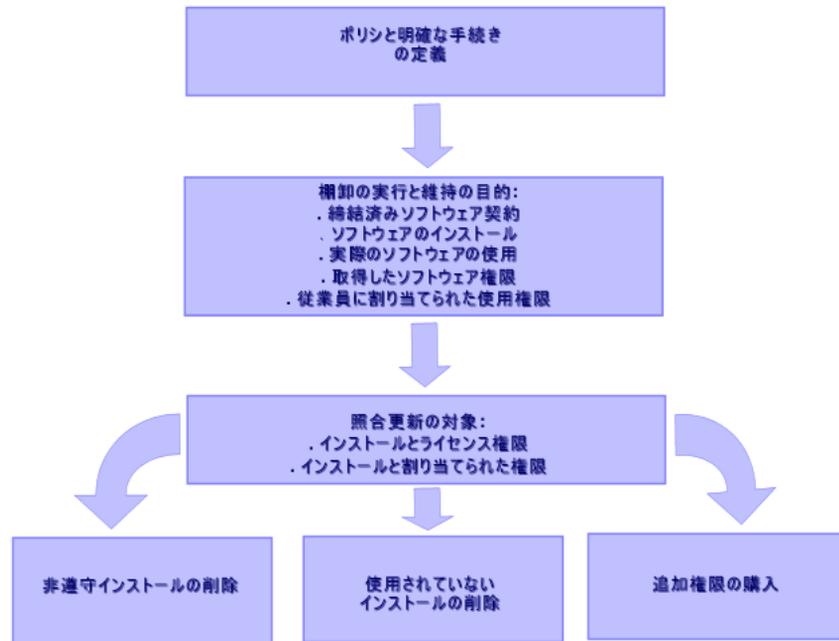
ソフトウェア資産管理を実装する

ソフトウェア資産管理の実装には、ソフトウェア資産をそのライフサイクルの各段階で管理、制御、保護を行うための手続きとツールの実装が必要となります。

ソフトウェア資産を管理することは、その場限りの作業の集積ではありません。継続する、永続的な取り組みです。

ソフトウェア資産管理の実装は、以下に挙げるいくつかの段階で行います。

図 1.1. ソフトウェア資産の管理



- 1 ソフトウェアポリシーを定義し、手続きを明確にします。
 - 事業が法令を遵守していることを再確認するほか、組織に合う、便利さと経済性との最善の比率を維持
 - ソフトウェア調達を集中化
 - ソフトウェア購入依頼の検証手続きを定義
 - 承認済みソフトウェアの一覧を定義
 - 信頼のおけるベンダを選択
 - 購入したソフトウェアの原版（ライセンス、マニュアル、CD、登録カード、請求書など）を、アクセスが制限された確定版ソフトウェアの保管庫に収集して保持。
- 2 インストールされたソフトウェアを棚卸しと実際の使用とを測定します。

この作業の最も効果的な方法は、自動インベントリツールを使用することです。

HP OpenView Enterprise Discovery は、この作業をIT構造全体に対して行います。

このタスクは、サービスプロバイダにより実行できます。

次に、棚卸したデータを、ソフトウェア管理タスクに必要なすべてを実装できるAssetCenterデータベースに転送します。

一度初期棚卸を実行してからは、定期的に棚卸を更新してください。

- 3 取得したソフトウェアインストール権限（ライセンス、契約、請求書、資格）に関する情報を収集します。

以下に挙げる2つの権限が存在します。

- **ライセンス:** サードパーティが発行するソフトウェアアプリケーションをインストールする権限を付与するライセンスです。ライセンスを所有することで、法令を遵守することになります。
- **資格:** ソフトウェアアプリケーションをインストールする権限を従業員に付与する資格です。アプリケーションをインストールする前に資格を待つことで、従業員は社内ポリシーを遵守することになります。

このような情報をAssetCenterデータベース（ライセンス、契約）に格納します。

一度この作業を行ってからは、ライセンスの取得や資格の変更のたびにAssetCenterデータベースを更新します。

AssetCenterの調達モジュールを使用することが、ライセンス取得管理の効率的な方法です。

このようにすることで、データの信頼性が向上します。

- 4 インストールを、取得した権限（ライセンス）と与えられた権限（資格）とで照合更新します。

各ソフトウェアアプリケーションで、以下に挙げる3つの状況の1つが発生することがあります。

- インストール数がライセンス権限数を超過する場合。超過したインストールを削除するか、さらにライセンス権限を購入します。実際のソフトウェアの使用量を測定することが判断の一助となります。
- ライセンス権限数がインストール数を超過する場合。新しいライセンス権限は購入しません。今後の使用のために未使用のライセンス権限をとっておきます。
- 資格が与えられる前にアプリケーションがインストールされている場合、非遵守インストールを削除するか、資格を与えます

効果的なソフトウェア管理プログラムの実装に関する詳細については、BSA Webサイトを参照してください。

▶ [Guide to Software Management](#)

[<http://www.bsa.org/uk/antipiracy/upload/Guide-to-Software-Management-July-2004.pdf>].

AssetCenterのソフトウェア資産の管理方法

AssetCenterのソフトウェア資産モジュールにより、ソフトウェア資産管理プログラムのあらゆる面の処理が支援されます。

このモジュールは、他のAssetCenterモジュール、とりわけ以下に挙げるモジュールと完全に統合されています。

- ポートフォリオ
- 契約
- 調達

AssetCenterも、自動的にソフトウェアを検出して棚卸するEnterprise Discoveryと統合されています。

ソフトウェア資産モジュールを使用して行えることを以下に挙げます。

- ライセンス契約の管理
 - 契約の検証プロセス
 - 新規契約の作成
 - 既存契約の変更
- サードパーティ会社から取得したライセンスの説明
- 権限の内部割り当ての説明
- ソフトウェアインストールの説明
- 実際のソフトウェア使用の説明
- ライセンスとインストールの照合更新
 - ライセンスとインストールの比較
 - 資格とインストールの比較
 - 実際の使用を考慮に入れる不整合の処理
- レポートとグラフの表示

ウィザードはこれらのタスクをガイドします（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）

2 ライセンス、資格、インストール、使用、契約

ソフトウェアアプリケーションの管理とは、ソフトウェアのライセンス契約、資格、インストール/使用、および関連する契約を管理することを意味します。

ソフトウェア管理に関連するテーブル

ソフトウェア資産管理に関するテーブルは、以下のとおりです。

表 2.1. テーブル

テーブル	使用
属性 (amNature)	以下の属性を作成します。 <ul style="list-style-type: none">■ ライセンス■ インストール/使用■ 契約
モデル (amModel)	以下のモデルを作成します。 <ul style="list-style-type: none">■ ライセンス■ インストール/使用■ 契約
棚卸されたモデル (amInventModel)	自動棚卸ツールによるインストール/使用モデルとAssetCenterデータベースのモデルとの間のマッピング

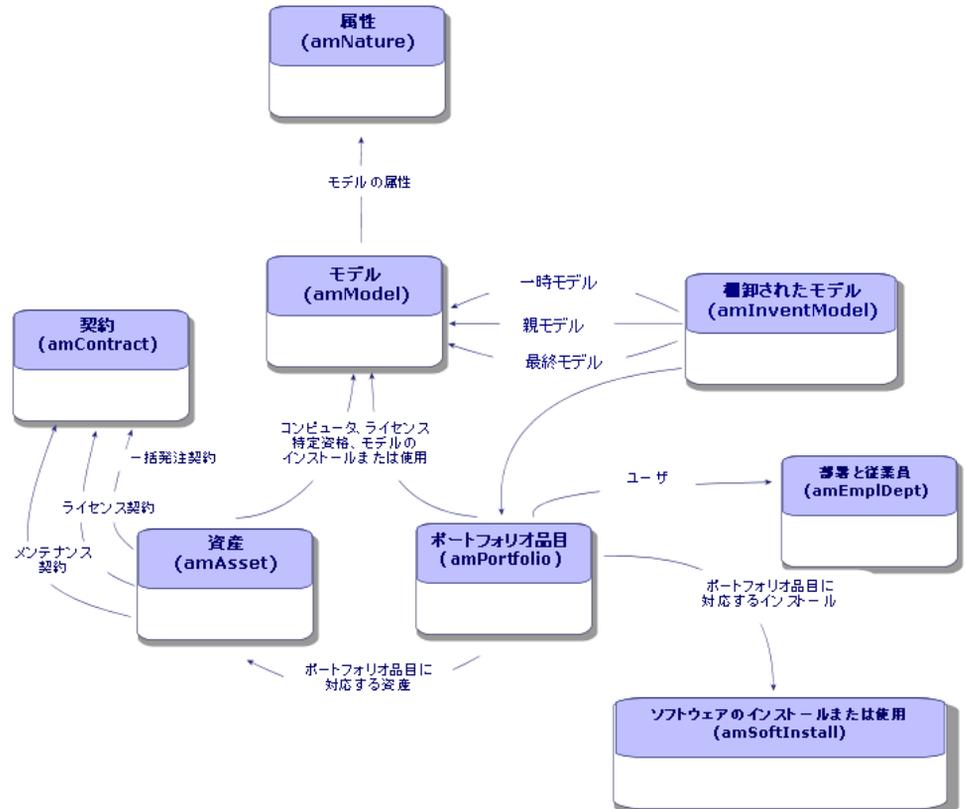
テーブル	使用
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	<p>インスタンスを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ライセンス ■ インストール/使用
資産 (amAsset)	<p>次の品目に該当するポートフォリオ品目が作成されるたびに、[資産]テーブルに該当レコードが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ すべてのライセンス。 ■ [管理条件]フィールド (seMgtConstraint) が「資産タグ」または「固有資産」に設定されている属性に関連付けられたモデルに関連付けられた場合のインストールおよび使用 (▶ 『ポートフォリオ』、「概要」の「3つの管理タイプ」)。
ソフトウェアのインストール (amSoftInstall)	<p>ソフトウェアのインストール/使用に対応するポートフォリオ品目が作成されるたびに、対応するレコードが[ソフトウェアのインストール]テーブルに作成されます。</p>
ソフトウェアカウンタ (amSoftLicCounter)	<p>カウンタを使うことで、ソフトウェアプロバイダと会社の内部方針に適合していることを確認できます。</p> <p>カウンタは、インストール/使用の数とライセンス数とを比較します。</p>
ワークフローチャート (amWfScheme)	<p>このテーブルには、ソフトウェアライセンス管理にリンクされた特定タスクを自動化するワークフローチャートが含まれます。</p>
アクション (amAction)	<p>このテーブルには、ソフトウェアライセンス管理にリンクされた特定タスクを自動化するウィザードが含まれます。</p>
契約 (amContract)	<p>この表では以下のものを作成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要に応じて、取得契約 (ライセンスにリンク) またはメンテナンス契約 (一般にインストール、場合によってはライセンスにリンク)。 ■ Microsoft Selectタイプのマスターリース契約。 ■ ASPタイプの契約。

 **注意:**

契約は、ソフトウェアプロバイダとの合意を記述するために使用します。契約の作成は、契約で記述する必要があるASP合意を除いてオプションです。

ライセンス契約の有無に関わらず、取得した各ライセンスに対してポートフォリオ品目を作成する必要があります。

図 2.1. 物理データモデル



インストール/使用とライセンスの間のリンク

 **注意:**

インストールとは、コンピュータ（個別のワークステーションまたはサーバ）に物理的にインストールされているソフトウェアのことです。

使用とは、インストールしないでユーザがソフトウェアにアクセスできることを意味します。たとえば、インターネットブラウザ経由でアクセス可能なアプリケーションサービスの場合もこれに該当します。

ソフトウェアアプリケーションの実際の使用とは、特定ユーザに対して測定可能なアプリケーションの実使用量のことです。

以下の2つの方法が選択できます。

- ライセンスとそのインストール/使用を直接リンクする。
このためには、フィールドとAssetCenterデータベースでの詳細なトラッキングが必要です。
この方法を採用する場合、まずライセンスを作成し、次にインストール/使用を作成して、対応するライセンスにリンクします。
- ライセンスとインストール/使用を別々に管理する。
これはあまり厳密な方法ではありませんが、最も現実的です。ソフトウェアはライセンスと独立にCD-ROMやサーバからインストールされることが多いからです。
この方法を採用する場合、ライセンスは取得時に作成します。インストールは、実行されたとき、または自動ネットワークスキャンで記録されたときに独立に作成します。
ソフトウェアアカウントを使用することにより、ライセンスとインストール/使用の間に直接のリンクがなくても、これらを調整することが可能です。

管理タイプ

他の資産およびポートフォリオ品目に関しては、ライセンス、インストール/使用に対する管理タイプを選択する必要があります。

これらの管理タイプは、その重要性和記述方法によって異なります。

- 非常に重要で高価値のソフトウェアに対しては、個別管理を適用します（AssetCenter、SAPなど）。
 - ▶ 『ポートフォリオ』、「ポートフォリオ品目」の章、「資産」の節。
- 上記のソフトウェアほどの価値はなく、大量に購入するソフトウェアに対しては、一括管理を適用します（ファイル圧縮ソフトウェアなど）。
 - ▶ 『ポートフォリオ』、「ポートフォリオ品目」の章、「ロット」の節。
- 無料のソフトウェアのユーザ数を把握する必要がある場合は、非個別管理を適用します（RealPlayerタイプのマルチメディアソフトウェアなど）。
 - ▶ 『ポートフォリオ』、「ポートフォリオ品目」の章、「トラッキングしないロット」の節。

ソフトウェア資産モジュール: 実装の順序

- 1 ソフトウェアライセンス契約を作成します。（▶ソフトウェアライセンス管理 [献 31]）

- 2 ソフトウェアライセンスを作成します。(▶ソフトウェアライセンス管理 [献 45])
- 3 特定資格の作成 (▶ソフトウェア資格の管理 [献 51])
- 4 ソフトウェアのインストール/使用の作成やインポートを実行します。(▶ソフトウェアのインストールと使用の管理 [献 55])
- 5 ライセンスに対してインストール/使用が適合していることを確認します。(▶インストールのライセンスコンプライアンスを監視する [献 71])
- 6 会社の状況を分析します。(▶レポートとグラフの表示 [献 91])

レコードの作成方法

契約、ライセンス、資格、インストール/使用、および、ソフトウェアカウンタの各レコードの推奨する作成方法は、ソフトウェアの管理 (sysSamLauncher) ウィザード (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク) を使用します。

このウィザードを使用すると、段階を追ってレコードを作成することができます。

重要項目:

ソフトウェア資産モジュールの使用を開始する場合は特に、ウィザードによってレコードを作成することをお勧めします。

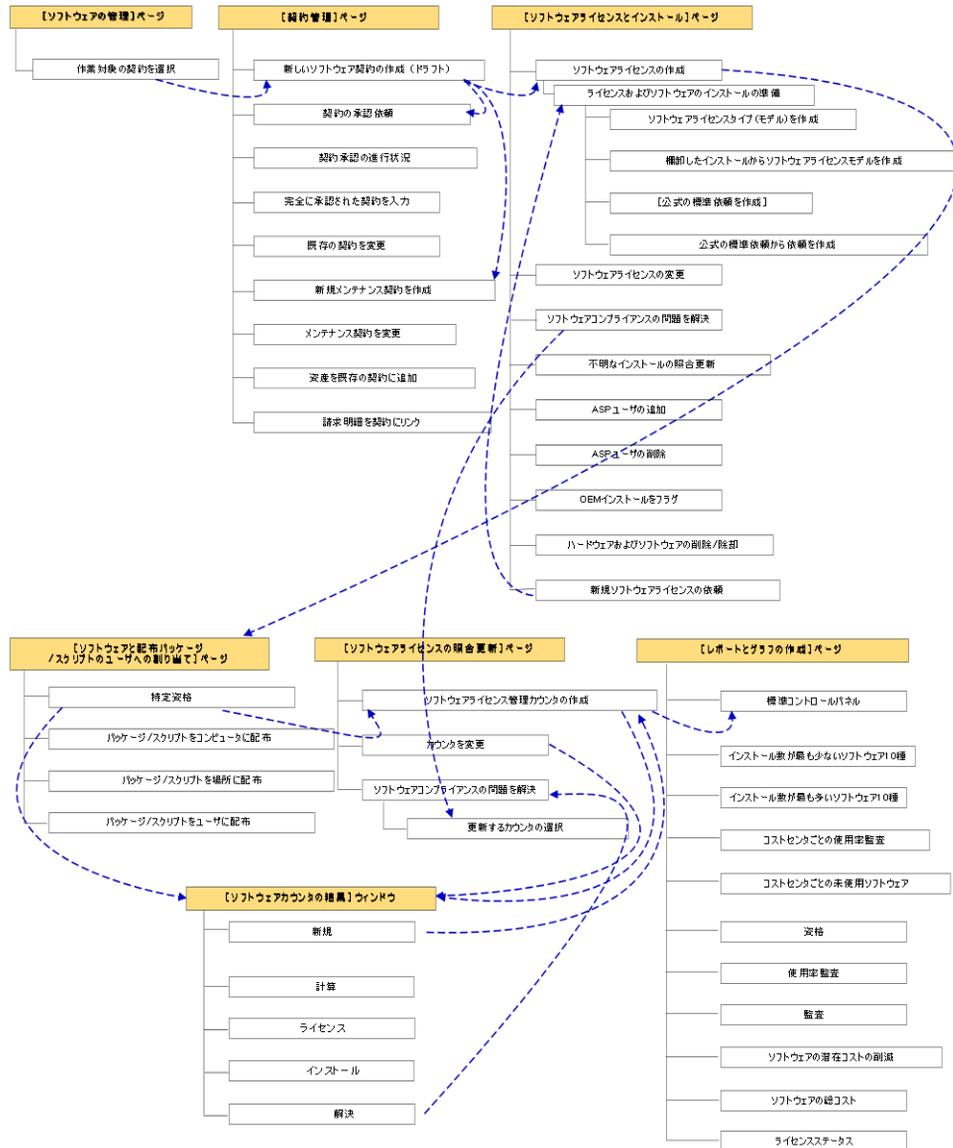
モジュールに慣れたら、ナビゲーションバーのリンクを使用して任意のテーブルのレコードに直接アクセスすることもできます ([ポートフォリオ管理 / ソフトウェアカウンタ] など) 。

[ソフトウェアの管理] ウィザード構造 (sysSamLauncher)

ここでは、[ソフトウェアの管理] ウィザード (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...]) の構造の概要を説明します。

このウィザードには、他のウィザードへのリンクとあわせ、独自のページもあります。

Manage software wizard (sysSamLauncher)



3 準備タスク

本章では、ソフトウェア資産モジュールの使用に先立ち、完了しておく必要のあるタスクについて説明します。

適切なライセンスをAssetCenterデータベースに挿入

AssetCenterライセンスに以下のモジュールが含まれることを確認します。

- ポートフォリオ
- 契約
- ソフトウェア資産

Windowsクライアント：必要なモジュールを起動

- 1 AssetCenter Windowsクライアントを起動します。
- 2 以下のモジュールを起動します（[ファイル/モジュールの起動]メニュー）。
 - ポートフォリオ
 - 契約
 - ソフトウェア資産

専門分野の既存データベースへのインポート

ソフトウェア資産モジュールをデータベースと併用するには、専門分野データをインポートする必要があります。

データベース作成時の専門分野データのインポート

マニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、削除」の章、「AssetCenter Database Administratorを使ってデータベース構造を作成する」の節に記述されている手順に従います。

[インポートするデータ] ページで、以下の項目を選択します。

- ソフトウェア管理 - 専門分野データ
- 契約 - 専門分野データ

既存のデータベースへの専門分野データのインポート

- 1 AssetCenter Database Administratorを開始します。
- 2 [ファイル/開く] メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く(新規データベースの作成)] オプションを選択します。
- 4 [OK] で確定します。
- 5 「gbbase.xml」ファイルを選択します。このファイルは、AssetCenter インストールフォルダ(通常：C:\Program Files\HP OpenView\AssetCenter 5.00 xx)\config のサブフォルダにあります。
- 6 ファイルを開きます ([開く])。
- 7 データベース作成ウィザードを開始します ([アクション/データベースの作成] メニュー)。
- 8 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールド	値
[SQLスクリプトの生成/データベースの作成] ページ	
データベース	専門分野データのインポート先にするデータベースへの接続を選択します。
作成	専門分野データをインポート
高度な作成オプションを使用	このオプションは選択しません。
[作成パラメータ] ページ	

フィールド	値
パスワード	<p>管理者のパスワードを入力します。</p> <p>注意:</p> <p>AssetCenterデータベース管理者は、[名前] (Name) フィールドが「Admin」に設定されている [部署と従業員] (amEmplDept) テーブルのレコードです。</p> <p>データベース接続ログインは、[ユーザ名] (UserLogin) フィールドに保存されます。管理者名は「Admin」です。</p> <p>パスワードは [パスワード] フィールドに保存されます (LoginPassword)。</p>
[インポートするデータ] ページ	
使用可能データ	<p>以下の項目を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェア管理 - 専門分野データ ■ 契約 - 専門分野データ
エラー発生時にインポートを中止	エラーが発生した場合にインポートを中止するには、このオプションを選択します。
ログファイル	エラーや警告などすべてのインポート操作を記録するファイルの完全名。

- 9 ウィザードを使用して定義されたオプションを実行します ([終了])。

AssetCenterのインストールに関する詳細

『インストールとアップグレード』を参照してください。

4 ソフトウェアライセンス管理

ここでは、AssetCenterによるライセンス契約管理の方法について説明します。ライセンス契約は、ソフトウェアプロバイダおよびベンダと決められた条件を記述するために使用されます。

重要項目:

ライセンス契約を実際のライセンス自体（取得したライセンス権限を記述するポートフォリオ品目）と混同してはなりません。

取得した権限と消費した権限を一致させるために、カウンタでは契約でなくてライセンスを基盤として使用します。

ライセンス契約を作成する

ここでは、新しい契約を作成する方法を説明します。

方法1：[ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアプロバイダおよびベンダと締結した契約を収集します。
- 2 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...]リンク）。

- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [契約管理] ページで、[新しいソフトウェア契約(原案)の作成] または [完全に承認された契約を入力] をクリックします。

 **注意:**

[新しいソフトウェア契約(原案)の作成] ボタンは、[契約ステータス] (seStatus) フィールドが「準備中」に設定された契約を作成するために使用します。

[完全に承認された契約を入力] は、[契約ステータス] (seStatus) フィールドが「承認済」に設定された契約を作成するために使用します。

これら2種類のボタンの違いはこれだけです。

- 6 これにより、ソフトウェア契約(原案)を作成 (sysSamCreateSoftContract) ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
契約のすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
ソフトウェア契約(原案)を作成ウィザードによって契約を作成します。

方法2：メニューを使用する

- 1 ソフトウェアプロバイダと締結した契約を収集します。
- 2 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク)。
- 3 新しいレコードを追加します ([新規作成])。
- 4 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	説明
タイプ (seType)	<ul style="list-style-type: none"> ■ [マスターリース]：ソフトウェアベンダのマスターリースがある場合 ■ [ライセンス]：厳密な意味でのライセンス契約の場合 ■ [保険]：サポート契約、アップグレード、ソフトウェアアシュアランスなどの場合
[全般] タブ 親契約 (Parent)	ライセンス契約をマスターリースにリンクするか、保険契約をライセンス契約にリンクするには、
[ライセンス] タブ ライセンス契約タイプ (seLicenseType)	ライセンスタイプを指定します。

フィールドまたはリンク	説明
タブリスト ([ライセンス] (Licenses) リンク)	ライセンス契約で取得されたライセンス権限を記述する資産

ソフトウェアの管理ウィザード (sysSamLauncher) で現在の契約を選択する

ここでは、契約をデフォルトでソフトウェアの管理ウィザードに関連付ける方法について説明します。

デフォルトの契約は、[ソフトウェアの管理] ウィザードからトリガされる他のウィザードが計算に入れます。

注意:

選択した契約は、ウィザードを終了してもそのウィザードに関連付けられたまま残ります。

現在の契約は、AssetCenterデータベースログインに関連付けられているので、ログインごとに異なります。

-
- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
 - 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[作業対象の契約を選択] ボタンをクリックします。
 - 3 これにより、現在のソフトウェア契約を選択 (sysSamGetEnv) ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
契約の選択を確定します ([OK])。

このマニュアルで、現在の契約とは、AssetCenterデータベースへの任意のログインに対してソフトウェアの管理ウィザードに関連付けられている現行契約を指します。

自動契約承認

ここでは、AssetCenterによる契約承認の自動化の仕組みとその設定および組み込み方法について説明します。

概要

ソフトウェア資産モジュールに属するシステムデータには、契約の承認（sysSam_CNTR_APPR）というワークフローが含まれます。
このワークフローチャートによって、ライセンス契約の承認が自動化されます。
このワークフローチャートを次に説明します。

表 4.1. ライセンス契約承認 - 契約の承認ワークフローチャート

ワークフローチャートをトリガするイベント	ワークフローチャートは、次のいずれかのイベントが発生したときに開始します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [契約] (amContract) テーブルにレコードが追加される。 ■ [契約] (amContract) テーブル、 [ステータス] (Status) フィールドが更新される。 									
ワークフローの実行を継続するために必要な条件	ワークフローチャートは、次のようにフィールドに値が設定されている場合に実行を継続します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーブル名</th> <th>フィールド名</th> <th>フィールド値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約 (amContract)</td> <td>ステータス (Status)</td> <td>SAM_WORKFLOW</td> </tr> <tr> <td>契約 (amContract)</td> <td>契約ステータス (seStatus)</td> <td>承認待ち (13) または更新承認待ち (33)</td> </tr> </tbody> </table>	テーブル名	フィールド名	フィールド値	契約 (amContract)	ステータス (Status)	SAM_WORKFLOW	契約 (amContract)	契約ステータス (seStatus)	承認待ち (13) または更新承認待ち (33)
テーブル名	フィールド名	フィールド値								
契約 (amContract)	ステータス (Status)	SAM_WORKFLOW								
契約 (amContract)	契約ステータス (seStatus)	承認待ち (13) または更新承認待ち (33)								
AssetCenter Server はワークフローチャートをトリガして実行する必要がありますか？	いいえ									
ワークフローチャートの概要説明	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークフローチャートでは、ワークフローチャートによって選択されたグループに割り当てられる予算の承認依頼が作成されます。 この承認依頼は、グループの責任者に割り当てられたワークフローのアクティビティによって表示されます。このワークフローのアクティビティは、グループ全員に表示されます。また、メッセージがグループの責任者に送信されます。 2 この承認依頼を予算の承認グループのいずれかのメンバーが承認する場合、ワークフローチャートによって、請求の承認、法律の承認、財務の承認、および技術の承認グループに対する承認依頼が作成されます。 これらの承認依頼は、グループの責任者に割り当てられたワークフローのアクティビティによってそれぞれ表示されます。これらのワークフローのアクティビティは、該当するグループ全員に表示されます。また、メッセージが各グループの責任者に送信されます。 3 4つの承認依頼が承認されたら、契約の責任者がメッセージを受信します。 4 契約が1つ以上の承認グループに却下されたら、契約の責任者にメッセージが通知され、契約を現状のまま残すか承認するために変更を加えて再提出するかを選択するよう促されます。 									

予算の承認グループの選択方法を設定する

デフォルトで、適切な予算の承認グループを選択するために、ワークフローチャートは次のように進みます。

- 1 契約にリンクされたすべてのグループを検索します（グループ内の [契約] タブ）。
- 2 [バーコード] (BarCode) フィールドが「STRBUDGET」で始まるグループを選択します。
- 3 グループが見つからない場合、[バーコード] (BarCode) フィールドが「sysSam_CNTR_BUD」に設定されているグループに依頼承認が割り当てられます。

[契約の承認] ワークフローチャートを使用するためには、次の操作を行う必要があります。

- 1 グループを表示します（ [組織 / 従業員グループ] リンク ）。
- 2 特定のグループによって承認された各契約に対して：
 - a 新規のグループを作成（ [新規作成] ボタン ）するか、既存グループの詳細画面を表示します。
 - b 次のフィールドおよびリンクが適切な値であることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
バーコード (BarCode)	「STRBUDGET」で始まる名前。
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定された責任者は、契約承認依頼のワークフローのアクティビティが契約の承認ワークフローによって作成されたときにメッセージを受信します。また、責任者はこれらのワークフローのアクティビティを確認します。
[グループ構成] タブ :	
タブリスト ([メンバー] (Members) リンク)	グループのメンバーは、契約の承認ワークフローによって作成された契約承認依頼のためのワークフローのアクティビティを確認してから、承認依頼を承認または却下することができます。
[契約] タブ	
タブリスト ([契約] (Contracts) リンク)	グループによって予算の観点から承認されたその契約を追加します。

重要項目:

このシステムが機能するには、「STRBUDGET」で始まる [バーコード] (BarCode) フィールドが対象とする単一グループに、承認対象の契約が含まれている必要があります。

- 3 デフォルトグループを使用して承認する契約に対して：
 - a [バーコード] (BarCode) フィールドが「sysSam_CNTR_BUD」に設定された予算の承認グループの詳細画面を表示します。

- b 次のフィールドおよびリンクが適切な値であることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定された責任者は、契約承認依頼のワークフローのアクティビティが契約の承認ワークフローによって作成されたときにメッセージを受信します。また、責任者はこれらのワークフローのアクティビティを確認します。
[グループ構成] タブ	
タプリスト ([メンバー]) (Members) リンク)	グループのメンバーは、契約の承認ワークフローによって作成された契約承認依頼のためのワークフローのアクティビティを確認してから、承認依頼を承認または却下することができます。

 **重要項目:**

このグループを任意の契約に使用するには、[バーコード] (BarCode) フィールドが「STRBUDGET」で始まるグループにこの契約が含まれない必要があります。

その他の承認グループを設定する

その他の承認は、次の承認グループによって処理されます。

- 請求の承認 (sysSam_CNTR_BILL)
- 法律の承認 (sysSam_CNTR_JURI)
- 財務の承認 (sysSam_CNTR_FINA)
- 技術の承認 (sysSam_CNTR_OPER)

これらのグループは、次のように定義する必要があります。

- 1 グループを表示します ([組織 / 従業員グループ] リンク)。
- 2 これらのグループの詳細画面を1つずつ表示します。
- 3 次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定された責任者は、契約承認依頼のワークフローのアクティビティが契約の承認ワークフローによって作成されたときにメッセージを受信します。また、責任者はこれらのワークフローのアクティビティを確認します。
[グループ構成] タブ	

フィールドまたはリンク	値
タブリスト ([メンバー] (Members) リンク)	グループのメンバーは、契約の承認ワークフローによって作成された契約承認依頼のためのワークフローのアクティビティを確認してから、承認依頼を承認または却下することができます。

契約の承認ワークフローチャートのカスタマイズ



注意:

この操作を実行できるのは、Windowsクライアント使用時のみです。

契約の承認は、サンプルとする必要があります。

おそらく、特に次の部分でユーザ自身の承認プロセスに合わせるカスタマイズが必要になります。

- 実行する承認タイプ (予算、財務、責任者など)
- 承認者を選択する方法 (固定ユーザ、式で表されたユーザ、固定グループ、式で表されたグループ)

ここでは、例えばどのように財務の承認グループを選択する方法を変更して固定だけではなくて推定になるようにするかを示します。

- 1 ワークフローチャートを表示します (ナビゲーションバーの [管理 / ワークフロー / ワークフローチャート] リンク)。
- 2 [契約の承認] (sysSam_CNTR_APPR) ワークフローチャートを選択します。
- 3 [契約の承認: 財務] (SAM_APPR_CNTR_FINA) アクティビティの詳細画面を表示します ([契約の承認: 財務] ボックスのショートカットメニュー [アクティビティの詳細])。
- 4 [パラメータ] タブを表示します。
- 5 [担当者] リンクの詳細画面を表示します (拡大鏡をクリックします)。
- 6 次のフィールドおよびリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
コンテキスト (ContextTable)	契約 (amContract)
タイプ (seType)	計算されたグループ

フィールドまたはリンク	値
スクリプト (memScript)	<pre>Const STR<承認タイプ>="CNTR<承認タイプ>" RetVal=amDbGetLong("SELECT g.IGroupIId FROM am RelEmplGrpCntr r, amEmplGroup g WHERE r.IGroupIId =g.IGroupIId AND r.ICntrId=& [ICntrId] & " AND g.BarCode LIKE "" & STR<承認タイプ> & "%") if RetVal=0 Then RetVal=amDbGetLong("SELECT IGro upIId FROM amEmplGroup WHERE BarCode ='sysSam _CNTR_<承認タイプ>")</pre> <p><承認タイプ>変数をFINAに置き換える</p> <p>ヒント:</p> <p>別の承認グループタイプを選択する方法をカスタマイズしたい場合は、同じスクリプトを使用し、<承認タイプ>を次に示す別の値に置き換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 請求の承認: BILL ■ 法律の承認: LEGA ■ 技術の承認: OPER

- 7 変更を保存して ([変更] ボタン)、ワークフローの役割の詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 8 アクティビティの詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 9 ワークフローチャートの詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 10 グループを表示します ([組織 / 従業員グループ] リンク)。
- 11 特定のグループによって承認される契約に対して:
 - a 新規のグループを作成 ([新規作成] ボタン) するか、既存グループの詳細画面を表示します。
 - b 次のフィールドおよびリンクが適切な値であることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
バーコード (BarCode)	CNTR<承認タイプ>で始まる名前。<承認タイプ>は、承認グループ選択のスクリプトで定義された値であり、この例ではFINAです。
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定された責任者は、契約承認依頼のワークフローのアクティビティが契約の承認ワークフローによって作成されたときにメッセージを受信します。また、責任者はこれらのワークフローのアクティビティを確認します。
[グループ構成] タブ タブリスト ([メンバー] (Members) リンク)	グループのメンバーは、契約の承認ワークフローによって作成された契約承認依頼のためのワークフローのアクティビティを確認してから、承認依頼を承認または却下することができます。

フィールドまたはリンク	値
[契約] タブ	
タブリスト ([契約] (Contracts) リンク)	グループによって財務の観点から承認された契約を追加します。

12 特定グループを使用して承認する契約に対して:

- a [バーコード] (BarCode) フィールドが「 sysSam_CNTR_FINA 」に設定されたグループの詳細画面を表示します。
- b 次のフィールドおよびリンクが適切な値であることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定された責任者は、契約承認依頼のワークフローのアクティビティが契約の承認ワークフローによって作成されたときにメッセージを受信します。また、責任者はこれらのワークフローのアクティビティを確認します。
[グループ構成] タブ	
タブリスト ([メンバー] (Members) リンク)	グループのメンバーは、契約の承認ワークフローによって作成された契約承認依頼のためのワークフローのアクティビティを確認します。

重要項目:

このグループを任意の契約に使用するには、[バーコード] (BarCode) フィールドが「 CNTRFINA 」で始まるグループにこの契約が含まれない必要があります。

現在の契約の承認を依頼する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードが現在の契約に関連付けられていることを確認してから、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [契約の管理] ページで、[契約の承認を依頼] をクリックします。
- 5 これにより、契約の承認依頼 (sysSamReqContractApproval) ウィザードが開始します。

契約の承認依頼を有効にします ([終了])。

このウィザードによって、現在の契約の次に示すフィールドおよびリンクが変更されます。

フィールド名	フィールド値
ステータス (Status)	SAM_WORKFLOW
契約ステータス (seStatus)	承認待ち

これらの変更によって、現在の契約の承認 (sysSam_CNTR_APPR) ワークフローがトリガされます (▶概要 [献 34])。

現在の契約の承認状況を表示する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードの現在の契約が、検証プロセスを確認する契約であることを確認してから、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [契約管理] ウィザードページで、[契約承認の進行状況] オプションを選択します。
- 5 これにより、契約の承認 (sysSam_CNTR_APPR) ワークフローの進行状況を示す画面が表示されます (▶概要 [献 34])。

契約の承認依頼を承認または却下する

依頼された各承認に対して、契約の承認ワークフローチャートからワークフローのアクティビティが作成されます。

これらのワークフローのアクティビティは、様々な承認のグループの責任者に割り当てられます。

ワークフローチャートは、責任者とそのタスクが割り当てられたグループのメンバーに対して表示されます。

承認依頼を承認または却下するには、

- 1 責任者のログインまたはグループメンバーでAssetCenterデータベースに接続します。
- 2 現在のタスクを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク)。
- 3 承認依頼に該当するタスクを選択します。
- 4 ワークフロータスクを確認します。
- 5 [契約の承認] または [契約の却下] のいずれかをクリックします。

契約の承認サイクルを再開始する

契約が却下された場合、ワークフローチャートによって契約責任者にメッセージが送信されます。

契約の処理方法を決定するには、

- 1 契約責任者のログインでAssetCenterデータベースに接続します。
- 2 メッセージを表示します（ナビゲーションバーの [管理 / システム / 自分のメッセージ] リンク）。
- 3 却下通知メッセージの詳細画面で、契約の詳細を参照します（ [参照オブジェクト] ）。
- 4 契約を変更します。
- 5 現在のタスクを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。
- 6 承認の却下に該当するタスクを選択します。
- 7 ワークフロータスクを確認します。
- 8 承認サイクルを再開始する場合は [はい] をクリックし、処理を終了する場合は [いいえ] をクリックします。

[はい] をクリックした場合、ワークフローのアクティビティによって、承認対象の契約内で次に示すフィールドおよびリンクが変更されます。

フィールド名	フィールド値
ステータス (Status)	SAM_WORKFLOW
契約ステータス (seStatus)	承認待ち

これらの変更によって、現在の契約の承認 (sysSam_CNTR_APPR) ワークフローがトリガされます (▶ 概要 [献 34]) 。

ライセンス契約を変更する

ここでは、既存の契約を変更する方法について説明します。

方法1： [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [契約管理] ページで、 [既存の契約を変更] をクリックします。

- 5 これにより、ソフトウェア契約を作成(原案) (sysSamCreateSoftContract) ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
契約のすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
ウィザードによって契約が変更されます。

方法2：メニューを使用する

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク)。
- 2 変更対象の契約を選択します。
- 3 契約を変更します。
- 4 変更を確定します ([変更])。

新規メンテナンス契約を契約ライセンスに関連付ける

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [契約の管理] ページで、 [新規メンテナンスレコードを作成] をクリックします。
- 5 これにより、契約の作成 (BstCntrCreateContract) ウィザードが開始します。
ウィザード内のページに入力します。
入力した内容を確定します ([終了])。
ソフトウェア契約を作成ウィザードによって、メンテナンス契約が作成され、現在の契約にリンクされます。

現在の契約に関連付けられているメンテナンス契約を変更する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードの現在の契約が変更先のメンテナンス契約が対象とするライセンス契約であることを確認してから、 [ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。

- 3 [次へ]をクリックします。
- 4 [契約管理] ページで、[メンテナンス契約を変更] ボタンをクリックします。
- 5 これにより、現在の契約に関連付けられているメンテナンス契約の詳細画面が表示されます。
関連付けられている契約を変更します。
入力した内容を確定します ([変更])。

現在の契約に資産を追加する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードが資産の追加先となる現在の契約に関連付けられていることを確認してから、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ]をクリックします。
- 4 [契約管理] ページで、[資産を既存の契約に追加] ボタンをクリックします。
- 5 これにより、現在の契約にまだリンクされていない [資産] (amAsset) タブ内のレコードが一覧表示されます。
- 6 1つまたは複数の資産を選択します。
- 7 ウィザードのその他のページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。
- 8 入力した内容を確定します ([終了])。
これにより、資産が現在の契約にリンクされます (契約の詳細画面の [資産] タブと、資産の詳細画面の [契約] タブに表示されます)。
- 9 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。

請求明細を現在の契約にリンク

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードが請求明細の追加先となる現在の契約に関連付けられていることを確認してから、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ]をクリックします。

- 4 [ソフトウェアの管理]ウィザードページで、[請求明細を契約にリンク]ボタンをクリックします。
- 5 これにより、請求明細を契約にリンク (sysSamLinkInvoices2Ctr) ウィザードが開始します。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る]を使用)。
- 7 入力した内容を確定します ([終了])。
これにより、請求明細が現在の契約にリンクされます (請求明細の [関連付けられている契約] (CntrlInvLine) リンク)。
- 8 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。

5 ソフトウェアライセンス管理

ソフトウェアライセンスまたは資格はポートフォリオ品目です（▶『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」）。他のポートフォリオ品目の管理と同様に、個別管理、一括管理、または非個別管理のいずれかを選択することができます。

ソフトウェアライセンスの属性を作成する

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/属性]リンク）。
- 2 新しいレコードを追加します（[新規作成]）。
- 3 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールド	値
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	なし
ソフトウェアライセンス	はい

注意:

- 1つの属性の作成のみが必要であることが分かります。
- 1つの属性を使用して、すべてのライセンスモデルを作成できます。

属性の詳細に関しては、マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。

ソフトウェアライセンスモデルを作成する

方法1：[ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

▶ソフトウェアライセンスの作成 [献 46]

方法2：メニューを使用する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/モデル] リンク)。
- 2 新しいレコードを追加します ([新規作成])。
- 3 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値についてのコメント
[全般] タブ 属性 (Nature)	[オーバーフローテーブル] (seOverflowTbl) フィールドが「なし」に設定され、[ソフトウェア ライセンス] オプションが選択されている属性

ソフトウェアライセンスの作成

方法1：[ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、[ソフトウェアライセンスの作成] ボタンをクリックします。
- 5 これにより、新規ソフトウェアライセンスの作成 (sysSamCreateLicpfi) ウィザードが開始します。

ニーズに合わせてウィザードに入力します。

特に、ソフトウェアライセンスを作成するための適切なモデルがまだない場合は、ページ [新規ソフトウェアライセンスの作成] の [ライセンスおよびソフトウェアのインストールの準備] をクリックします。

これにより、ライセンスおよびソフトウェアのインストールの準備 (sysSamLicenseProcess) ウィザードが開始します。

次の2つのボタンのいずれかをクリックします。

- [ソフトウェアライセンスタイプ (モデル) を作成]: これにより、ウィザードソフトウェアライセンスタイプ (モデル) の作成 (sysSamCreateLicModel) が開始します。
このウィザードは、既存のモデル ([amModel] テーブル) またはカタログ製品 ([amCatProduct] テーブル) からソフトウェアライセンスモデルを作成するために使用されます。
 - [棚卸したインストールからソフトウェアライセンスモデルを作成]: これにより、インストールからソフトウェアライセンスモデルを作成 (sysSamCreateLicModFromInst) ウィザードが開始します。
このウィザードは、棚卸済インストールからソフトウェアライセンスモデルを作成するために使用されます。
- 6 すべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)
ウィザードによって、ライセンスが作成されます。

方法2: メニューを使用する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 適切なモデルを基にしてポートフォリオ品目を作成します。
- 3 特に、[ライセンス] タブに入力します。

ソフトウェアライセンスの変更

方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、[ソフトウェアライセンスの変更] をクリックします。
- 5 [ソフトウェアライセンスの変更] (sysSamModifyLicpfi) ウィザードがトリガされます。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

- 7 すべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）。
ウィザードがライセンスを変更します。
- 8 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。

方法2：メニューを使用する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク）。
- 2 変更対象のライセンスを選択し変更します。
- 3 変更を確定します（ [変更] ）。

新規ソフトウェアライセンスを依頼する

方法1： [ソフトウェアの管理] ウィザード（ sysSamLauncher ）を使用する

- 1 特定資格に関連付けられたユーザのログインを使用して、データベースに接続します。
- 2 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、 [新規ソフトウェアライセンスの依頼] ボタンをクリックします。
これにより、ソフトウェアライセンスの依頼を作成（ sysSamCreateLicpReq ）ウィザードが開始します。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、 [戻る] を使用）。

特に、ソフトウェアライセンスを作成するための適切なモデルがまだない場合は、ページ [新規ソフトウェアライセンスの作成] の [ライセンスおよびソフトウェアのインストールの準備] をクリックします。

これにより、ライセンスおよびソフトウェアのインストールの準備（ sysSamLicenseProcess ）ウィザードが開始します。

次の2つのボタンのいずれかをクリックします。

- [ソフトウェアライセンスタイプ（モデル）を作成] : これにより、ウィザードソフトウェアライセンスタイプ（モデル）の作成（ sysSamCreateLicModel ）が開始します。

このウィザードは、既存のモデル（ [**amModel**] テーブル）またはカタログ製品（ [**amCatProduct**] テーブル）からソフトウェアライセンスモデルを作成するために使用されます。

- [棚卸したインストールからソフトウェアライセンスモデルを作成] : これにより、インストールからソフトウェアライセンスモデルを作成（ `sysSamCreateLicModFromInst` ）ウィザードが開始します。
このウィザードは、棚卸済インストールからソフトウェアライセンスモデルを作成するために使用されます。
- 7 すべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）
ウィザードによって依頼が作成されます。
 - 8 ウィザードを終了します（ [**OK**] ボタン）。

方法2：メニューを使用する

- 1 社内依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 拡張ポートフォリオ / 社内依頼] リンク）。
- 2 新しいレコードを追加します（ [新規作成] ）。

ライセンスを削除する

- 1 [ソフトウェアの管理]（ `sysSamLauncher` ）ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、 [ポートフォリオからライセンスまたはインストールを削除] をクリックします。
- 5 これにより、 [ポートフォリオ品目の除却]（ `AstRetire` ）ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
すべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）
ウィザードによって、定義されたタスクが実行されます。

6 ソフトウェア資格の管理

ライセンスのための特定資格を作成する

ここでは、ライセンス権限を指定されたユーザやコンピュータに割り当てる、新規特定資格を作成する方法について説明します。

方法1： [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアと配布パッケージ/スクリプトのユーザへの割り当て] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアと配布パッケージ/スクリプトのユーザへの割り当て] ページで、 [特定資格] をクリックします。
これにより、ソフトウェアの割り当て (sysSamEntitleUserOrItem) ウィザードが開始します。
- 5 [ソフトウェアライセンスの割り当て...] 頁で、 [新規資格の作成] オプションを選択します。
- 6 ニーズに合わせてウィザードに入力します。
- 7 すべてのパラメータを確認します ([終了] ボタン)
- 8 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。

方法2：メニューを使用する

- 1 特定資格を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 特定資格] リンク）。
- 2 新しいレコードを追加します（ [新規作成] ）。

ライセンスの特定資格を変更する

ここでは、ライセンス権限を指定されたユーザやコンピュータに割り当てる、特定資格を変更する方法について説明します。

方法1： [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアと配布パッケージ/スクリプトのユーザへの割り当て] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアと配布パッケージ/スクリプトのユーザへの割り当て] ページで、 [特定資格] をクリックします。
これにより、ソフトウェアの割り当て (sysSamEntitleUserOrItem) ウィザードが開始します。
- 5 [ソフトウェアライセンスの割り当て...] ページで、 [既存の資格を変更] オプションを選択します。
- 6 ニーズに合わせてウィザードに入力します。
- 7 すべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）。
- 8 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。

方法2：メニューを使用する

- 1 特定資格を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 特定資格] リンク）。
- 2 変更する資格を選択します
- 3 選択した資格を変更します。
- 4 変更を保存します（ [変更] ）。

ライセンスの特定資格を削除する

ここでは、ライセンス権限を指定されたユーザやコンピュータに割り当てる、特定資格を削除する方法について説明します。

- 1 特定資格を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 特定資格] リンク）。
- 2 削除する資格を選択します。
- 3 選択した資格を削除します（ [削除] ボタン）。

7 ソフトウェアのインストールと使用の管理

インストール/使用を自動作成する

インストール/使用のステータスを反映する最も効率的で信頼性の高い方法は、Enterprise Discoveryのような自動ネットワーク棚卸ツールを使用することです。

 **注意:**

もちろん、他のスキャンツールも使用できます。必要な変更をConnect-Itシナリオに加えて、AssetCenter Serverモジュールがそのスキャンソフトウェアと連動するようにします。

これらのツールを使用することにより、コンピュータごとのインストール数を把握し、その情報をAssetCenterデータベースに反映させることができます。

データベースからEnterprise Discoveryで取得した結果をインポートするために環境を設定する

- 1 Enterprise Discoveryを使ってソフトウェア棚卸を実行します。AssetCenter 5.0 付属のConnect-It動作環境一覧で指定されたバージョンを使用します。
- 2 AssetCenter 5.0で提供されるバージョンのConnect-Itをインストールします。
- 3 Connect-Itを開始します。

- 4 シナリオ「edac-swnorm.scn」（Connect-Itインストール先フォルダの「scenario\ed\ed<Enterprise Discoveryバージョン番号>ac<AssetCenterバージョン番号>」サブフォルダ内）を開きます（[File / Open]メニュー）。
例：C:\Program Files\Peregrine\Connect-It <Version number>
<language>\scenario\ed\ed2ac50
- 5 Peregrine Enterprise Discoveryコネクタを設定します（シナリオ方式でコネクタを選択、ショートカットメニュー [**Configure connector**] ）。
[Select a connection type]（接続タイプの選択）ウィザードページで、接続タイプを選択してから、ウィザード内の関連ページを入力します。
- 6 資産管理コネクタを設定します（シナリオ方式でコネクタを選択、ショートカットメニュー [**Configure connector**] ）。
設定ウィザードの [Define the connection parameters] ページを入力します。
- 7 変更内容を保存して、Connect-Itを終了します。
- 8 AssetCenter Serverを起動します。
- 9 AssetCenterデータベースに接続します（[ファイル/データベースに接続]）。
- 10 モジュールを表示します（[ツール/モジュールの設定]）。
- 11 Enterprise Discovery棚卸結果を使用してデータベースを更新モジュール(EdAc)を選択します。
- 12 [有効] オプションを選択します。
- 13 [ユーザデータ] フィールドを次のように変更します。

```
"$connectit_exedir$/conitsvc.exe" -once -wpplog '$connectit_exedir$../scenario/ed/ed2ac$version$/edac.scn' -dc:'Asset Management.SERVER'=$cnx$ -dc:'Asset Management.LOGIN'=$login$ -dc:'Asset Management.TEXTPASSWORD'=$pwd$
```

- 数値2をインストール済Enterprise Discoveryバージョン番号に置き換えてください。
 - edac.scnをedac-swnorm.scnに置き換えます。
- 14 Enterprise Discovery棚卸結果を使用してデータベースを更新モジュールの更新頻度を定義します（[検証スケジュール] 枠）。
 - 15 変更を保存します（[変更]）。
 - 16 AssetCenter Serverを終了します。

モデルの正常化（sysSam_ModelNorm）グループの設定

このグループは、モデルの正常化: 'amInventModel' が追加されました（sysInvExtModelNew）からワークフローチャートを割り当てるために使用されます（▶ [棚卸されたモデル]（amInventModel）テーブルに新しいレコードが作成されたときにトリガされる自動処理 [献 59] ）。

ワークフロータスクの処理が可能な人を指定するには、

- 1 グループを表示します（[組織/従業員グループ] リンク）。
- 2 モデルの正常化（sysSam_ModelNorm）グループを表示します。

3 少なくとも次のリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	コメント
責任者 (Supervisor)	このリンクで指定した人は、モデルの正常化: 'amInventModel' が追加されましたワークフローチャートによって作成されたタスクを確認します。
[グループ構成] タブ: メンバー (Members)	グループのメンバーは、モデルの正常化: 'amInventModel' が追加されましたワークフローによって作成されたワークフローチャートを確認します。

Enterprise Discovery 棚卸データベースのインポート

棚卸データベースをインポートする

AssetCenter Serverは、適切なモジュールが動作中にバックグラウンドで実行すると、Enterprise Discovery 棚卸データベースから情報を自動的にインポートします。

棚卸データベースからインポートされる情報

棚卸データベースには、棚卸されるすべてのコンピュータが含まれています。

棚卸される各コンピュータには、コンポーネント（画面、プリンタなど）と識別済みソフトウェアが添付されています。

AssetCenterデータベースでのインポート結果

すべてのコンピュータ、コンピュータ上で識別されるコンピュータコンポーネントおよびソフトウェアに対してポートフォリオ品目が作成されます。

これからソフトウェアの詳細を見て行きます。

棚卸されるすべてのソフトウェア：

1 Connect-Itでは、[キー] (InventoryKey) フィールドが以下に示す項目の連結である [棚卸されたモデル] (amInventModel) テーブルにレコードが既に存在するかどうかをAssetCenter内で検索します。

- 文字列PDI|
- インポート対象の棚卸データベースレコードの [applicationdata.application.versionid] フィールドの値

このようなレコードが見つからない場合、Connect-Itは以下を実行します。

- レコードを作成します。
- 一時モデル (ModelTmp) リンクに不明なソフトウェアのインストールモデルを入力します。

 **注意:**

不明なソフトウェアのインストールモデルは、[バーコード] (BarCode) フィールドが「 sysUNKNOWN_SOFT 」に設定され [名前] (Name) フィールドが「 不明なソフトウェアのインストール 」と同等であるモデル (amModel) テーブルのレコードに該当します。

これが存在する場合、Connect-Itによってレコードが更新されます。

 **注意:**

ソフトウェア資産モジュールの専門分野データによって、AssetCenter 5.0添付のConnect-It動作環境の表に示されたEnterprise Discoveryのバージョンに該当するモデルが [棚卸されたモデル] (amInventModel) テーブルに入力されます。これらの一時モデルは、[モデル] (amModel) テーブル内のレコードに関連付けられていないので、ポートフォリオ内で使用できるインストールモデルのみが作成されます。棚卸されたモデルに該当するモデルの作成は、自動化されます (▶ [棚卸されたモデル] テーブルの既存のレコードがソフトウェアインストールに最初にリンクされたときにトリガされる自動処理 [献 60])。

2 Connect-Itでは、[ポートフォリオ品目] (amPortfolio) テーブルにレコードが既に存在するかどうかをAssetCenter内で検索します。

- ソフトウェアが識別されたコンピュータにリンクされる
- [インストール先フォルダ] (folder) フィールドがインポート対象レコードの [SWSubComponents.SWVersion.Version_ID] フィールドの値に設定されます。
- [キー] (InventoryKey) フィールドがPDI文字列と [SWSubComponents.SWVersion.Version_ID] フィールド値の連結である [棚卸されたモデル] (amInventModel) テーブルのレコードにリンクされず。

このようなレコードが見つからない場合、Connect-Itは以下を実行します。

- レコードを作成します。
- [モデル] (amModel) リンクに不明なソフトウェアのインストールモデルを入力します。

 **注意:**

不明なソフトウェアのインストールソフトウェアモデルは、[バーコード] (BarCode) フィールドが「 sysUNKNOWN_SOFT 」に設定され [名前] (Name) フィールドが「 不明なソフトウェアのインストール 」と同等であるモデル (amModel) テーブルのレコードに該当します。

これが存在する場合、Connect-Itによってレコードが更新されます。

- 3 Connect-Itでは、ポートフォリオ品目に自動的に関連付けられる [ソフトウェアのインストール] (amSoftInstall) テーブルでレコードを作成および更新します

インポートによってトリガされる自動処理

[棚卸しされたモデル] (amInventModel) テーブルに新しいレコードが作成されたときにトリガされる自動処理

Connect-Itによって [棚卸しされたモデル] テーブルにレコードが追加されると、モデルの正常化: 'amInventModel' が追加されました (sysInvExtModelNew) ワークフローチャートが自動的に開始します。

このワークフローによって、モデルの正常化 (sysSam_ModelNorm) グループに割り当てられるタスクが作成されます。

このワークフローのタスクでは、 [棚卸しされたモデル] レコードを [モデル] (amModel) レコードに手動でマッピングすることが求められます。

ワークフロータスクを実行するには、

- 1 責任者のログインまたはモデルの正常化 (sysSam_ModelNorm) グループメンバーのログインでAssetCenterデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント： [ファイル / データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。
- 2 現在のタスクを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク) 。
- 3 タスクを選択します。
- 4 [ウィザード] をクリックします。

AssetCenterによって、外部ソフトウェアライセンスモデルの照合更新 (sysSamNormalizeModels) ウィザードが開始します。

- 5 [最終モデル] リンクに入力します。
- 6 [OK] をクリックします。

AssetCenterによって、 [棚卸しされたモデル] テーブルのレコードが [モデル] テーブルのレコードに関連付けられます。

これにより、モデルの正常化: 'amInventModel' が解決されました (sysInvExtModelEnd) ワークフローチャートが自動的にトリガされます。

このワークフローチャートは、外部モデルの照合更新を伝達 (SYS_RES_MOD_ACT01) アクションをトリガします。

このアクションは、次のことを実行します。

- a 解決された [棚卸しされたモデル] テーブルのレコードにリンクされたすべてのポートフォリオ品目を検索する。

- b 見つかったすべてのポートフォリオ品目を [棚卸しされたモデル] テーブルのレコードに関連付けられている [モデル] テーブルのレコードにリンクする。

[棚卸しされたモデル] テーブルの既存のレコードがソフトウェアインストールに最初にリンクされたときにトリガされる自動処理

次の場合に、モデルの正常化:'amPortfolio'が変更されました (sysInvExtModelSync) ワークフローが自動的に開始します。

- Connect-Itによって、[モデル] (amModel) テーブルのレコードにまだ関連付けられていない [棚卸しされたモデル] テーブルの既存レコードに関連付けられるソフトウェアインストールが作成される場合
- Connect-Itによって、[モデル] (amModel) テーブルのレコードにまだ関連付けられていない [棚卸しされたモデル] テーブルの既存レコードに既存のソフトウェアインストールが関連付けられる場合

このワークフローチャートは、外部モデルの照合更新を伝達 (SYS_RES_MOD_ACT01) アクションをトリガします。

このアクションは、次のことを実行します。

- 1 [棚卸しされたモデル] テーブルの次のフィールドを使用する [モデル] テーブルに新しいレコードを作成する。
 - [ブランド] (BrandName)
 - [モデル] (ModelName)
 - [親モデル] (ModelParent)
 このモデルは、親モデルとしてモデルにリンクされる。
- 2 [棚卸しされたモデル] テーブルのレコードに関連付けられた [モデル] テーブルのレコードにソフトウェアインストールをリンクします。

前回のコンピュータのスキャンで見つからなかったソフトウェアにフラグを設定する

ここでは、AssetCenterで前回のコンピュータのスキャンで見つからなかったソフトウェアインストール/使用にフラグを自動設定する方法について説明します。

このタスクは、前回のスキャンで見つからなかったソフトウェアの検出 (BST_SAM20) ワークフローによって実行されます。

このワークフローチャートは、ソフトウェア資産モジュールの専門分野データの一部です。

表 7.1. スキャンインポート - 前回のスキャンで見つからなかったソフトウェアの検出ワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	[コンピュータ] テーブル、 [前回のソフトウェアスキャン] (dtSoftScan) フィールドの変更。
ワークフローチャートの実行条件	条件なし

AssetCenter Serverはワークフローチャートをトリガして実行する必要がありますか？

ワークフローチャートの概要説明

ワークフローチャートは、見つからないソフトウェア割り当て(BstSamMissingSoftware)アクションをトリガします。

このアクションは、コンピュータに関連付けられた各ソフトウェアインストール/使用を調査します。

インストール/使用の [棚卸日] (dtInvent) フィールドがコンピュータの [前回のソフトウェアスキャン] (dtSoftScan) よりも古い場合は、アクションによって、インストール/使用の [割当] (seAssignment) フィールドが「紛失」に更新されます。

インストール/使用を手動で作成する

警告:

インストール/使用を手動で作成するのは、下記の点で手間がかかり、誤りを招くおそれもあります。

- 対象となる数が多いため、手間がかかる。
- 何をインストールしたかを管理している場合はほとんどないため、誤りを招くおそれがある。

ソフトウェアのインストールはポートフォリオ品目です (▶ 『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」)。他のポートフォリオ品目の管理と同様に、個別管理、一括管理、または非個別管理のいずれかを選択することができます。

ソフトウェアのインストール/使用の属性を作成する

- 1 属性を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 属性] リンク)。
- 2 新しいレコードを追加します ([新規作成])。
- 3 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールド	値
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目

フィールド	値
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)

属性の詳細に関しては、マニュアル『ポートフォリオ』の「ポートフォリオ品目」の章、「属性」の節を参照してください。

ソフトウェアのインストール/使用のモデルを作成する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 新しいレコードを追加します ([新規作成])。
- 3 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値についてのコメント
[全般] タブ 属性 (Nature)	[オーバーフローテーブル] フィールド (seOverflowTbl) が「ソフトウェアのインストールまたは使用」 (amSoftInstall) に設定されている属性。
[ソフトウェアのインストール] タブ 便利なフィールドおよびリンク	タブの各フィールドの値は、このモデルを基にして作成されるすべてのソフトウェアのインストールに継承されます。

ソフトウェアのインストール/使用を手動で作成する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 新しいレコードを追加します ([新規作成])。
- 3 特に、次のフィールドおよびリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値についてのコメント
モデル (Model)	[オーバーフローテーブル] フィールド (seOverflowTbl) が [ソフトウェアのインストールまたは使用] (amSoftInstall) に設定されている属性にリンクされているモデル。
[ソフトウェアのインストール] タブ	

フィールドまたはリンク	値についてのコメント
ポイント数 (IUseCount)	<p>特定の種類のライセンスでは、ソフトウェアのインストール/使用によって、一定のポイント数が消費されます。例えば「Microsoft Select」ライセンスでは、Microsoft Wordをインストールすると、3ポイント消費したことになります。Microsoft Wordのインストール件数が100の場合、300ポイント消費したことになります。</p> <p>各インストールで消費するポイント数は、[ポイント数]フィールド (IUseCount) で指定します。</p> <p>ソフトウェアのインストールカウンタを使用する場合に (▶ 実用例1d:実際のソフトウェア使用の考慮 [献 129])、インストールカウンタで各インストール/使用に関連するポイント数をカウントするかどうかを指定できます。</p>
前回の使用 (dtLastUse)	<p>ソフトウェアのインストール/使用詳細画面の [使用] タブに、ソフトウェアの使用状況に関する情報が表示されます。</p> <p>このタブのフィールドのうち、[前回の使用] フィールド (dtLastUse) がソフトウェアカウンタによって使用されます (▶ 実用例1b:特定の部署にカウンタの範囲を制限 [献 124])。カウンタのレベルで、インストール/使用カウンタで前回の使用日付を考慮するかどうかを指定します。</p>

ソフトウェアのインストールに対応するレコードが [ポートフォリオ品目] テーブルで作成されると、[ソフトウェアのインストール] テーブルでも対応レコードが作成されます。[ソフトウェアのインストール] テーブルはオーバーフローテーブルです (▶ 『ポートフォリオ』の「概要」の章にある、「オーバーフローテーブル」の節)。

ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェアのインストール] リンクをクリックして、[ソフトウェアのインストール] テーブルにアクセスします。

ポートフォリオ品目のリスト (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク) では、ソフトウェアのインストール/使用に対応するレコードに対して [ソフトウェアのインストール] タブが使用できます。このタブには、この品目に対応する [ソフトウェアのインストール] テーブルのレコードの詳細情報が表示されます。

ソフトウェアのインストールのレコードの詳細情報は、同レコードのモデルの [ソフトウェアのインストール] タブで入力されている情報を再編成したものです。

違反インストールが発生した場合に自動メッセージを送信する

ここでは、ユーザが違反インストール/使用を作成した場合に自動通知を送信する方法について説明します。

このタスクは、違反インストール (BST_SAM03) ワークフローチャートによって実行されます。

違反インストールワークフローチャートの主な機能

このワークフローチャートは、ソフトウェア資産モジュールの専門分野データの一部です。

表 7.2. ライセンスコントロール-違反インストールワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	新しいインストール/使用の作成
ワークフローチャートの実行条件	PortfolioItem.Model.seAuthorization = 2
AssetCenter Serverはワークフローチャートをトリガして実行する必要がありますか？	いいえ
ワークフローチャートの概要説明	違反ソフトウェアのインストールに関して管理者にメール (BstSamUnauthinstallation_found) アクションで指定された人にメッセージが送信されます。 これはデフォルトで、[名前] (Name) フィールドが「Admin」に設定されている [従業員と部署] (amEmplDept) テーブルのレコードに該当する人です。 [電子メール] (EMail) フィールドで指定されたアドレスにメッセージが送信されます。

違反となるインストール/使用を定義する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 承認しないモデルを表示します。
- 3 次のフィールドおよびリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
[ソフトウェアのインストール] タブ	

フィールドまたはリンク	値
権限 (seAuthorization)	違反

別の受信者を選択する、警告メッセージの件名または本文を変更する

- 1 アクションを表示します (ナビゲーションバーの [管理 / アクション] リンク)。
- 2 アクション違反ソフトウェアのインストールに関して管理者にメール (BstSamUnauthinstallation_found) を表示します。
- 3 次のフィールドおよびリンクを変更します。

フィールドまたはリンク
[メッセージ] タブ
受信者 (MsgTo)
件名 (Subject)
メッセージ (memMsgText)

通知メッセージの受信アドレスを定義する

- 1 従業員と部署を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク)。
- 2 アクション違反ソフトウェアのインストールに関して管理者にメール (BstSamUnauthinstallation_found) の受信者を表示します。
- 3 [電子メール] (EMail) フィールドを変更します。

インストール/使用を除却する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、[ポートフォリオからライセンスまたはインストールを削除] をクリックします。
- 5 これにより、ポートフォリオ品目の除却 (AstRetire) ウィザードが開始します。

ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る]を使用）。

- 6 すべてのパラメータを確定します（[終了]ボタン）
ウィザードによって依頼が作成されます。
- 7 ウィザードを終了します（[OK]ボタン）。

不明なインストールの照合更新

このタスクでは、棚卸モデルの定義モデルへの関連付けを行っていない場合、それを実行します。

- 1 [ソフトウェアの管理]（sysSamLauncher）ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...]リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理]ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更]オプションを選択します。
- 3 [次へ]をクリックします。
- 4 [ライセンスとソフトウェアのインストール]ページで、[不明なインストールの照合更新]ボタンをクリックします。
- 5 これにより、外部ソフトウェアライセンスモデルの照合更新（sysSamNormalizeModels）ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
- 6 すべてのパラメータを確定します（[終了]ボタン）
ウィザードによって、[棚卸されたモデル]テーブル内のレコードが[モデル]テーブル内のレコードに関連付けられます。
これにより、モデルの正常化: 'amInventModel' が解決されました（sysInvExtModelEnd）ワークフローチャートが自動的にトリガされます。
このワークフローチャートは、外部モデルの照合更新を伝達（SYS_RES_MOD_ACT01）アクションをトリガします。
このアクションは、次のことを実行します。
 - a 解決された[棚卸しされたモデル]テーブルのレコードにリンクされたすべてのポートフォリオ品目を検索する。
 - b 見つかったすべてのポートフォリオ品目を[棚卸しされたモデル]テーブルのレコードに関連付けられている[モデル]テーブルのレコードにリンクする。
- 7 ウィザードを終了します（[OK]ボタン）。

OEMインストールとしてインストールをフラグ

このアクションの目的は、特定ライセンスの取得を必要とせず使用できるインストールをフラグすることです。

ライセンスが購入したハードウェアベンダにソフトウェアプロバイダから直接付与されているので、このようなインストールを「OEM」インストールと呼びます。

これは、例えばコンピュータを購入する場合です。コンピュータには、たいてい特定ライセンスを個別に取得することなく法的に使用できるインストール済みソフトウェアが添付されています。

フラグするとは、OEMインストールに対して [インストールタイプ] (seType) フィールドを「OEMインストール」に設定することです。

これにより、OEMインストールをカウンタによって行われる計算から除外できます。

警告:

OEMインストールをインストールカウントから除外するためには、カウンタの [カウント制限(インストール)] (SoftInstQuery) リンクに関連付けられたクエリを適宜変更する必要があります。

例えば、OEMインストールを除外しないクエリは次のようになります。

```
Model.ModelRef = 'PC1 - PowerPoint - インストール'
```

これを以下のように変更します。

```
(Model.ModelRef = 'PC1 - PowerPoint - インストール') AND (SoftInstall.seType <> 2)
```

OEMインストールをフラグするには

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 現在の契約がソフトウェアインストールのリンク先にするOEM契約であることを確認します。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ライセンスとソフトウェアのインストール] ページで、[OEMインストールをフラグ] ボタンをクリックします。
- 6 これにより、OEMインストールをフラグ (sysSamFlagOEMInst) ウィザードが開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。

- 7 すべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）。
ウィザードにより、選択したインストールに対して [インストールタイプ]（ seType ）フィールドが「 OEMインストール 」に設定されます。
- 8 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。

ユーザを現在のASP契約に追加

- 1 [ソフトウェアの管理]（ sysSamLauncher ）ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードが現在の契約としてASP契約に関連付けられていることを確認してから、 [ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、 [ASPユーザの追加] ボタンをクリックします。
- 5 これにより、ASPユーザの追加ウィザード（ sysSamAddAspUsers2Cntr ）が開始します。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、 [戻る] を使用）。
- 7 入力した内容を確定します（ [終了] ）。
これにより、選択したユーザが現在のASP契約にリンクされます（契約の詳細画面の [従業員] タブ）。
- 8 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。
▶ 『 契約 』 のパート2「 使用 」にある、「 日常のASP契約の管理 」の章、「 ユーザアカウントを管理する / プロセス / ユーザアカウントを作成する 」。

現在のASP契約からユーザを削除

- 1 [ソフトウェアの管理]（ sysSamLauncher ）ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、ウィザードが現在の契約としてASP契約に関連付けられていることを確認してから、 [ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、 [ASPユーザの削除] ボタンをクリックします。

- 5 これにより、ASPユーザの削除ウィザード (sysSamDelAspUsersFromCntr) が開始します。
 - 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。
 - 7 入力した内容を確定します ([終了])。
これにより、選択したユーザが現在のASP契約から削除されます (契約の詳細画面の [従業員] タブ)。
 - 8 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。
- ▶ 『契約』のパート2「使用」にある、「日常のASP契約の管理」の章、「ユーザアカウントを管理する / プロセス / ユーザアカウントを削除する」。

8 インストールのライセンスコンプライアンスを監視する

概要

ソフトウェア管理の目的

ソフトウェア管理は、以下に対する適合性のチェックを目的とします。

- ソフトウェアプロバイダ
- 内部方針

ソフトウェアカウンタの使用

ソフトウェア管理は、ソフトウェアカウンタを使って実現されます。

ソフトウェアカウンタは、ライセンス権限カウントとインストール/使用カウントの間の照合更新に用いられます。

効果的なソフトウェア使用を計算に入れることができます。

これらのカウンタは、選択したテーブルのレコード（従業員やコストセンタなど）によってグループにまとめることができます。

グローバルなソフトウェアコンプライアンスの管理

AssetCenterでは、グローバルにカウンタを管理できます。

会社ソフトウェア管理にカウンタを含めるには、[会社ソフトウェア管理の一部] (bFamily) オプションを有効にする必要があります。

ソフトウェアライセンスモデルとソフトウェアのインストール/使用モデルは、グローバルコンプライアンス管理カウンタで同時に1つのみカウントできます。

グローバルコンプライアンス管理カウンタで、権限、資格、インストール、および、使用が1回のみカウントされるようにするため、

[会社ソフトウェア管理の一部] (bFamily) オプションがクリアされているカウンタは、すでに他のカウンタに含まれているライセンスとインストール/使用モデルを参照できます。

カウンタの作成と変更にウィザードを使用する

ウィザードを使用してもしなくても、カウンタの作成と変更を行えます

ウィザードを使用してカウンタを変更するには、ウィザードを使用してのみカウンタの作成と変更を行う必要があります。

[ウィザードを使用してカウンタを編集] (bAutomated) オプションが有効なウィザードが維持するカウンタ

会社ソフトウェア管理カウンタの作成と変更は、ウィザードで行う必要があります。

ウィザードにより、カウンタの作成と変更が簡単に行えます。

カウンタ、ライセンス、インストール/使用の間のリンク

カウンタの定義にはきわめて柔軟性があります。

以下の条件に合わせるすることができます。

- ライセンスおよびインストール/使用を記述する方法 (このためにはさまざまな方法があります)
- データを分析する方法 (従業員、サイトなど)

ヒント:

カウンタは、ソフトウェア権限およびインストール/使用以外の目的にも使用できます。

ここに記すカウンタ使用の指針は、可能なあらゆる場合を想定しているわけではありません。

カウンタにリンクされたメインテーブル

図 8.1. カウンタにリンクされたテーブル

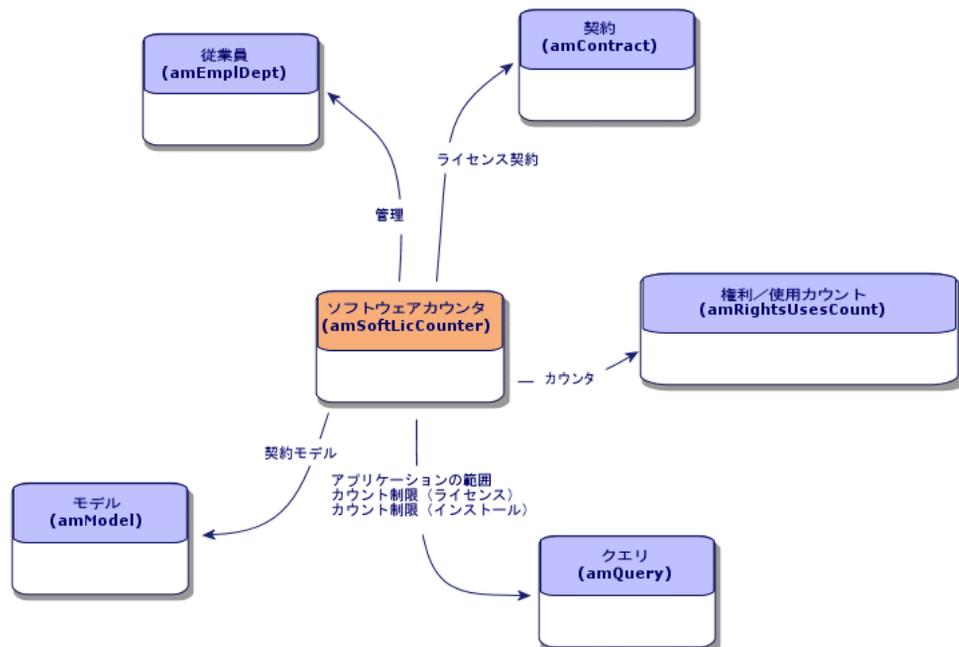


図 8.2. 特定資格に関連するテーブル

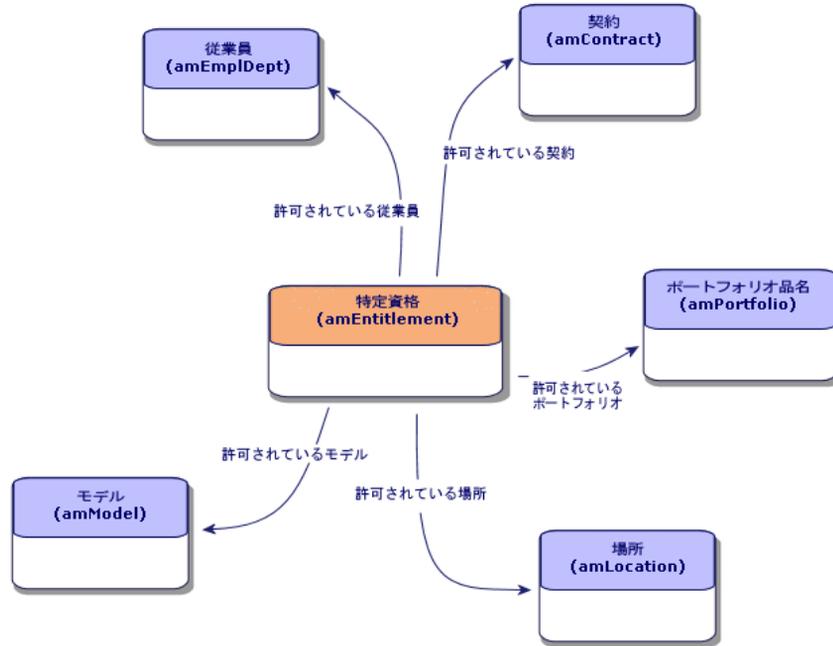
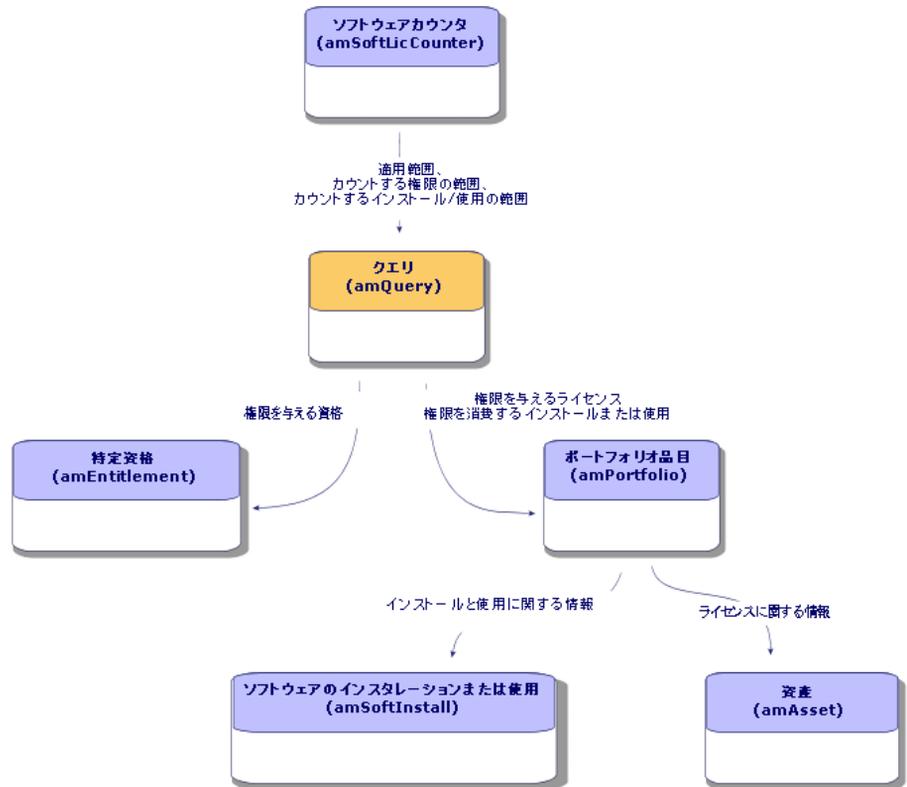


図 8.3. カウンタ、資格、ポートフォリオ品目間のリンク



カウンタとカウントされるオブジェクトとの間には直接のリンクは存在しません。このリンクはクエリによって確立されます。

この方法によって、カウンタの柔軟性は大幅に高まります。ただし、このためには適切なクエリを設計する必要があります。

ソフトウェアカウンタの作成

方法1： [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...]
(`sysSamCreateSoftwareCounter`) ウィザードを使用して複雑なカウンタを作成する

必要条件

[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ウィザードを使用するには、カウンタテンプレートが動作する必要があります。

 **警告:**

[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ウィザードの最初のページ ([ソフトウェアのインストール/使用のカウント方法の選択] ページ) では、一覧から値を選択できます。

選択した値に応じて、動作が変化します。

- ウィザードにより、カウンタの [コード] (Code) フィールドの値に応じて、次のページ ([カウンタのテンプレートを選択] ページ) のカウンタがフィルタされます。
- ウィザードにより、ライセンスモデルの [ライセンスタイプ] (seSoftLicType) フィールドの値に応じて、 [ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアライセンスを選択] ページに一覧されるライセンスモデルがフィルタされます。

以下は、ウィザードで選択する値とカウンタの [コード] フィールドの値との対応表です。

ウィザードで選択する値	ウィザードが維持するカウンタモデルの [コード] フィールドの先頭文字列
未定義	BST_SAM
インストールまたは使用	BST_SAM_PIU
特定ワークステーション	BST_SAM_PNW
固定ユーザ	BST_SAM_UACC
同時アクセス数	BST_SAM_PCA
LPAR別	BST_SAM_PLP
CPU速度別	BST_SAM_PCP
ワークステーション (会社と自宅)	BST_SAM_PWH
サイト	BST_SAM_PSS
OEM	BST_SAM_POE
CPU	BST_SAM_PRO

 **ヒント:**

ソフトウェア資産モジュール専用のデータキットの中にある専門分野データに、いくつかのカウントテンプレートが用意されています。

(▶ 専門分野の既存データベースへのインポート [献 28]).

[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ウィザードを使用するには

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク) 。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。

- 3 [次へ]をクリックします。
- 4 [ソフトウェア照合更新カウンタの作成] ページで、[ソフトウェア更新カウンタの作成] ボタンをクリックします。
- 5 これにより、[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ウィザード (sysSamCreateSoftwareCounter) が開始します。
ニーズに合わせてウィザードに入力します。
カウンタのパラメータを確定します ([終了])。

方法2: [単純カウンタの作成] ウィザード (sysSamSimpleSoftCounterCreate) を使用して単純カウンタを作成する

ここでは、特定のモデルにリンクされたライセンスとインストールを比較するカウンタを作成する方法について説明します。

ライセンスとインストールは、従業員別および部署別にグループ化されます。

単純カウンタを作成するには

- 1 [単純カウンタの作成...] Create a named entitlement for a license ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / 単純カウンタの作成...] リンク)。
- 2 ニーズに合わせてウィザードに入力します。
- 3 パラメータを確定します ([終了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。

重要項目:

ライセンスモデルとインストールモデルを選択するウィザード画面が表示されません。

ただし、ライセンスとインストール数の計算の参考として上記のモデルが使用されない場合は、[技術リファレンス] フィールド (ModelRef) の値が使用されません。

[技術リファレンス] フィールドの値が同じモデルはすべて使用されます。

したがって、このフィールドは選択したライセンスモデルおよびインストール済みモデルごとに必ず入力してください。

ウィザードで生成されたライセンス選択クエリの例:

```
Model.ModelRef = 'PC1 - PowerPoint - インストール'
```

[ポートフォリオ品目] テーブル(amPortfolio)をコンテキストとして使用する場合

[単純カウンタの作成...] ウィザードで作成したカウンタは、コンプライアンス管理からは除外され、ウィザードを使用して変更することはできません。

方法3：カウンタを直接作成する

カウンタを直接作成するには、次の手順に従います。

- 1 カウンタを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] リンク）。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 詳細の上半分、特に以下のフィールドとリンクに記入します。
 - [グループ] (Context): 例えば、[結果] タブに従業員ごとのカウント行を表示したい場合は、[部署と従業員] (amEmplDept) テーブルを選択します。
 - [適用範囲] (Definition): [グループ] フィールドに示されたフィールドの一部のレコードだけを考慮したい場合は、クエリを作成して選択します。
- 4 [権限カウント] (bCountLic) ボックスを必要に応じてチェックし、以下のフィールドとリンクに注意して [権限] タブに入力します。
 - [権限カウンタのコンテキスト] (LicContext): 例えば、ライセンス権限を考慮したい場合は、[資産] (amAsset) テーブルを選択します。
 - [カウント制限(ライセンス)] (LicQuery): 権限をカウントしたいレコードを識別するクエリを作成して選択します。
 - [権限->グループリンク] (EntGroupBy): [権限カウンタのコンテキスト] フィールドで指定されたテーブルから [グループ] フィールドで指定されたテーブルへのリンクを指定します。例えば、[資産] (amAsset) テーブルから [部署と従業員] (amEmplDept) テーブルへのリンクの場合、「PortfolioItem.User」のようになります。
 - タブの下部にも記入します。これらは権限カウントを得るために必要な計算を表しています。
- 5 [インストール/使用カウント] (bCountInst) ボックスを必要に応じてチェックし、以下のフィールドとリンクに注意して [インストール/使用] タブに入力します。
 - [インストール/使用カウンタのコンテキスト] (InstContext): 例えば、ソフトウェアのインストールを考慮したい場合は、[ソフトウェアのインストールまたは使用] (amSoftInstall) テーブルを選択します。
 - [カウント制限(インストール)] (SoftInstQuery): インストール/使用をカウントしたいレコードを識別するクエリを作成して選択します。
 - [インストール/使用->グループリンク] (InstGroupBy): [インストール/使用カウンタのコンテキスト] フィールドに指定されたテーブルから、[グループ] フィールドに指定されたテーブルへのリンクを指定します。例えば、[ソフトウェアのインストールまたは使用] (amSoftInstall) テーブルから [部署と従業員] (amEmplDept) テーブルへのリンクは、PortfolioItem.Parent.Userのようになります。
 - [測定情報の使用] (bUseMetering): このオプションを選択するのは、インストール/使用の前の使用日をカウンタ (インストール/使用の詳細画面の [前回の使用] フィールド (dtLastUse)) で考慮する場合です。

 **注意:**

未使用のインストール/使用が次に示す箇所のインストール/使用カウントから削除されます。

- カウンタの [全般] タブ、[インストール/使用カウント] フィールド (dSoftInstallCount)
- カウンタの [結果] タブ、[インストール/使用数] 列

また、次のフィールドで簡単に説明されます。

- カウンタの [全般] タブ、[未使用のインストール] フィールド (dUnusedInstall)
- カウンタの [結果] タブ、[未使用インストールの数] フィールド

-
- 測定情報の使用 (bUseMetering) :
 - [未使用の期間] (tsUnusedDuration) : 実際のソフトウェアの使用を計算に入れる場合、このオプションを選択します。
 - [未使用インストールの定義] (UnusedQuery) : 使用されなくなった可能性があると思われるレコードのリストを制限したい場合は、クエリを作成および選択します。
 - タブの下部分にも入力します。ここでは、インストール/使用カウントを取得するために必要な計算を指定します。

6 [資格カウント] (bCountEnt) ボックスを必要に応じてチェックし、以下のフィールドとリンクに注意して [資格] タブに入力します。

- [資格カウンタのコンテキスト] (EntContext) : 権限を部署と従業員に割当てるのであれば、[部署と従業員] (amEmplDept) テーブルを選択します。
- [カウントする資格の範囲] (EntQuery) : カウント対象とする権限を持つレコードを識別するクエリの作成と選択を行います。
- [資格->グループリンク] (EntGroupBy) : [資格カウンタのコンテキスト] フィールドで指定されたテーブルから、[グループ] フィールドで指定されたテーブルへのリンクを指定します。たとえば、[部署と従業員] (amEmplDept) テーブルから [会社] (amCompany) テーブルへのリンクは、CostCenter.Company となります。
- タブの下部分も入力します。ここでは、資格カウントを得るのに必要な計算を記述します。

7 [作成] をクリックします。

関連する参照フィールド

ライセンス、資格およびインストール/使用に関連する情報は、いくつかの場所にあります。

以下の表は、カウントに使用できるフィールドの例です。

表 8.1. カウンタ - カウントに使用できるフィールド

テーブル	フィールド
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	数量 (fQty)
ソフトウェアのインストール (amSoftInstall)	インストール数 (IUseCount)
資産 (amAsset)	権限 (ISoftLicUseRights)

以下の表は、使用とインストールの識別に使用できるフィールドの例です。

表 8.2. カウンタ - インストール/使用の識別に使用できるフィールド

テーブル	フィールド
属性 (amNature)	オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)
	名前 (Name)
ソフトウェアのインストール (amSoftInstall)	権限 (seAuthorization)
	インストールタイプ (seType)
	ローカル/リモート (bLocal)
	ソフトウェアスイートのコンポーネント (bSuiteComponent)
モデル (amModel)	名前 (Name)
	OS (SoftOS)
	バージョン (VersionLevel)
	技術リファレンス (ModelRef)

以下の表は、ライセンスの識別に使用できるフィールドの例です。

表 8.3. カウンタ - ライセンス/資格の識別に使用できるフィールド

テーブル	フィールド
属性 (amNature)	ライセンス (bSoftLicense)
	名前 (Name)
資産 (amAsset)	導入日 (dInstall)
	ライセンスのタイプ (seSoftLicType)
	ユーザのタイプ (seSoftLicMulti)
モデル (amModel)	名前 (Name)
	OS (SoftOS)
	バージョン (VersionLevel)
	技術リファレンス (ModelRef)

以下の表は、資格の定義に使用できるフィールドの例です。

表 8.4. カウンタ - 資格の識別に使用できるフィールド

テーブル	フィールド
特定資格 (amEntitlement)	コード (Code) 名前 (Name)
従業員の資格 (amRelEmplEntitl)	従業員ID (IEmplDeptId) 資格ID (IEntitlId)
契約資格 (amRelEntitlContract)	契約 (IContrId) 資格 (IEntitlId)
場所の資格 (amRelEntitlLoc)	場所 (ILocald) 資格 (IEntitlId)
ポートフォリオ品目の資格 (amRelEntitlPortf)	ポートフォリオ品目 (IPortfolioItemId) 資格ID (IEntitlId)
資格 (amRelModelEntitl)	モデルID (IModelId) 資格ID (IEntitlId)
部署と従業員 (amEmplDept)	バーコード (BarCode) ID番号 (IDNo)
契約 (amContract)	リファレンス (Ref)
場所 (amLocation)	バーコード (BarCode)
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	コード (Code)

ソフトウェアカウンタを変更する

ウィザードにより変更されるカウンタ

必要条件

カウンタをウィザードで変更できるのは、カウンタの作成を [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成] (sysSamCreateSoftwareCounter) ウィザードで行い、 [ウィザードを使用してカウンタを編集] (bAutomated) オプションが有効な場合のみです。

▶ 方法1: [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] (sysSamCreateSoftwareCounter) ウィザードを使用して複雑なカウンタを作成する [献 76].

カウンタを変更するには、以下の手順に従います。

- 1 [ソフトウェアカウンタの結果] ページを表示します
 - 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する
 - a [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク) 。

- b [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
 - c [次へ] をクリックします。
 - d [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、[カウンタを変更] ボタンをクリックします。
- 方法2: Windowsクライアントメニューを使用する
[ソフトウェア/ソフトウェアカウンタの結果] メニューをクリックします。
- 2 変更するカウンタを選択します。
 - 3 以下のボタンを使用します。
 - [ライセンス]: [考慮に入れるライセンスモデルのリストの変更] (sysSamAddLic2Counter) ウィザードがトリガされます
 - [インストール]: [考慮に入れるインストールモデルのリストの変更] (sysSamAddInst2Counter) ウィザードがトリガされます
 - [範囲]: [カウンタの適用範囲の定義] (sysSamAddScope2Counter) ウィザードがトリガされます
-

 **注意:**

これらのボタンは、カウンタの詳細にある以下に挙げるフィールドの値に応じて表示されます。

- 権限カウント (bCountLic)
 - インストール/使用カウンタのコンテキスト (InstContext)
 - 測定情報の使用 (bUseMetering):
-

ウィザードなしで変更したカウンタ

カウンタの詳細にある以下のフィールドおよびリンクを変更できるのは、カウンタの [ウィザードを使用してカウンタを編集] (bAutomated) オプションが無効の場合のみです。

- 適用範囲リンク (definition)
- [権限] タブにあるフィールドおよびリンク:
- [資格] タブにあるフィールドおよびリンク:
- [インストール/使用] タブにあるフィールドおよびリンク:

ウィザードを使用しないでカウンタを変更するには、

- 1 カウンタを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] リンク)。
- 2 変更するカウンタを選択します。
- 3 カウンタの作成。
- 4 変更を保存します ([変更])。

ソフトウェアカウンタの結果の更新

カウンタの結果を更新するには

ウィザードが変更したカウンタ

必要条件

カウンタをウィザードで変更できるのは、カウンタの作成を [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成] (sysSamCreateSoftwareCounter) ウィザードで行い、 [ウィザードを使用してカウンタを編集] (bAutomated) オプションが有効な場合のみです。

▶方法1: [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] (sysSamCreateSoftwareCounter) ウィザードを使用して複雑なカウンタを作成する [献 76].

カウンタを変更するには

- 1 [ソフトウェアカウンタの結果] ページを表示します
 - 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する
 - a [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
 - b [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
 - c [次へ] をクリックします。
 - d [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、 [カウンタを変更] ボタンをクリックします。
 - 方法2: Windowsクライアントメニューを使用する
[ソフトウェア / ソフトウェアカウンタの結果] メニューをクリックします。
- 2 更新するカウンタを選択します。
- 3 [計算] をクリックします。



注意:

[計算] ボタンを押すと、アクション [ソフトウェアカウンタの再起動] (sysCoreSoftLicCountCalc) が開始します。これは、ユーザから見て連続しています。

-
- 4 上部のリストには、全カウンタの合計カウントが表示されます。

- 5 下部のリストには、上部のリストで選択したカウンタの詳細な結果が表示されます。

カウンタに定義された範囲の制限（ [カウントする権限の範囲]（Definition）フィールド）内にある項目が、テーブルごとにグループ分け（グループ（Context）フィールド）され、1レコードにつき1行で表示されます。

すべてのカウンタタイプ

ウィザードを使用しないでカウンタを変更するには、

- 1 カウンタを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] リンク）。
- 2 更新するカウンタを選択します。
- 3 [計算] をクリックします。

注意:

[計算] ボタンを押すと、アクション [ソフトウェアカウンタの再起動]（sysCoreSoftLicCountCalc）が開始します。これは、ユーザから見て連続しています。

-
- 4 [全般] タブと [結果] タブにある結果を調べます。

定期削除

[計算] をクリックするたびに、[結果] タブに表示される行のそれぞれに対して、[権限/使用カウント] テーブル（amRightsUsesCount）にレコードが作成されます。

[結果] タブに表示されるのは、[計算] ボタンをクリックして実行された最後の計算の結果だけです。

ただし、以前の結果は消去されてはいません。

これらの結果を使って、ライセンスおよびインストール/使用の進展をトラッキングし、レポートの作成などを行えます。

[権限/使用カウント] テーブルが大きくなりすぎた場合は、このテーブルの不要なレコードを定期的に削除することをお勧めします。

ヒント:

同じ計算で生成されたレコード同士では、[結果識別子]（IResultId）フィールドと [カウント日]（dtCountRequest）フィールドの値が一致します。

インストール/使用とライセンス間の不整合を処理する

ここでは、ソフトウェアライセンスコンプライアンスを実現する方法について説明します。

- 不足したライセンス権限を発注する
- 余分なインストール/使用をアンインストールする

必要条件

会社ソフトウェア管理カウンタのみを使用して、インストール/使用とライセンス間の不整合を解決できます

会社ソフトウェア管理に含めるには、[会社ソフトウェア管理の一部] (bFamily) オプションを有効にする必要があります。

[ソフトウェアコンプライアンスの問題を解決] (sysSamIdentifyIllegalInstall) ウィザードでは、[バーコード] (BarCode) フィールドの値が「SOFTUNINST」である作業指示が使用されます。

このモデルがデータベース中に存在することを確認してください。

不整合を解決する

- 1 以下の方法のいずれかを使用できます。
 - 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する
 - a [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
 - b [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
 - c [次へ] をクリックします。
 - d [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、[不正を修復] をクリックします。
 - 方法2: Windowsクライアントメニューを使用する
 - a [ソフトウェア / ソフトウェアカウンタの結果] メニューをクリックします。
 - b 解決するカウンタを選択します。
 - c [解決] をクリックします。
- 2 これにより、ソフトウェアコンプライアンスの問題を解決 (sysSamIdentifyIllegalInstall) ウィザードが開始します。
調査するカウンタを選択します。

[次へ]をクリックしてから、ウィザードの指示に従います。

ライセンス権限が足りない場合、ウィザードによってライセンス依頼を作成するかソフトウェアをアンインストールすることができます。

- 3 パラメータを確定します（[終了]ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（[OK]ボタン）。

「旧モード」ソフトウェアカウンタ



警告:

ここでの説明は、Windowsクライアントのみに適用されます。

AssetCenterのバージョン4.3.0では、カウンタの機能が全面的に改良されています。

ただし、AssetCenterの旧バージョンから移行したカウンタもそのまま使用できるように、「旧モード」のカウンタがサポートされています。

「旧モード」カウンタの使用

- 1 画面一覧を表示します（[管理/画面一覧]メニュー）。
- 2 リストのヘッダーで[画面]をクリックします。
- 3 [ソフトウェアカウンタ（以前の形式）]（**sysOldamSoftLicCounter**）を検索します。
- 4 この画面を開きます。

「旧モード」カウンタに関する情報

「旧モード」の詳細については、マニュアル『AssetCenter 4.2.0 - ポートフォリオ』の「ソフトウェア」の章の「ソフトウェアカウンタ」の節を参照してください。

「旧モード」カウンタの変換

5.0よりも前のバージョンのデータベースをマイグレーションした場合、カウンタはそのままインポートされます。

カウンタは従来と同様にそのまま使用できます。

カウンタをアップグレードしたい場合は、従来のカウンタを参考にして新しいカウンタを作成することをお勧めします。

ライセンス数超過の場合に自動メッセージを送信する

ここでは、ソフトウェアライセンス権限が超過している場合に自動通知を送信する方法について説明します。

このタスクは、ライセンス数の不足 (BST_SAM01) ワークフローチャートによって自動的に実行されます。

このワークフローチャートは、ソフトウェア資産モジュールの専門分野データの一部です。

▶ 専門分野の既存データベースへのインポート [献 28].

このワークフローチャートを次に説明します。

表 8.5. ライセンスコントロール-ライセンス数の不足ワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	新しいカウンタの作成 または、次に示す [ソフトウェアカウンタ] (amSoftLicCounter) テーブルのいずれかのフィールドの変更 <ul style="list-style-type: none">■ ライセンス数 (lLicUseRights)■ インストール数 (lSoftInstallCount)■ 権限カウント (dLicUseRights)■ インストール/使用カウント (dSoftInstallCount)
ワークフローチャートの実行条件	(lSoftInstallCount > lLicUseRights) OR (dSoftInstallCount > dLicUseRights)
AssetCenter Serverはワークフローチャートをトリガして実行する必要がありますか？	いいえ
ワークフローチャートの概要説明	アクション「ライセンス数超過に関する管理者へのメール」 (BstSamLicenses_exceeded) で指定した人にメッセージが送信されます。 これはデフォルトで、 [名前] (Name) フィールドが「Admin」に設定されている [従業員と部署] (amEmplDept) テーブルのレコードに該当する人です。 指定従業員の [電子メール] (EMail) フィールドで指定されたアドレスにメッセージが送信されます。

別の受信者を選択するには、警告メッセージの本体または件名を変更します。

- 1 アクションを表示します (ナビゲーションバーの [管理 / アクション] リンク)。
- 2 アクション「ライセンス数超過に関する管理者へのメール」 (BstSamLicenses_exceeded) を表示します。
- 3 次のフィールドおよびリンクを変更します。

フィールドまたはリンク

[メッセージ] タブ

受信者 (MsgTo)

件名 (Subject)

メッセージ (memMsgText)

通知メッセージの受信アドレスを定義するには、

- 1 従業員と部署を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク)。
- 2 アクションライセンス数超過に関する管理者へのメール (BstSamLicenses_exceeded) の受信者を表示します。
- 3 [電子メール] (EMail) フィールドを変更します。

ソフトウェアカウンタを定期的に検証する

ここでは、すべてのカウンタを定期的に自動で再計算する方法を説明します。このタスクは、ライセンス数の定期検証 (BST_SAM02) ワークフローで実行されます。

「ライセンス数の定期検証」ワークフローチャートの主な機能

このワークフローチャートは、ソフトウェア資産モジュールの専門分野データの一部です。

▶ 専門分野の既存データベースへのインポート [献 28].

表 8.6. ライセンスコントロール-ライセンス数の定期検証ワークフローチャート

ワークフローチャートをトリガする	ワークフローチャートの開始イベントのカレンダーで定義された頻度に従う
AssetCenter Serverはワークフローチャートをトリガして実行する必要がありますか？	はい
ワークフローチャートの概要説明	ワークフローチャートによって、アクション全ソフトウェアのインストール数の計算 (BstSamComputeAllLicAndInstall) が実行され、すべてのカウンタが再計算されます。

AssetCenter Serverを設定する

AssetCenter Serverは、ライセンス数の定期検証ワークフローチャートの開始イベントのカレンダーに指定された情報を使用してライセンス数の定期検証ワークフローをトリガする必要があるかどうかをテストします。

AssetCenter Serverが必ずこのタスクを実行するようにするには、次の手順に従います。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 AssetCenterデータベースに接続します（ [ファイル/データベースに接続] メニュー ）。
- 3 モジュールを表示します（ [ツール/モジュールの設定] ）。
- 4 「実行グループSYS_SAM'にワークフロー規則を適用」（WkGroupSYS_SAM）モジュールを選択します。
- 5 モジュールのトリガ実行カレンダーを定義します（ [検証スケジュール] 枠）。

AssetCenter Serverをバックグラウンドタスクとして実行する

AssetCenter Serverは、「実行グループSYS_SAM'にワークフロー規則を適用」モジュールを定期的に行うためにバックグラウンドタスクとして実行する必要があります。

カウンタ再計算の結果

カウンタを再計算すると、特に次のフィールドが更新されます。

フィールド

ライセンス数 (lLicUseRights)

インストール数 (lSoftInstallCount)

権限カウント (dLicUseRights)

インストール/使用カウント (dSoftInstallCount)

資格カウント (dEntCount)

これらのフィールドのいずれかが変更されると、ライセンス数の不足 (BST_SAM01) がトリガされます (▶ ライセンス数超過の場合に自動メッセージを送信する [献 88]) 。

9 レポートとグラフの表示

ソフトウェアのコントロールパネルの表示

コントロールパネルを表示する

方法1：[ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する

- a ソフトウェアの管理ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- b [ソフトウェアの管理] ページで、[レポートとグラフの表示] オプションを選択します。
- c [次へ] をクリックします。
- d [レポートとグラフの作成] ページで、[標準コントロールパネル] ボタンをクリックします。

方法：ナビゲーションバーのリンクを使用する

ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアのコントロールパネル] をクリックします。

コントロールパネルをカスタマイズする

コントロールパネルを構成するレポートの一覧を変更するには、次の手順に従います。

- 1 アクションを表示します（ナビゲーションバーの [管理 / アクション] リンク）。
- 2 アクション [ソフトウェアのコントロールパネル]（BstSamDashBoard）を選択します。
- 3 [インジケータ] タブを選択します。
- 4 コントロールパネルで統計とレポートの一覧を変更します。
- 5 変更を保存します（ [変更] ）。

ソフトウェアに関するレポートを表示する

方法1： [ソフトウェアの管理] ウィザード（sysSamLauncher）を使用する

- 1 ソフトウェアの管理ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [レポートとグラフの表示] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [レポートとグラフの作成] ページで、選択したレポートに対応するボタンをクリックします。

方法2：メニューを使用する

注意:

この操作を実行できるのは、Windowsクライアント使用時のみです。

- 1 レポートを表示します（ナビゲーションバーの [管理 / レポート機能 / レポート] リンク）。
- 2 [ドメイン] 列がリストに表示されない場合：
 - a リスト内で右クリックします。
 - b ショートカットメニューから [ユーティリティ / リストの設定] を選択します。
 - c [ドメイン]（Domain）リンクをリスト内の列に追加します。
 - d [OK] をクリックします。
- 3 [ドメイン] 列でリストを並び替えます。
- 4 ソフトウェア資産モジュールに属するレポートは、パス「/ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/」および「/ポートフォリオ管理/IT/レポート/」によって識別可能です。

10 実用例

一般情報と必要条件

一般情報

実用例は、AssetCenterを使ってソフトウェア資産を管理する方法を示します。

実用例はそれぞれ、ソフトウェア管理の特定の側面を扱っています。

実用例を正しく動作させるには、各ステップを最後まで実行し、示された手順に従う必要があります。基本的なフィールドとリンクだけが示されています。他のフィールドやリンクを自分で調べてみてかまいません。

必要条件

実用例を実行するには、以下のことを実行しておく必要があります。

- 1 Adminログイン（対応パスワードは空）を使用してAssetCenterのデモ用データベースに接続する。
- 2 Windowsクライアント使用時：[ファイル/モジュールの起動]メニューで、少なくともポートフォリオ、ソフトウェア資産、調達、ファイナンス、契約、管理の各モジュールを起動してください。
- 3 ソフトウェア資産モジュールから、専門分野データをインポートします。
▶ 専門分野の既存データベースへのインポート [献 28].

実用例1: 必要品目の作成

はじめに

この実用例は、今後の実用例で使用する品目の作成方法について説明します。

属性を作成します。

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 属性] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ
[全般] タブ	
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	コンピュータ (amComputer)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ
ソフトウェアをインストール (bHasSoftInstall)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - ライセンス
[全般] タブ	
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ
ライセンス (bSoftLicense)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - インストール
[全般] タブ	
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)

フィールドまたはリンク	値
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

実用例4: 契約ライセンスを作成する

必要条件

この実用例は、必ず実用例1を最後まで実行してから実行する必要があります。

はじめに

この実用例は、ライセンス契約を作成および変更する方法について説明します。

シナリオ

「PC4 - 鴨山」氏は、本社の経営情報管理部門にいます。

「PC4 - 鴨山」氏は、グローバルライセンス契約と別にライセンス「PC4 - PowerPoint」を取得します。このライセンスをAssetCenterデータベースに記録します。

後の段階で、「PC4 - 鴨山」氏はグローバルライセンス契約「PC4 - Microsoftライセンス契約」を会社「PC4 - Microsoft」と結びます。

契約「PC4 - Microsoftライセンス契約」は、データベース内に作成してから、更新します。また、通知期間内に契約を終了するために期間満了日のアラームを設定します。

「PC4 - 鴨山」氏は、ライセンス「PC4 - PowerPoint」を契約「PC4 - Microsoftライセンス契約」に再度組み込むことによって、一括契約にしようと思っています。

契約「PC4-001」はメンテナンス契約にリンクされているので、「PC4 - 鴨山」氏はメンテナンス契約をAssetCenterデータベースに作成し、それを契約「PC4 - Microsoftライセンス契約」にリンクします。

実用例の主要段階

- 1 契約の責任者を作成する [献 96]
- 2 会社の場所を作成する [献 96]
- 3 サプライヤが署名した紙の書類をスキャンしたファイルを作成する [献 97]
- 4 「PC4 - 鴨山」としてデータベースに接続する [献 97]
- 5 「PC4 - PowerPoint」ライセンスのリセラーを作成する [献 97]
- 6 「PC4 - PowerPoint」ライセンスのモデルを作成する [献 99]
- 7 「PC4 - PowerPoint」ライセンスに対応する資産を作成する [献 99]
- 8 契約を作成する [献 98]

- 9 契約「PC4-001」を変更する [献 100]
- 10 ウィザードによって作成および変更された契約を調べる [献 101]
- 11 契約終了日に対するアラームに関連付けられたアクションを作成する [献 102]
- 12 アラームを終了日に関連付ける [献 102]
- 13 AssetCenter Server内でアラームの検証 (Alarms) モジュールをトリガする [献 103]
- 14 「PC4 - 鴨山」としてデータベースに再接続する [献 103]
- 15 「PC4 - PowerPoint」ライセンスに関連付けられた請求書を作成する [献 104]
- 16 ライセンス「PC4 - PowerPoint」に対応する請求書に明細を追加します。 [献 104]
- 17 ライセンス「PC4 - PowerPoint - ライセンス」の請求明細を契約「PC4-001」にリンクする [献 104]
- 18 メンテナンス契約を契約「PC4-001」に関連付ける [献 105]
- 19 メンテナンス契約を変更する [献 107]

実行する手順

契約の責任者を作成する

- 1 従業員を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク)。
- 2 次の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、次のレコードを作成します ([新規作成] ボタン)。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC4 - 鴨山
[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:kamoyama
[プロファイル] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	kamoyama
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。
管理者権限 (bAdminRight)	はい

- 3 Windowsクライアント : すべてのウィンドウを閉じます。

会社の場所を作成する

- 1 場所を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 場所] リンク)。
- 2 次の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、次のレコードを作成します ([新規作成] ボタン)。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC4 - 本社
市町村 (City)	PC4 - パリ

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

サプライヤが署名した紙の書類をスキャンしたファイルを作成する

- 1 テキストエディタを起動します。
- 2 テキストを入力します。

この文書は、サプライヤが署名した紙の書類をスキャンしたものです。

- 3 このファイルをC:\Temp\Contract.txtとして保存します。
- 4 テキストエディタを終了します。

「PC4 - 鴨山」としてデータベースに接続する

- 1 「PC4 - 鴨山」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント：[ファイル/データベースに接続]メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	kamoyama
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

「PC4 - PowerPoint」ライセンスのリセラーを作成する

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC4 - Microsoft

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

契約を作成する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [契約管理] ページで、[完全に承認された契約を入力] ボタンをクリックします。

これにより、ソフトウェア契約(原案)を作成 (sysSamCreateSoftContract) ウィザードがトリガされます。

- 5 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェア契約を入力] ページ	
新規作成	はい
[契約のタイプ] ページ	
作成する契約のタイプを選択	Microsoft
[マイクロソフト契約] ページ	
契約番号	PC4-MSNUM001
[このソフトウェア契約のベンダはどのベンダですか?] ページ	
名前	PC4 - Microsoft
新規ベンダ	いいえ
[ベンダの詳細を定義] ページ	
新規連絡先	はい
[ウィザード] ページ	
姓	PC4 - Kramer
役職	PC4 - セールスエンジニア
[ベンダの場所を定義] ページ	
新しい場所	はい
[ウィザード] ページ	
場所の名前	PC4 - フランスの子会社
市町村	PC4 - パリ
[一般契約情報] ページ	
契約の内部リファレンス (Ref)	PC4-001
目的	PC4 - Microsoft ライセンス契約
サブライヤRef番号	PC4-MSREF001
開始	2005年1月1日
終了	2005年12月31日
通知	60日
[財務情報] ページ	
支払属性	なし
[内部契約の定義] ページ	

フィールドまたはリンク	レコード
責任者	PC4 - 鴨山
通知先住所	/PC4 - 本社/
[その他の契約条件] ページ	何も入力しないでください。
[契約ドキュメントとメモ] ページ	何も入力しないでください。
[概要] ページ	
契約の作成後に実行するステップを選択	なし

- 6 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
ウィザードによって契約、サプライヤの場所、およびサプライヤの連絡先が作成されます。
- 7 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。
- 8 ウィザードを終了します ([終了] ボタン)。

「PC4 - PowerPoint」ライセンスのモデルを作成する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC4 - PowerPoint - ライセンス
属性 (Nature)	PC1 - ライセンス

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

「PC4 - PowerPoint」ライセンスに対応する資産を作成する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [作業対象の契約を選択] ボタンをクリックします。
- 3 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、 [戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[現在のソフトウェア契約を選択...] ページ	
[契約] リスト	「PC4-001 (PC4 - Microsoftライセンス契約) Microsoft standard Pc4 - 鴨山, PC4 - 鴨山」契約を選択します。

- 4 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([OK] ボタン)。

- 5 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、[ソフトウェアライセンスの作成] ボタンをクリックします。
これにより、新規ソフトウェアライセンスの作成... (sysSamCreateLicpfi) ウィザードがトリガされます。
- 8 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[新規ソフトウェアライセンスの作成] ページ	
[既存のソフトウェアライセンスからこの新規ライセンス用のライセンスタイプ (モデル) を選択] 一覧:	[PC4 - PowerPoint - ライセンス] レコードを選択します
[ライセンス情報を入力] ページ	
ラベル (資産タグ)	PC4-001
[財務情報] ページ	
契約	PC4-001 (PC4 - Microsoftライセンス契約)
[概要:] ページ	
なし	はい

- 9 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
ウィザードにより、ライセンスが作成され、契約にリンクされます。

契約「PC4-001」を変更する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 現在の契約は「PC4-001」であることを確認します。
そうでない場合は選択します ([作業対象の契約を選択] ボタン)。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [契約管理] ページで、[既存の契約を変更] をクリックします。
これにより、ソフトウェア契約契約 (原案) を作成 (sysSamCreateSoftContract) ウィザードがトリガされます。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェア契約の変更...] ページ	
どの契約を作成しますか?	現在の契約PC4-001を変更する
[変更したい契約部分を選択] ページ	
変更する契約の部分を選択してください	契約にドキュメントを追加
[契約ドキュメントとメモ] ページ	
ドキュメントの固有名	PC4 - ISPとの契約
契約の添付ドキュメントのパス	C:\Temp\Contract.txt
上記ドキュメントのカテゴリ	PC4 - スキャンされた契約
上記ドキュメントのステータス	承認済
[ドキュメントの追加] をクリックします。	
[概要] ページ	
契約の作成後に実行するステップを選択	なし

- 7 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します（[終了] ボタン）。
ウィザードによってドキュメントが追加されます。
- 8 ウィザードを終了します（[OK] ボタン）。
- 9 ウィザードを終了します（[終了] ボタン）。

ウィザードによって作成および変更された契約を調べる

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク）。
- 2 「PC4-001」契約（リファレンス（Ref））の詳細画面を表示します。
- 3 特に、次のフィールドとリンクには気を付けて下さい。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス（Ref）	PC4-001
タイプ（seType）	選択することなく、値「ライセンス」がウィザードによって自動的に割り当てられます。
目的（Purpose）	PC4 - Microsoftライセンス契約
[全般] タブ	
責任者（Supervisor）	PC4 - 鴨山
属性（Nature）	Microsoft
番号（ContractNo）	PC4-MSREF001
会社（Company）	PC4 - Microsoft
開始日（dStart）	2005年1月1日
終了日（dEnd）	2005年12月31日
通知（tsNotice）	2ヶ月
[連絡先] タブ	
通知先住所（NotiffAddress）	/PC4 - 本社/
連絡先（Contact）	PC4 - Kramer
[ドキュメント] タブ	ウィザードにリンクしたドキュメントが表示されます。

フィールドまたはリンク	値
[ライセンス]タブ	「PC4-PowerPoint-ライセンス(PC4-001)」が見つかります。

- 4 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

契約終了日に対するアラームに関連付けられたアクションを作成する

- 1 アクションを表示します（ナビゲーションバーの[管理/アクション]リンク）。
- 2 次の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、次のレコードを作成します（[新規作成]ボタン）。

フィールドまたはリンク	値
名前	PC4-期間満了アラーム
コンテキスト	契約(amContract)
タイプ	メッセージ
[メッセージ]タブ	
受信者	AM:kamoyama
件名	満了日が近づく
メッセージ	契約[Ref]の満了日は[dEnd]です。 通知期限:[tsNotice]

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

アラームを終了日に関連付ける

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの[契約/契約]リンク）。
- 2 「PC4-001」契約（リファレンス(Ref)）の詳細画面を表示します。
- 3 [全般]タブをクリックします。
- 4 [終了]（dEnd）フィールドの右にある[アラーム]アイコンをクリックします。
- 5 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
アラーム日	はい
トリガ	90
アクション	PC4-期間満了アラーム

- 6 アラームを保存します（[OK]ボタン）。
- 7 契約を変更します（[変更]ボタン）。
- 8 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

AssetCenter Server内でアラームの検証 (Alarms) モジュールをトリガする

- 1 AssetCenter Serverを起動します (Windowsの [スタート / プログラム / HP OpenView / AssetCenter 5.0 <language> / AssetCenter Server] メニュー) 。
- 2 「Admin」としてデータベースに接続します ([ファイル / データベースに接続] メニュー) :

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	Admin
パスワード	空白のまま残します。
この接続をサービスモードで使用	いいえ

- 3 トリガするアクションを表示します ([アクション / 起動]) 。
- 4 アクションアラームの検証を選択します。
- 5 選択したアクションを実行します ([OK] ボタン) 。
- 6 AssetCenter Serverを終了します ([ファイル / 終了] メニュー) 。

「PC4-鴨山」としてデータベースに再接続する

- 1 AssetCenterクライアントを有効にします。
- 2 「PC4-鴨山」としてデータベースに再接続します :
 - Windowsクライアント : [ファイル / データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント : 右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	kamoyama
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- AssetCenterによって、「未読のメッセージがあります。今すぐ開封しますか?」というメッセージが表示されます。
- 3 未読のメッセージを表示します ([はい] ボタン) 。
- これにより、メッセージを読む (sysCoreReadMsg) ウィザードがトリガされます。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 契約の終了日が近づいていることを通知するメッセージの詳細画面がウィザードによって表示されます。
- 5 契約の詳細画面を表示します ([参照オブジェクト] ボタン) 。
 - 6 契約の詳細画面を閉じます
 - 7 ウィザードを終了します ([終了] ボタン) 。

「PC4 - PowerPoint」ライセンスに関連付けられた請求書を作成する

- 1 請求書を表示します（ナビゲーションバーの [調達 / サプライヤの請求書] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (InvoiceNumber)	PC4-001
サプライヤ (Supplier)	PC4 - Microsoft
[全般] タブ	
目的 (Purpose)	PC4 - PowerPoint - ライセンス
請求ステータス (seStatus)	支払済

- 3 請求書の詳細画面を表示したままにします。

ライセンス「PC4 - PowerPoint」に対応する請求書に明細を追加します。

- 1 「PC4-001」請求書の詳細画面が表示されていることを確認します。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 次の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、次のレコードを追加します（ [+] ボタン）。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
詳細 (Description)	PC4 - PowerPoint - ライセンス

- 4 明細を追加します（ [追加] ボタン）。
- 5 請求書を変更します（ [変更] ボタン）。
- 6 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

ライセンス「PC4 - PowerPoint - ライセンス」の請求明細を契約「PC4-001」にリンクする

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 2 現在の契約は「PC4-001」であることを確認します。
そうでない場合は選択します（ [作業対象の契約を選択] ボタン）。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ソフトウェアの管理] ウィザードページで、 [請求明細を契約にリンク] ボタンをクリックします。
これにより、請求明細を契約にリンク (sysSamLinkInvoices2Ctr) ウィザードが開始します。

- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用）。

フィールドまたはリンク	レコード
[請求明細を契約にリンク] ページ	PC4-001 (PC4 - Microsoftライセンス契約)
契約サプライヤでフィルタリング	はい
[請求明細を契約にリンク...] ページ	
サプライヤの請求書	請求「PC4-001 PC4 - Microsoft」を選択します。
[請求明細を契約にリンク...] ページ	
請求明細	明細「PC4-001 1 PC4 - PowerPointライセンス 1 0,00」を選択します。

- 7 入力した内容を確定します（ [終了] ）。
- これにより、請求明細が契約にリンクされます。
- 8 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。
- 9 ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。
- 10 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク）。
- 11 「PC1-004」（リファレンス（Ref）フィールド）を選択します。
- 12 特に、次のフィールドとリンクに注意を向けて下さい。

フィールドまたはリンク	値
[請求明細] タブ	請求明細「1 PC4 - PowerPointライセンス 0,00 / PC4-001/」が表示されます。

- 13 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

メンテナンス契約を契約「PC4-001」に関連付ける

- 1 「PC3 - 鴨山」としてデータベースに接続していることを確認します。
- 2 [ソフトウェアの管理]（sysSamLauncher）ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク）。
- 3 現在の契約は「PC4-001」であることを確認します。
そうでない場合は選択します（ [作業対象の契約を選択] ボタン）。
- 4 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [契約管理] ページで、[新規メンテナンスレコードを作成] をクリックします。
これにより、契約の作成ウィザード（BstCntrCreateContract）が開始します。
- 7 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用）。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェア契約 PC4-001 にリンクされたメンテナンス契約を定義します。] ページ	
番号	PC4-MAINT001
目的	サポートとアップグレード
開始	2006年1月1日
終了	2006年11月30日
資産をメンテナンス契約にリンクしますか?	はい
[資産を契約にリンク] ページ	
追加日	2006年1月1日
削除予定日	2006年11月30日
資産のリスト	「PC4-001」(資産タグ)を選択します。
[契約の作成] ページ	
責任者	PC4 - 鴨山
通知先住所	/PC4 - 本社/
[契約の作成] ページ	
何も入力しないでください。	
[契約ドキュメントとメモ] ページ	
何も入力しないでください。	
[概要] ページ	
契約の詳細を表示	はい

- 8 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
- 9 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。
ウィザードによって、メンテナンス契約が作成および表示されます。
- 10 特に、次のフィールドとリンクに注意を向けて下さい。

フィールドまたはリンク	値
タイプ (seType)	選択することなく、値「メンテナンス」がウィザードによって自動的に割り当てられます。
目的 (Purpose)	サポートとアップグレード
[全般] タブ	
親契約 (Parent)	契約が現在の契約「PC4-001 (PC4 - Microsoft ライセンス契約)」に自動的にリンクされます。
責任者 (Supervisor)	PC4 - 鴨山
番号 (ContractNo)	PC4-MAINT001
会社 (Company)	PC4 - Microsoft
開始日 (dStart)	2006年1月1日
終了日 (dEnd)	2006年11月30日
通知 (tsNotice)	2ヶ月
[連絡先] タブ	
通知先住所 (NotiffAddress)	/PC4 - 本社/
連絡先 (Contact)	PC4 - Kramer
[資産] タブ	
「PC4 - PowerPoint - ライセンス」が表示されます。	

- 11 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

メンテナンス契約を変更する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 現在の契約は「PC4-001」であることを確認します。
そうでない場合は選択します ([作業対象の契約を選択] ボタン)。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [契約管理] ページで、[メンテナンス契約を変更] ボタンをクリックします。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[メンテナンス契約を変更] ページ	
契約	「PC4-001」契約の付属契約を選択します
契約を既存の契約にリンク	いいえ
[契約詳細の変更] ページ	
終了	2006年12月31日

- 7 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
ウィザードによって契約、サプライヤの場所、およびサプライヤの連絡先が作成されます。
- 8 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。
- 9 ウィザードを終了します ([終了] ボタン)。
- 10 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

実用例3：契約ライセンスの承認を管理

はじめに

この実用例では、完全ライセンス契約の承認手順を紹介します。

シナリオ

経営情報管理部門の「PC3-高田」氏は、サプライヤとの間で契約を締結しようとしています。

この種類の契約は、「PC3-予算の承認」というグループによって予算の観点から承認する必要があります。このグループは、リーダーが最高財務責任者「PC3-安藤」氏で、メンバーに会計士「PC3-手塚」氏がいます。

契約を予算の観点から承認する場合、「PC3-法律の承認」というグループによって法的な点から承認することも必要です。このグループは、リーダーが法律顧問の「PC3-寺井」氏で、メンバーに弁護士「PC3-福山」氏がいます。

承認は、いずれのグループリーダーが行うことも、メンバーの一員が行うこともできます。

実用例の主要段階

- 1 承認者を作成する [献 108]
- 2 契約（「PC3-高田」氏）を作成する [献 110]
- 3 承認グループを作成する [献 112]
- 4 契約の承認（sysSam_CNTR_APPR）ワークフローチャートのカスタマイズ [献 112]
- 5 承認（「PC3-高田」氏）を依頼する [献 113]
- 6 契約（「PC3-安藤」）の予算の承認を却下する [献 114]
- 7 契約を変更して承認用に再提出する（「PC3-高田」氏） [献 115]
- 8 予算の観点から契約を承認する（「PC3-手塚」氏） [献 116]

実行する手順

承認者を作成する

- 1 従業員を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します（ [新規作成] ）。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3-安藤
役職 (Title)	最高財務責任者

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、 [はい] をクリックします。

[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:andou
[プロファイル] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	andou

フィールドまたはリンク	値
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。
管理者権限 (bAdminRight)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - 手塚
役職 (Title)	会計士

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。

[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:tezuka
[プロフィール] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	tezuka
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。
管理者権限 (bAdminRight)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - 福山
役職 (Title)	法律顧問

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。

[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:fukuyama
[プロフィール] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	fukuyama
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。

フィールドまたはリンク	値
管理者権限 (bAdminRight)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - 寺井

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

役職 (Title)	弁護士
[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:terai
[プロファイル] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	terai
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。
管理者権限 (bAdminRight)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - 高田
役職 (Title)	CIO

注意:

「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

[全般] タブ	
電子メール (EMail)	AM:takada
[プロファイル] タブ	
アクセスタイプ (seLoginClass)	不特定
ユーザアカウントのステータス (seLoginStatus)	アクティブ
ログイン (UserLogin)	takada
パスワード (LoginPassword)	空白のまま残します。
管理者権限 (bAdminRight)	はい

3 Windowsクライアント：従業員のリストを閉じます（ [閉じる] ボタン）。

契約（「PC3 - 高田」氏）を作成する

- 1 最高情報責任者「PC3 - 高田」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント：[ファイル / データベースに接続] メニュー。

- Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	takada
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 3 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [契約管理] ページで、[新しいソフトウェア契約の作成(原案)] ボタンをクリックします。
これにより、ソフトウェア契約を作成(原案) (sysSamCreateSoftContract) ウィザードがトリガされます。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェア契約(原案)を作成] ページ	
新規作成	はい
[契約のタイプ] ページ	
その他	はい
[追加契約の定義] ページ	
外部契約を再定義しない	はい
[一般契約情報] ページ	
契約の内部リファレンス (Ref)	PC3-001
[財務情報] ページ	
支払額	10000
[内部契約の定義] ページ	
責任者	PC3 - 高田
[その他の契約条件] ページ	何も入力しないでください。
[契約ドキュメントとメモ] ページ	何も入力しないでください。
[概要] ページ	
なし	はい

- 7 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します ([終了] ボタン)。
- 8 ウィザードを終了します ([OK] ボタン)。

- 9 ウィザードを終了します（[終了]ボタン）。

承認グループを作成する

- 1 グループを表示します（[組織/従業員グループ]リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します（[新規作成]）。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC3 - 予算の承認
責任者（Supervisor）	PC3 - 安藤
バーコード（BarCode）	CNTRBUDGET-PC3
新規レコードを作成（[作成]をクリック）して、次に進みます	
[グループ構成]タブ	
メンバー（Members）	「PC3 - 手塚」を追加します。
[契約]タブ	
契約（Contracts）	「PC3 - 001」を追加します。

フィールドまたはリンク	値
名前（Name）	PC3 - 法律の承認
責任者（Supervisor）	PC3 - 寺井
バーコード（BarCode）	CNTRLEGA-PC3
新規レコードを作成（[作成]をクリック）して、次に進みます	
[グループ構成]タブ	
メンバー（Members）	「PC3 - 福山」を追加します。
[契約]タブ	
契約（Contracts）	「PC3 - 001」を追加します。

- 3 Windowsクライアント：グループのリストを閉じます（[閉じる]ボタン）。

契約の承認（sysSam_CNTR_APPR）ワークフローチャートのカスタマイズ

注意:

この操作を実行できるのは、Windowsクライアント使用時のみです。

- 1 ワークフローチャートを表示します（ナビゲーションバーの[管理/ワークフロー/ワークフローチャート]リンク）。
- 2 [契約の承認]（sysSam_CNTR_APPR）ワークフローチャートを選択します。
- 3 [アクティビティ]タブを表示します。
- 4 契約の承認:技術（SAM_APPR_CNTR_OPER）アクティビティを削除します（[契約の承認:技術]ボックスのショートカットメニュー[削除]）。
- 5 契約の承認:財務（SAM_APPR_CNTR_FINA）アクティビティを削除します（[契約の承認:財務]ボックスのショートカットメニュー[削除]）。

- 6 契約の承認: 請求書 (SAM_APPR_CNTR_BILL) アクティビティを削除します ([契約の承認: 請求書] ボックスのショートカットメニュー [削除])。
- 7 契約の承認: 法律 (SAM_APPR_CNTR_JURI) アクティビティの詳細画面を表示します ([契約の承認: 法律] ボックスのショートカットメニュー [アクティビティの詳細])。
- 8 [パラメータ] タブを表示します。
- 9 [担当者] リンクの詳細画面を表示します (拡大鏡をクリックします)。
- 10 次のフィールドおよびリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
コンテキスト (ContextTable)	契約 (amContract)
タイプ (seType)	式で表されたされたグループ
Script (memScript)	<pre>Const STRJURI="CNTRJURI" RetVal=amDbGetLong("SELECT g.IGroupIId FROM am RelEmplGrpCntr r, amEmplGroup g WHERE r.IGroupIId =g.IGroupIId AND r.ICntrId=" & [ICntrId] & " AND g.BarCode LIKE " & STRJURI & "%") if RetVal=0 Then RetVal=amDbGetLong("SELECT IGroupIId FROM amEmplGroup WHERE BarCode ='sysSam _CNTR_JURI")</pre>

- 11 変更を保存して ([変更] ボタン)、ワークフローの役割の詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 12 アクティビティの詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 13 Windowsクライアント: すべてのウィンドウを閉じます。

承認 (「PC3-高田」氏) を依頼する

- 1 最高情報責任者「PC3-高田」としてデータベースに接続していない場合は接続します:
 - Windowsクライアント: [ファイル / データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント: 右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	takada
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 3 現在の契約が「PC3-001」であることを確認します。

そうでない場合は選択します（ [作業対象の契約を選択] ボタン）。

- 4 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [契約の承認依頼] ボタンをクリックします。
これにより、契約の承認を依頼（sysSamReqContractApproval）ウィザードがトリガされます。
- 7 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ]、 [戻る] を使用）。

フィールドまたはリンク	レコード
[契約の承認を依頼] ページ	
契約の承認を依頼	はい

- 8 ウィザードで定義されたすべてのパラメータを確定します（ [終了] ボタン）。
- 9 ウィザードを終了します（ [OK] ボタン）。
- 10 ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。

契約（「PC3 - 安藤」）の予算の承認を却下する

- 1 最高財務責任者「PC3 - 安藤」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント： [ファイル/データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント： 右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	andou
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 AssetCenterによって、「未読のメッセージがあります。今すぐ開封しますか?」というメッセージが表示されます。
- 3 未読のメッセージを表示します（ [はい] ボタン）。
これにより、メッセージを読む（sysCoreReadMsg）ウィザードがトリガされます。
- 4 [次へ] をクリックします。
ウィザードには、契約の承認が保留中であることを通知するメッセージが表示されます。
- 5 ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。

- 6 現在のタスクを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。
- 7 契約の承認：予算タスクを選択します。
- 8 契約を却下します（ [契約の却下] に続いて [変更] ）。
- 9 タスクのリストを閉じます（ [閉じる] ボタン）。
- 10 最高情報責任者「PC3-高田」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント： [ファイル / データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	takada
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 11 AssetCenterによって、「未読のメッセージがあります。今すぐ開封しますか？」というメッセージが表示されます。
- 12 未読のメッセージを表示します（ [はい] ボタン）。
これにより、メッセージを読む（sysCoreReadMsg）ウィザードがトリガされます。
- 13 [次へ] をクリックします。
契約が却下されたこと、承認サイクルを再開できる旨を「PC3-高田」氏に通知するメッセージの詳細がウィザードに表示されます。
- 14 ウィザードを終了します（ [終了] ボタン）。

契約を変更して承認用に再提出する（「PC3-高田」氏）

- 1 「PC3-高田」としてデータベースに接続していることを確認します。
- 2 現在のタスクを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。
- 3 タスク却下により再処理が必要な契約を選択します。
- 4 却下されたばかりの契約の詳細画面を表示します（ [詳細] ボタン）。
- 5 次の表に示すフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
初回金 (mIntPay)	3000

- 6 変更を保存します（ [変更] ）。
- 7 契約の詳細画面を閉じます（ [閉じる] ボタン）。

- 8 契約の承認サイクルを再開始します（ [はい] に続いて [変更] ）。
- 9 タスクのリストを閉じます（ [閉じる] ボタン）。

予算の観点から契約を承認する（「PC3-手塚」氏）

- 1 会計士「PC3-手塚」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント： [ファイル/データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	tezuka
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 契約の承認ワークフローチャートではメッセージが承認グループの責任者にしか送信されないので、メッセージがあることはAssetCenterによって通知されません。
- 3 現在のタスクを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ワークフローのタスク] リンク）。



注意:

「PC3-手塚」は、予算承認タスクに「PC3-予算の承認」グループのメンバーとしてアクセスできます。

- 4 契約の承認：予算タスクを選択します。
- 5 契約を承認します（ [契約の承認] に続いて [変更] ボタン）。
- 6 タスクのリストを閉じます（ [閉じる] ボタン）。

法律の観点から契約を承認する（「PC3-寺井」氏）

- 1 法律顧問「PC3-寺井」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント： [ファイル/データベースに接続] メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	terai
パスワード	空白のまま残します。

フィールド	値
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 AssetCenterによって、「未読のメッセージがあります。今すぐ開封しますか？」というメッセージが表示されます。
- 3 未読のメッセージを表示します（[はい]ボタン）。
これにより、メッセージを読む（sysCoreReadMsg）ウィザードがトリガされます。
- 4 [次へ]をクリックします。
ウィザードには、契約の承認が保留中であることを通知するメッセージが表示されます。
- 5 ウィザードを終了します（[終了]ボタン）。
- 6 現在のタスクを表示します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/ワークフローのタスク]リンク）。
- 7 契約の承認: 法律タスクを選択します。
- 8 契約を承認します（[契約の承認]に続いて[変更]ボタン）。
- 9 タスクのリストを閉じます（[閉じる]ボタン）。

承認ステータスについて常に通知を受ける（「PC3-高田」氏）

- 1 最高情報責任者「PC3-高田」としてデータベースに接続します：
 - Windowsクライアント：[ファイル/データベースに接続]メニュー。
 - Webクライアント：右上にあるアイコンをクリックして接続を解除してから再接続してください。

フィールド	値
接続	実用例を実行するデータベースへの接続
ログイン	takada
パスワード	空白のまま残します。
統合NTセキュリティ使用	いいえ

- 2 AssetCenterによって、「未読のメッセージがあります。今すぐ開封しますか？」というメッセージが表示されます。
- 3 未読のメッセージを表示します（[はい]ボタン）。
これにより、メッセージを読む（sysCoreReadMsg）ウィザードがトリガされます。
- 4 [次へ]をクリックします。
契約が承認されたことを通知するメッセージの詳細画面がウィザードによって表示されます。
- 5 ウィザードを終了します（[終了]ボタン）。

- 6 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 7 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェア契約の作成/変更] オプションを選択します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 [契約承認の進行状況] ボタンをクリックします。
これにより、進行状況が表示されます。
使用可能な情報を参照します。
- 10 進行状況を閉じます ([閉じる] ボタン)。
- 11 ウィザードを終了します ([終了] ボタン)。

実用例1a: ライセンスとインストールに対する単純なカウンタの作成

はじめに

この単純な実用例は、カウンタの基本的な使用法を説明するためのものです。

実用例のシナリオ

- 目的は、PowerPointアプリケーションがどのように導入されているかを調べることです。
- PowerPointのユーザ権限は、ポートフォリオ品目テーブルの「PC1-PowerPoint」というライセンスで記録されます。
ライセンスはユーザと直接にリンクしています。
- PowerPointのインストールは、ポートフォリオ品目テーブルの「PC1-PowerPoint-インストール」というインストールで記録されます。
インストールはユーザと直接にリンクしています。
1つのインストールは2つのライセンスを消費します。
- PowerPointソフトウェアライセンスの使用権限が、[PC1 - マーケティング] コストセンタに与えられます。

実用例の主要段階

- 1 部署とユーザの作成
- 2 ライセンス、インストール、コンピュータモデルの作成
- 3 コンピュータ、ライセンス、インストールのポートフォリオ品目の作成
- 4 カウンタの作成

実行する手順

部署を作成します。

- 1 従業員と部署を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - マーケティング

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 研修

コストセンタを作成する

- 1 コストセンタを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / コストセンタ] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
部署 (Title)	PC1 - マーケティング

フィールドまたはリンク	値
部署 (Title)	PC1 - 研修

従業員を作成します

- 1 従業員と部署を表示します（ナビゲーションバーの [組織 / 従業員] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
部署/姓 (Name)	PC1 - Doe
部署 (Parent)	PC1 - マーケティング
[ファイナンス] タブ	
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - マーケティング

フィールドまたはリンク	値
部署/姓 (Name)	PC1 - Smith
部署 (Parent)	PC1 - 研修

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス]タブ	
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 研修

モデルを作成します

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ
属性 (Nature)	PC1 - コンピュータ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - PowerPoint - ライセンス
[全般]タブ	
属性 (Nature)	PC1 - ライセンス
技術リファレンス(ModelRef)	PC1 - PowerPoint - ライセンス
[ライセンス]タブ	
ライセンスのタイプ (seSoftLicType)	特定ワークステーション

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - PowerPoint - インストール
属性 (Nature)	PC1 - インストール
技術リファレンス(ModelRef)	PC1 - PowerPoint - インストール

ポートフォリオ品目を作成します。

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - コンピュータ
[全般]タブ	
ユーザ (User)	PC1 - Doe
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - マーケティング

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - PowerPoint - ライセンス
[全般]タブ	

フィールドまたはリンク	値
ユーザ (User)	PC1 - Doe
[ライセンス] タブ	
権限 (ISoftLicUseRights)	2

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - PowerPoint - インストール
[全般] タブ	
数量 (fQty)	1
ユーザ (User)	PC1 - Doe
親レコード (Parent)	[PC1-コンピュータ] レコードをリストから選択します

- 3 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 4 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスとインストールの作成/変更] オプションを選択します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [ソフトウェアライセンスとインストール] ページで、[ソフトウェアライセンスの作成] ボタンをクリックします。
これにより、新規ソフトウェアライセンスの作成... (sysSamCreateLicpfi) ウィザードがトリガされます。
- 7 ウィザードのページを次のように入力します (ウィザードページの移動には [次へ]、[戻る] を使用)。

フィールドまたはリンク	レコード
[新規ソフトウェアライセンスの作成] ページ	
既存のソフトウェアライセンスからこの新規ライセンス用のライセンスタイプ (モデル) を選択	[PC1 - PowerPoint - ライセンス] レコードを選択します
[ライセンス情報を入力] ページ	
ラベル (資産タグ)	PC1-001
総数	1
権限	1
ユーザ名	PC1 - Doe
[財務情報] ページ	変更しない
[概要] ページ	
ソフトウェアライセンスの作成後に実行する手順を選択	なし

- 8 [終了] をクリックします。
- 9 [OK] をクリックします。
- 10 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

カウンタを作成します。

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成] をクリックします。
- 5 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェアのインストール/使用のカウンタ方法の選択] ページ	[特定ワークステーション] オプションを選択します
[カウンタのテンプレートを選択] ページ カウンタのテンプレート	[コストセンタ別のインストール、資格および実際の使用(特定ワークステーション)] モデルを選択します
このカウンタをグローバルソフトウェアコンプライアンス管理に使用	いいえ
コンプライアンスレポートで公開しない	はい
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアライセンスを選択] ページ	[PC1 - PowerPoint - ライセンス] モデルを選択します。
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアのインストールを選択] ページ	[PC1 - PowerPoint - インストール] モデルを選択します。
[資格の対象となるコストセンタを選択] ページ	[PC1 - マーケティング] コストセンタを選択します。
[未使用基準の定義] ページ 非使用期間	0
[資格の定義方法を選択] ページ	資格のリストの定義
[資格の対象となるコストセンタを選択] ページ	[PC1 - マーケティング] レコードを選択します
[カウンタの適用範囲の定義] ページ カウンタの適用範囲を制限する	いいえ
[カウンタのその他のパラメータの入力] ページ カウンタ名	PC1 - PowerPointのライセンスとインストールの単純なカウント
契約なし	はい
[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ページ	[カウントの表示/調整/計算] オプションを選択します

- 6 [終了] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [ソフトウェアカウンタの結果] ウィンドウを調べます。

[結果] タブを表示します: 「PC1 - マーケティング 0122」という行に注意してください。

このコストセンタは遵守していません。インストールでは2つの権限が使用されています。コストセンタには、1つのライセンス権限と1つの資格がありません。

ウィザードが作成したカウンタを確認します

- 1 カウンタを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] リンク)。
- 2 [PC1 - PowerPointのライセンスとインストールの単純なカウント] カウンタを選択します。
- 3 画面上部を確認します。

[グループ] (Context): このフィールドのデフォルト値は、[コストセンタ] (amCostCenter) です。実用例1b: 特定の部署にカウンタの範囲を制限 [献 124]で、このフィールドの使用目的と、[適用範囲] (Definition) フィールドとの関連付けについて説明しています。

- 4 [全般] タブを表示します。カウントはここに一覧表示されます。
- 5 [権限] タブを表示します。

ウィザードによって、[カウントする権限の範囲] (LicQuery) リンクに関連付けられたクエリが作成されます。これは、モデルが [PC1 - PowerPoint - ライセンス] であるポートフォリオ品目を識別するために用いられます。

[権限計算モード] (seLicCountMode) は、[ポイントカウント] に設定されます。カウンタは権限ポイントを考慮します。

- 6 [資格] タブを表示します。

ウィザードによって、[カウントする資格の範囲] (EntContext) リンクに関連付けられたクエリが作成されます。これは、[PC1 - マーケティング] コストセンタに関連付けられている部署と従業員を識別するために用いられます。

- 7 [インストール/使用] タブを表示します。

ウィザードによって、[カウントするインストール/使用の範囲] (SoftInstQuery) リンクに関連付けられたクエリが作成されます。これは、モデルが [PC1 - PowerPoint - インストール] であるポートフォリオ品目を識別するために用いられます。

[インストール/使用計算モード] (seInstallCountMode) は、[ポイントカウント] に設定されます。カウンタは権限ポイントの消費を考慮します。

実用例1b: 特定の部署にカウンタの範囲を制限

はじめに

この単純な実用例は、以下の場合のカウンタの原則を説明するためのものです。

- [グループ] (Context) リンクで選択されたテーブルのレコードをフィルタする範囲を定義します。

この実用例のシナリオは、以下の点を除いて実用例1aと同一です。

- カウンタは、部署「PC1 - マーケティング」の各ユーザについて、PowerPoint に対して取得されたライセンス数を宣言された確認済インストール数と比較します。

実用例の主要段階

- 1 最初の手順は実用例1aと一致します。
- 2 ライセンスモデルを変更します。
- 3 カウンタの変更。

必要条件

この実用例は、必ず実用例1および1aを最後まで実行してから実行する必要があります。

実行する手順

ライセンスを変更する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 [PC1 - PowerPoint - ライセンス] を選択します。
- 3 以下の表に示すフィールドとリンクを入力して、レコードを変更します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
ユーザ (User)	PC1 - マーケティング
[ライセンス] タブ	
ライセンスのタイプ (seSoftLicType)	インストールまたは使用による

カウンタを作成する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。

- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、[ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成] をクリックします。
- 5 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェアのインストール/使用のカウンタ方法の選択] ページ	[インストールまたは使用による] オプションを選択します。
[カウンタのテンプレートを選擇] ページ	
カウンタテンプレート	[部署/従業員別のインストール、資格および実際の使用(インストールと使用)] モデルを選択します
このカウンタをグローバルソフトウェアコンプライアンス管理に使用	いいえ
コンプライアンスレポートで公開しない	はい
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアライセンスを選擇] ページ	[PC1 - PowerPoint - ライセンス] モデルを選択します。
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアのインストールを選擇] ページ	[PC1 - PowerPoint - インストール] モデルを選択します。
[未使用基準の定義] ページ	
非使用期間	0
[資格の定義方法を選択] ページ	資格のリストの定義
[資格の対象となるコストセンタを選択] ページ	[PC1 - マーケティング] レコードを選択します
[カウンタの適用範囲の定義] ページ	
カウンタの適用範囲を制限する	はい
[カウンタの適用範囲の定義] ページ	
部署と従業員	[PC1 - マーケティング] レコードを選択します
部署全体を選択	はい
[カウンタのその他のパラメータの入力] ページ	
カウンタ名	PC1b- マーケティング部署のPowerPointインストール
契約なし	はい
[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ページ	[カウンタの表示/調整/計算] オプションを選択します

- 6 [終了] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [ソフトウェアカウンタの結果] ウィンドウを調べます。
[結果] タブを表示します：「PC1- マーケティング 0122」という行に注意してください。
このコストセンタは遵守していません。インストールでは2つの権限が使用されています。コストセンタには、1つのライセンス権限と1つの資格がありません。

実用例1c: 権限の内部割り当て

はじめに

この単純な実用例は、特定資格を使用するカウンタの原則を説明するためのものです。

実用例のシナリオ

- 目的は、会社の内部資格方針に照らしてPowerPointがどのように導入されているかを調べることです。
- PowerPointに対する内部ユーザ権限が [特定資格] テーブルに指定されていません。
- PowerPointのインストールは、ポートフォリオ品目テーブルにPC1-PowerPoint-インストールというインストールで記録されます。
インストールはユーザのコンピュータにリンクしています。
1つのインストールは1つのライセンスを消費します。
- カウンタは、特定資格 [PC1c-PowerPointの特定ユーザ権限] に記載された各ユーザについて、PowerPointに対して宣言されたユーザ権限を記録済のインストールと比較します。

実用例の主要段階

- 1 最初の手順は実用例1、1aおよび1bと一致します。
- 2 特定資格を作成します。
- 3 カウンタの作成

必要条件

この実用例は、必ず実用例1、1aおよび1bを最後まで実行してから実行する必要があります。

実行する手順

モデルを作成する

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1c - PowerPoint - ライセンス
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
属性 (Nature)	PC1 - ライセンス
[ライセンス] タブ	
ライセンスのタイプ (seSoftLicType)	固定ユーザ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1c - PowerPoint - インストール
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - インストール

ポートフォリオ品目を作成する

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1c - PowerPoint - ライセンス
[全般] タブ	
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 研修
[ライセンス] タブ	
権限 (ISoftLicUseRights)	1

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1c - PowerPoint - インストール
[全般] タブ	
数量 (fQty)	1
親レコード (Parent)	[PC1-コンピュータ]レコードをリストから選択します

特定資格の作成

- 1 特定資格を表示します (ナビゲーションバーの [組織 / 特定資格] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力することによって、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1c - PowerPointに対する固定ユーザ権限
[作成] をクリックして続けます。	
[資格を持つ従業員/部署] タブ	
	PC1 - Doe

フィールドまたはリンク	値
	PC1 - Smith

カウンタを作成する

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、 [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成] をクリックします。
- 5 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	レコード
[ソフトウェアのインストール/使用のカウンタ方法の選択] ページ	[固定ユーザ] オプションを選択します。
[カウンタのテンプレートを選択] ページ	
カウンタテンプレート	「コストセンタ別のコンプライアンスと資格(特定ユーザ)」を選択します
このカウンタをグローバルソフトウェアコンプライアンス管理に使用	いいえ
コンプライアンスレポートで公開しない	はい
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアライセンスを選択] ページ	[PC1c - PowerPoint - ライセンス] モデルを選択します。
[ソフトウェアアプリケーションタイプを基にソフトウェアのインストールを選択] ページ	[PC1c - PowerPoint - インストール] モデルを選択します。
[未使用基準の定義] ページ	ページはそのままにします。
[資格の定義方法を選択] ページ	特定資格を選択
[資格の対象となる特定資格の選択] ページ	[PC1c - PowerPoint に対する固定ユーザ権限] 権限を選択します。
[カウンタの適用範囲の定義] ページ	
カウンタの適用範囲を制限する	いいえ
[カウンタのその他のパラメータの入力] ページ	
カウンタ名	PC1c - PowerPoint に対する固定ユーザ権限
契約なし	はい
[ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] ページ	[カウントの表示/調整/計算] オプションを選択します

- 6 [終了] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

カウンタの結果を調べる

[PC1 - Doe] の1行、 [PC1 - Smith] の1行が存在します。
どちらのコストセンタも、内部方針に適合しています（資格）。
[PC1 - マーケティング] コストセンタがライセンスを遵守していません。

実用例1d: 実際のソフトウェア使用の考慮

はじめに

この単純な実用例では、インストール / 使用の実際の使用を考慮する場合のカウンタの機能を説明します。

シナリオは、カウンタがソフトウェアの実際の使用を考慮することを除いて実用例1bと同じです。

実用例の主要段階

- 1 最初の手順は実用例1、1aおよび1bと一致します。
- 2 インストールの使用に関する情報を追加します。
- 3 カウンタを作成します。

必要条件

この実用例は、必ず実用例1、1aおよび1bを最後まで実行してから実行する必要があります。

実行する手順

インストールの使用情報を入力する

- 1 ソフトウェアのインストールを表示します（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェアのインストール] リンク）。
- 2 [PC1 - PowerPoint - インストール] を選択します。
- 3 以下の表に示すフィールドとリンクを入力して、レコードを変更します。

フィールド	値
[使用] タブ	

フィールド	値
前回の使用 (dtLastUse)	現在の日時の2ヶ月前

未使用基準の定義

- 1 [ソフトウェアの管理] (sysSamLauncher) ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理...] リンク)。
- 2 [ソフトウェアの管理] ページで、 [ソフトウェアライセンスの照合更新] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [ソフトウェアライセンスの照合更新] ページで、 [カウンタを変更] ボタンをクリックします。
- 5 [PC1 - PowerPointのライセンスとインストールの単純なカウント] レコードを選択します。
- 6 [インストール] ボタンをクリックします。
- 7 これにより、考慮に入れるインストールモデルのリストの変更... (sysSamAddInst2Counter) ウィザードがトリガされます。
- 8 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	レコード
[考慮に入れるインストールモデルのリストの変更] ページ	
非使用の期間	30日
ウィザードの実行後にカウンタの結果を再計算	はい

- 9 [終了] をクリックします。
- 10 [OK] をクリックします。
- 11 [PC1 - PowerPointのライセンスとインストールの単純なカウント] カウンタの [ソフトウェアカウンタの結果] ウィンドウの上部分を調べます。
[インストール/使用カウント] フィールド (dSoftInstallCount) が実用例1bのように2に設定されますが、 [未使用のインストール] フィールド (dUnusedInstall) が2に設定されます。
- 12 [PC1 - PowerPointのライセンスとインストールの単純なカウント] カウンタの [ソフトウェアカウンタの結果] ウィンドウの下部分を調べます。
実用例1bの場合は、「PC1 - マーケティング」の行があります。
この結果は、インストールポイント数に対して十分なライセンスを所有していないこと、および、ソフトウェアが [PC1 - マーケティング] コストセンタで使用されていないことを示します。ソフトウェアを使用していない場合はアンインストールします。

実用例2: Microsoft Select契約

はじめに

この詳細な実用例は、Microsoft Select契約を管理する方法を示します。

Microsoft Select 6.0契約について

- これらは中規模から大規模の会社を対象としています。
- 3年間のターゲット購入数量に基づいています。
このターゲット数量は、以下の製品グループで会社が購入しようとしているライセンスの合計数を対象とします。
 - アプリケーション製品
 - システム製品
 - サーバ製品
- これらのグループのそれぞれにおいて、最善の料率が得られるように会社は購入を調整することができます。
ソフトウェアの価値はそれぞれ異なるため、Selectプログラムではライセンスをカウントする代わりに、ライセンスポイントという方式を採用しています。
また、ライセンスポイントが使用可能な場合、顧客は自動的にソフトウェアをコピーしてこれらのコピーを使用することができます。
- 価格レベルは4つあり、3つの製品グループのそれぞれにおける3年間のターゲット購入数量に基づいて決まります。
- 以下の購入方法を選択できます。
 - ライセンスのみ (L)。
ライセンス (L) は、ソフトウェア製品のフルバージョンのインストールを可能にします。
 - ソフトウェアアシュアランス (SA)
SAライセンスは、Select契約の期間中に、すべてのアップデート (メジャー、マイナー、サービスパック、パッチなど) の権限を保障します。
 - ライセンス+ソフトウェアアシュアランス (L+SA)

実用例でのMicrosoft Select契約に関する基本的情報

- 開始日: 2003年1月1日
- 終了日: 2006年12月31日
- 主契約は、会社とMicrosoftとの間のマスター契約です。
マスターリースは、アプリケーションプールへの新ライセンスの取得を対象とする一括発注契約にリンクしています。この契約は特に、3年間のターゲットポイント数 (1500ポイント) を定義しています。この契約はまた、新ライ

センス（1回だけ取得される）の取得に対するリファレンスとしても用いられます。

一括発注契約は、アプリケーションプールのライセンスのアシュアランスを対象としたメンテナンス契約にリンクしています。

- 会社は契約の範囲内で、ExcelとProjectの2つのアプリケーションを導入します。
- この契約が発効するまでは、会社は100個のExcelライセンスと10個のProjectライセンスを所有していました。
100個のExcelライセンスは、Selectソフトウェアアシュアランスの対象となります。
10個のProjectライセンスのアップデートは、Select契約の対象ではありません。
- 会社はSelectソフトウェアアシュアランスを含む300個のExcelライセンスを新たに購入します。
また、ソフトウェアアシュアランスを含まない120個のProjectライセンスを新たに購入します。

実用例で管理する側面

- 取得ポイント数を確認し、契約ターゲットと比較します（契約の経済的側面）。
特殊フィールドを使って、ターゲットポイント数と実際に取得されたポイント数が比較されます。
- インストール数がライセンス数に適合することを確認します。
カウンタを使って、インストール数と購入ライセンス数が比較されます。

実用例の主要段階

- 1 属性とモデルの作成。
- 2 契約の作成。
- 3 ポートフォリオ品目の作成。
- 4 カタログリファレンスの作成。
- 5 依頼と発注の作成。
- 6 特殊フィールドの作成。
- 7 カウンタの作成

実行する手順

属性を作成します

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/属性]リンク）。

- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - コンピュータ
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	コンピュータ (amComputer)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ
ソフトウェアをインストール (bHasSoftInstall)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - ライセンス
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
管理条件 (seMgtConstraint)	資産タグ
ライセンス (bSoftLicense)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - インストール
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (seOverflowTbl)	ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - 一括発注契約
作成 (seBasis)	契約
契約タイプ (seCntrType)	一括発注

ブランドを作成します

- 1 ブランドを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ブランド] リンク)。
- 2 存在しない場合は、以下の表に示すようにフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	Microsoft

任意管理項目の単位を作成します

- 1 単位を表示します (ナビゲーションバーの [管理 / システム / 単位] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	ポイント
次元 (Dimension)	カウント
	注意: 「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。
記号 (Symbol)	pt.
	注意: 「値 'XXX' をリストデータ 'YYY' に追加しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。
変換係数 (fConv)	0

モデルと契約の任意管理項目を作成します

- 1 任意管理項目を表示します (ナビゲーションバーの [管理 / 任意管理項目 / 任意管理項目] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
	ライセンスモデルと関連付けるこの任意管理項目は、1つのライセンスを購入したときに取得されるポイント数を定義します。
タイトル (TextLabel)	PC2SelectPointsL
[入力] タブ	
入力タイプ (seDataType)	数値
単位 (Unit)	ポイント

フィールドまたはリンク	値
	ライセンスモデルと関連付けるこの任意管理項目は、契約の3年目 (ソフトウェアアシュアランスの残り期間が1年未満) に1つのライセンスを購入したときに取得されるソフトウェアアシュアランスポイント数を定義します。
タイトル (TextLabel)	PC2SelectPointsSA1
[入力] タブ	
入力タイプ (seDataType)	数値

フィールドまたはリンク	値 ライセンスモデルと関連付けるこの任意管理項目は、契約の3年目（ソフトウェアアシュアランスの残り期間が1年未満）に1つのライセンスを購入したときに取得されるソフトウェアアシュアランスポイント数を定義します。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位 (Unit)	ポイント
-----------	------

フィールドまたはリンク	値 ライセンスモデルと関連付けるこの任意管理項目は、契約の2年目（ソフトウェアアシュアランスの残り期間が1～2年）に1つのライセンスを購入したときに取得されるソフトウェアアシュアランスポイント数を定義します。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

タイトル (TextLabel)	PC2SelectPointsSA2
------------------	--------------------

[入力] タブ	
---------	--

入力タイプ (seDataType)	数値
----------------------	----

単位 (Unit)	ポイント
-----------	------

フィールドまたはリンク	値 ライセンスモデルと関連付けるこの任意管理項目は、契約の1年目（ソフトウェアアシュアランスの残り期間が2～3年）に1つのライセンスを購入したときに取得されるソフトウェアアシュアランスポイント数を定義します。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ラベル (TextLabel)	PC2SelectPointsSA3
-----------------	--------------------

[入力] タブ	
---------	--

入力タイプ (seDataType)	数値
----------------------	----

単位 (Unit)	ポイント
-----------	------

フィールドまたはリンク	値 特定のプールに対する一括発注契約と関連付けるこの任意管理項目は、ポイントターゲットを定義します。
-------------	-------------------------------------------------------

ラベル (TextLabel)	PC2SelectPointsTarget
-----------------	-----------------------

[入力] タブ	
---------	--

入力タイプ (seDataType)	数値
----------------------	----

単位 (Unit)	ポイント
-----------	------

任意管理項目にパラメータを追加します

- 1 任意管理項目を表示します（ナビゲーションバーの [管理 / 任意管理項目 / 任意管理項目] リンク）。
- 2 任意管理項目 [PC2PointsSelectL] を選択します。

- 3 [パラメータ]タブを表示します。
- 4 パラメータを追加します ([+] ボタン)。
- 5 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
テーブル (TableName)	モデル (amModel)

- 6 [PC2SelectPointsSA1]、[PC2SelectPointsSA2]、および [PC2SelectPointsSA3] の各任意管理項目に対して、同じ手順を実行します。
- 7 任意管理項目 [PC2SelectPointsTarget] を選択します。
- 8 [パラメータ]タブを表示します。
- 9 パラメータを追加します ([+] ボタン)。
- 10 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
テーブル (TableName)	契約 (amContract)

モデルを作成します

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / モデル] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - コンピュータ
[全般]タブ	
属性 (Nature)	PC2 - コンピュータ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - Excel - ライセンス
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般]タブ	
属性 (Nature)	PC2 - ライセンス
[任意管理項目]タブ	
PC2SelectPointsL	1
PC2SelectPointsSA1	1
PC2SelectPointsSA2	1
PC2SelectPointsSA3	2

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - Project - ライセンス

フィールドまたはリンク	値
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC2 - ライセンス
[任意管理項目] タブ	
PC2SelectPointsL	4
PC2SelectPointsSA1	2
PC2SelectPointsSA2	4
PC2SelectPointsSA3	6

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - Microsoft Select - プール
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC2 - 一括発注契約

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC2 - Excel - インストール
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC2 - インストール

契約を作成します

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
	主契約。
リファレンス (Ref)	PC2MSML
目的 (Purpose)	PC2 - Microsoft Select - マスターリース
タイプ (seType)	マスターリース
契約ステータス (seStatus)	有効
[全般] タブ	
支払属性 (sePayType)	なし
開始日 (dStart)	2006年1月1日
終了日 (dEnd)	2006年12月31日

フィールドまたはリンク	値
	[アプリケーション] プールの新規ライセンスの取得を対象とする一括発注契約。
リファレンス (Ref)	PC2MSA1
目的 (Purpose)	PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - 取得

フィールドまたはリンク	値
	[アプリケーション]プールの新規ライセンスの取得を対象とする一括発注契約。
タイプ (seType)	一括発注
モデル (Model)	PC2 - Microsoft Select - プール
[全般]タブ	
親契約 (Parent)	[PC2MSCC (PC2 - Microsoft Select - マスターリース)] 契約をリストから選択します。
支払属性 (sePayType)	なし
開始日 (dStart)	2006年1月1日
終了日 (dEnd)	2006年12月31日
[任意管理項目]タブ	
PC2SelectPointsTarget	1500

フィールドまたはリンク	値
	[アプリケーション]プールのライセンスのソフトウェアアシュアランスを対象とするメンテナンス契約。
リファレンス (Ref)	PC2MSA2
目的 (Purpose)	PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - アシュアランス
タイプ (seType)	メンテナンス
契約ステータス (seStatus)	有効
[全般]タブ	
親契約 (Parent)	[PC2MSA1 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - 取得)] 契約をリストから選択します。
支払属性 (sePayType)	賃貸料
開始日 (dStart)	2006年1月1日
終了日 (dEnd)	2006年12月31日

コストセンタを作成します

- 1 コストセンタを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / コストセンタ] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
部署 (Title)	PC2 - 国内マーケティング

ポートフォリオ品目を作成します。

- 1 ポートフォリオ品目を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
	Select契約の開始以前に取得されたExcelライセンス。
モデル (Model)	PC2 - Excel - ライセンス
[全般] タブ	
数量 (fQty)	100
コストセンタ (CostCenter)	PC2 - 国内マーケティング
[ライセンス] タブ	
権限 (ISoftLicUseRights)	1

フィールドまたはリンク	値
	Select契約の開始以前に取得されたProjectライセンス。
モデル (Model)	PC2 - Project - ライセンス
[全般] タブ	
数量 (fQty)	10
コストセンタ (CostCenter)	PC2 - 国内マーケティング
[ライセンス] タブ	
権限 (ISoftLicUseRights)	1

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC2 - コンピュータ
[全般] タブ	
コストセンタ (CostCenter)	PC2 - 国内マーケティング

フィールドまたはリンク	値
	Select契約の開始以前に行われたExcelインストールで、Selectソフトウェアアシュアランスの対象となるもの。
モデル (Model)	PC2 - Excel - インストール
[全般] タブ	
数量 (fQty)	1
親レコード (Parent)	「PC2-コンピュータ」レコードをリストから選択します
[ソフトウェアのインストール] タブ	
ポイント数 (IUseCount)	1

サプライヤを作成します

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理 / 会社] リンク)。
- 2 存在しない場合は、以下の表に示すようにフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	Microsoft

製品を作成します

- 1 製品を表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / 製品] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - Excel - ライセンス
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC2 - Excel - ライセンス

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - Project - ライセンス
ブランド (Brand)	Microsoft
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC2 - Project - ライセンス

カタログを作成します

- 1 カタログを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / カタログ] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	Microsoft
レコードの作成を有効にします ([作成] ボタン)	
[サプライヤ]	[Microsoft] にリンクを追加します
デフォルトのサプライヤ (DefSuppCat)	Microsoft

リファレンスを作成します

- 1 リファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ / カタログリファレンス] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	Microsoft
製品 (CatProduct)	PC2 - Excel - ライセンス

フィールドまたはリンク	値
価格 (sysCoreCatRefPrice)	200

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	Microsoft
製品 (CatProduct)	PC2 - Project - ライセンス
価格 (sysCoreCatRefPrice)	800

マスタリースからライセンスおよびアシュアランス依頼を作成します

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
目的 (Purpose)	PC2 - License + Excelソフトウェアアシュアランス
番号 (PONumber)	PC2-01

フィールドまたはリンク	値
目的 (Purpose)	PC2 - Projectライセンス
番号 (PONumber)	PC2-02

フィールドまたはリンク	値
目的 (Purpose)	PC2 - Excelアシュアランス
番号 (PONumber)	PC2-03

[PC2-01] 依頼の依頼明細を作成します

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 依頼 [PC2-01] を選択します ([番号] (PONumber))。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 以下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下の依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
数量 (fQty)	300

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (CatalogRef)	[PC2 - Excel - ライセンス (Microsoft) - PC2 - Excel - ライセンス] レコードをリストから選択します。

 **ヒント:**

Windowsクライアントで次の行を正しく作成するには、あらかじめ [変更] ボタンを使って依頼のレベルで最初の行を含めて保存しておく必要があります。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
数量 (fQty)	1
[依頼する契約] (UsedReqLineCntr) フィールドの右側のアイコン	クリック
[数量] (fQty) フィールドの下のドロップダウンリスト	使用契約
[使用契約] の値を持つドロップダウンリストの右側のフィールド	[PC4MSA2 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - アシュアランス)] レコードをリストから選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	300 PC2 - Excel - ライセンス

[PC2-02] 依頼の依頼明細を作成します

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 依頼 [PC2-02] を選択します ([番号] (PONumber))。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 以下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下の依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	20
リファレンス (CatalogRef)	[PC2 - Project - ライセンス (Microsoft) - PC2 - Project - ライセンス] レコードをリストから選択します。

[PC2-03] 依頼の依頼明細を作成します

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 依頼 [PC2-03] を選択します ([番号] (PONumber))。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 以下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下の依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
数量 (fQty)	1
[依頼する契約] (UsedReqLineCntr) フィールドの右側のアイコン	クリック
[数量] (fQty) フィールドの下のドロップダウンリスト	使用契約
[使用契約] の値を持つドロップダウンリストの右側のフィールド	[PC4MSA2 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - アシュアランス)] レコードをリストから選択します。
[依頼する品目] (UsedReqLineAsset) フィールドの右側のアイコン	クリック
[使用契約] の値を持つドロップダウンリストの下のドロップダウンリスト	使用資産
[使用資産] の値を持つドロップダウンリストの右側のフィールド	Microsoft PC2 - Excel - ライセンス

発注 [PC2-01] および [PC2-02] の作成、発行、および受領

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 依頼 [PC2-01] を選択します ([番号] (PONumber))。
- 3 [見積]、[終了] を順にクリックし、[**OK**] をクリックして、提示された値をそのまま使用します。
- 4 依頼から生成された発注の詳細で以下の手順を実行します。
 - a 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC2-01
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	2006年3月31日

- b [明細] タブを表示します。
- c 発注明細の詳細を表示します。
- d 発注明細の詳細で、[配賦] タブを表示します。
- e 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
コストセンタ (CostCenter)	PC2 - 国内マーケティング

- f 発注明細の詳細で、[ファイナンス] タブを表示します。
- g 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
一括発注 (bUsesBlanketPO)	はい
一括発注契約 (BlanketPOCntr)	[PC2MSA1 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション)] レコードをリストから選択します。

- h 発注への変更を保存します ([変更] ボタン)。
- 5 [発行] をクリックし、[終了] をクリックします。[**OK**] をクリックして提示された値をそのまま使用します。
 - 6 [受領]、[終了] を順にクリックし、[**OK**] をクリックして、提示された値をそのまま使用します。
 - 7 発注の受領時に作成されたこのポートフォリオ品目の詳細を確認します。
 - 8 Windowsクライアント：Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。
 - 9 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
 - 10 依頼 [PC2-02] を選択します ([番号] (PONumber))。
 - 11 [見積] をクリックし、[終了] をクリックします。提示された値をそのまま使用します。[**OK**] をクリックします。
 - 12 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC2-02
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	2006年3月31日

- 13 依頼から生成された発注の詳細で、以下の手順を実行します。
 - a [明細] タブを表示します。
 - b 発注明細の詳細を表示します。
 - c 発注明細の詳細で、[配賦] タブを表示します。
 - d 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
コストセンタ (CostCenter)	PC2 - 国内マーケティング

- e 発注明細の詳細で、[ファイナンス] タブを表示します。
- f 下の表に示すフィールドとリンクに記入します。

フィールドまたはリンク	値
一括発注 (bUsesBlanketPO)	はい

フィールドまたはリンク	値
一括発注契約 (BlanketPOCntr)	[PC2MSA1 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション)]レコードをリストから選択します。

- g 発注への変更を保存します ([変更] ボタン)。
- 14 購入依頼から作成された見積で、 [発行] をクリックしてから [終了] をクリックします。提示された値をそのまま使用します。 [OK] をクリックします。
 - 15 購入依頼から作成された発注の詳細で、 [受領] をクリックしてから [終了] をクリックします。提示された値をそのまま使用します。 [OK] をクリックします。
 - 16 発注の受領時に作成されたこのポートフォリオ品目の詳細を確認します。
 - 17 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

依頼 [PC2-03] を実行します

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達 / 購入依頼] リンク)。
- 2 依頼 [PC2-03] を選択します ([番号] (PONumber))。
- 3 [ステータス] フィールド (seStatus) を [承認済] に設定します。
- 4 [変更] をクリックします。
- 5 [実行] をクリックし、 [終了] をクリックします。提示された値をそのまま使用します。 [OK] をクリックします。
- 6 [明細] タブを表示します。
- 7 依頼明細 [契約の使用] の詳細を表示します。
- 8 [Microsoft PC2 - Excel - ライセンス] に設定されたフィールドの右側の拡大鏡をクリックします。
- 9 [契約] タブを表示します。
資産が契約 [PC2MSA2 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - アシュアランス)] にリンクされているはずですが。
- 10 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

ポイントトラッキングのための特殊フィールドを作成します

- 1 特殊フィールドを表示します (ナビゲーションバーの [管理 / システム / 特殊フィールド] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

ヒント:

マニュアルの「chm」からAssetCenterにスクリプトをコピーすることをお勧めします。

フィールドまたはリンク	値
タイトル (TextLabel)	PC2 - ライセンスポイント
SQL名 (SQLName)	PC2L
テーブル (TableName)	契約 (amContract)
フィールドタイプ (seType)	BASICスクリプト
結果のデータ型 (seDataType)	数値
特殊フィールドスクリプト (Script)	RetVal = AmDbGetDouble("SELECT SUM(fQty * CatalogRef.CatProduct.Model.fv_PC2SelectPointsL) FROM amPOrdLine WHERE BlanketPOCntr = " & [ICntrlId] & " AND POrder.dtSent >= #" & [dStart] & "# AND POrder.dtSent <= #" & [dEnd] & "#")

スクリプトの説明:

- RetVal =: スクリプトが値を返します。
- AmDbGetDouble(...): 返される値は倍精度の値 (8バイト) です。
- FROM amPOrdLine: このクエリは、 [発注明細] テーブルを検索します。
- WHERE BlanketPOCntr = " & [ICntrlId] & " AND POrder.dtSent >= #" & [dStart] & "# AND POrder.dtSent <= #" & [dEnd] & "#": [発注明細] テーブルのレコードは、 [一括発注契約] (BlanketPOCntr) によって契約とリンクされる必要があります。発注明細が属する発注は、契約の開始 ([dStart] フィールド) のあと、契約の終了 ([dEnd] フィールド) の前に発行されている ([POrder.dtSent] フィールドへのリンク) 必要があります。
- SUM(fQty * CatalogRef.CatProduct.Model.fv_PC2PointsSelectL): このクエリは、発注明細のカタログリファレンスの製品モデルに関連する任意管理項目値 [fv_PC2PointsSelectL] ([CatalogRef.CatProduct.Model.fv_PC2PointsSelectL] リンク) を、WHERE(...)句で選択された発注明細のそれぞれに対して合計します (SUM(...))。

フィールドまたはリンク	値
タイトル (TextLabel)	PC2 - Select - アシュアランスポイント
SQL名 (SQLName)	PC2SA
テーブル (TableName)	契約 (amContract)
フィールドタイプ (seType)	BASICスクリプト
結果のデータ型 (seDataType)	数値

フィールドまたはリンク	値
Script (特殊フィールドスクリプト)	<pre> RetVal = AmDbGetDouble("SELECT SUM(Asset.fTotalQty * Asset.Model.fv_PC2SelectPointsSA1) FROM amAstCntrDesc WHERE ICntrId = " & [ICntrId] & " AND dCntrIncluded >= #" & (Year([dStart]) + 2) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#" AND dCntrIncluded < #" & (Year([dStart]) + 3) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#") RetVal = RetVal + AmDbGetDouble("SELECT SUM(Asset.fTotalQty * Asset.Model.fv_PC2SelectPointsSA2) FROM amAstCntrDesc WHERE ICntrId = " & [ICntrId] & " AND dCntrIncluded >= #" & (Year([dStart]) + 1) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#" AND dCntrIncluded < #" & (Year([dStart]) + 2) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#") RetVal = RetVal + AmDbGetDouble("SELECT SUM(Asset.fTotalQty * Asset.Model.fv_PC2SelectPointsSA3) FROM amAstCntrDesc WHERE ICntrId = " & [ICntrId] & " AND dCntrIncluded >= #" & (Year([dStart]) + 0) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#" AND dCntrIncluded < #" & (Year([dStart]) + 1) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#") </pre>

スクリプトの最初のRetVal=の説明:

- RetVal=: スクリプトが値を返します。
わかりやすくするため、計算は3つの部分に分かれて行われます。 RetVal= RetVal + ...
- AmDbGetDouble(...): 返される値は倍精度の値 (8バイト) です。
- FROM amAstCntrDesc: このクエリは、 [契約上の資産] テーブルを検索します。
- ICntrId = " & [ICntrId] & ": WHERE句の最初の条件。
契約の対象となる資産は、 [ICntrId] フィールドで示される現在の契約とリンクされている必要があります。
- dCntrIncluded >= #" & (Year([dStart]) + 2) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#: WHERE句の2番目の条件。
契約の対象となる資産は、契約の開始後最低2年間含まれている ([dCntrIncluded] フィールド) 必要があります。
基準日の区切りには「#」文字が用いられます。
基準日は、契約開始の年、月、日 ([dStart] フィールド) を連結することにより構成されます。
これにより、「#YYYY-MM-DD#」という形式の日付が得られます。

- `dCntrlIncluded < #" & (Year([dStart]) + 3) & "-" & Month([dStart]) & "-" & Day([dStart]) & "#:` WHERE句の3番目の条件。
契約の対象となる資産は、契約の開始後最低3年間含まれている（ [**dCntrlIncluded**] フィールド）必要があります。
- `SUM(Asset.fTotalQty * Asset.Model.fv_PC2PointsSelectSA3):` このクエリは、WHERE句で選択された契約の対象となる資産の総数（ fTotalQty ）フィールドと任意管理項目 [PC2PointsSelectSA3] の積を合計します。
この任意管理項目によって、ライセンスが契約の最初の年、すなわちソフトウェアアシュアランスの残り期間が2～3年のときに取得されたライセンスに対してカウントされるソフトウェアアシュアランスポイントの数が決まります。

特殊フィールドと契約の任意管理項目を表示します



注意:

この操作を実行できるのは、Windowsクライアント使用時のみです。
AssetCenter Database Administratorを使用してウィンドウをカスタマイズして、詳細ウィンドウやWebクライアントのリストに特殊フィールドが表示されるようにする必要があります。

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約 / 契約] リンク）。
- 2 リストのヘッダーを右クリックします。
- 3 ショートカットメニューから [ユーティリティ / リストの設定] を選択します。
- 4 特殊フィールド [PC2 - Select - アシュアランスポイント（PC2SA）] および [PC2 - Select - ライセンスポイント（PC2L）] を追加します。
- 5 [**OK**] をクリックします。
- 6 [PC2MSA1] および [PC2MSA2] 契約に対して追加した値を確認します。

Excelカウンタに必要なクエリを作成します

- 1 クエリを表示します（ナビゲーションバーの [管理 / クエリ] リンク）。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクを入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	ライセンスとインストールを考慮するコストセンタの識別情報。
テーブル (TableName)	PC2 - コストセンタ1
[クエリ] タブ	コストセンタ (amCostCenter)

フィールドまたはリンク	値
	ライセンスとインストールを考慮するコストセンタの識別情報。
クエリ (memQueryText)	Title = 'PC2 - 国内マーケティング'

フィールドまたはリンク	値
	Excelライセンスの識別情報
名前 (Name)	PC2 - Excel - ライセンス
テーブル (TableName)	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)
[クエリ]タブ	
クエリ (memQueryText)	Model.Name = 'PC2 - Excel - ライセンス'

フィールドまたはリンク	値
	Excelライセンスの識別情報
名前 (Name)	PC2 - Excel - インストール
テーブル (TableName)	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)
[クエリ]タブ	
クエリ (memQueryText)	Model.Name = 'PC2 - Excel - インストール'

Excelカウンタを作成します

- 1 カウンタを表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ] リンク)。
- 2 下の表に示すフィールドとリンクに入力して、以下のレコードを作成します。

フィールドまたはリンク	レコード
名前 (Name)	PC2 - Excel - ライセンス管理
テンプレートとして使用 (bType)	いいえ
コンプライアンスには含めない (bInternal)	はい
ウィザードを使用してカウンタを編集 (bAutomated)	いいえ
権限カウント (bCountLic)	はい
インストール/使用カウント (bCountInst)	はい
資格カウント (bCountEnt)	いいえ
グループ (Context)	コストセンタ (amCostCenter)
適用範囲 (Definition)	PC2 - コストセンタ1
ライセンス契約 (Contract)	[PC2MSA1 (PC2 - Microsoft Select - アプリケーション - 取得)] レコードをリストから選択します。
[ライセンス]	
権限カウンタのコンテキスト (LicContext)	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)
カウント制限(ライセンス) (LicQuery)	PC2 - Excel - ライセンス

フィールドまたはリンク	レコード
権限 -> グループリンク (LicGroupBy)	CostCenter
	<p>注意:</p> <p>AssetCenterでは、ユーザが入力や貼り付けた文字列の最後にピリオド (フルストップ) が自動的に追加されます。</p> <p>入力した文字列を有効にするには、このピリオド (フルストップ) を削除する必要があります。</p>
権限計算モード (selLicCountMode)	計算式によるカウント
権限カウントのフィールド (LicCountFormula)	SUM((fQty * Asset.ISoftLicUseRights))
[インストール/使用] タブ	
インストール/使用カウンタのコンテキスト (InstContext)	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)
カウント制限(インストール) (SoftInstQuery)	PC2 - Excel - インストール
インストール/使用 -> グループリンク (InstGroupBy)	Parent.CostCenter
	<p>注意:</p> <p>AssetCenterでは、ユーザが入力や貼り付けた文字列の最後にピリオド (フルストップ) が自動的に追加されます。</p> <p>入力した文字列を有効にするには、このピリオド (フルストップ) を削除する必要があります。</p>
インストール/使用計算モード (selInstallCountMode)	計算式によるカウント
インストール / 使用の計算式 (InstCountSQL)	Countdistinct(IParentId)

- 3 [計算] ボタンをクリックします。
- 4 [全般] タブを表示します。カウントはここに一覧表示されます。
- 5 [結果] タブを表示します。カウントの詳細はここに示されます。

 **注意:**

Projectに対するカウンタも同様の方法で作成できます。

11 用語集

ここは、ソフトウェア資産管理で使用する用語の用語集です。

 **注意:**

語順は五十音順ではありません。

ソフトウェアのインストール/使用

ソフトウェアのインストール/使用は、データベース内ではポートフォリオ品目で表現されます。

ソフトウェアを物理的にコンピュータにインストールする際、ソフトウェアをコンピュータのコンポーネントとして宣言できます。

ソフトウェアを物理的にインストールする必要がない場合、ソフトウェアをユーザと関連付けることができます。

ここで定義する使用と、ソフトウェアアプリケーションの使用頻度を反映する実際の使用とを混同しないでください。

ソフトウェアライセンス

ソフトウェアライセンスとは、ユーザ権限（インストール可能数、データベースアクセス数など）を説明する資産です。

例: AssetCenterデータベースへの1000アクセスを許可するライセンス。

ライセンスの契約上の側面は、契約レベルで記述します。

ライセンスの権限

ソフトウェアカウンタは、ライセンス権限をカウントし、ライセンスとカウントしたインストール/使用とを比較します。

ソフトウェアカウンタ

ソフトウェアカウンタを使用して、権限とインストール/使用カウントとを照合します。

これらのカウントまとめてグループにできます（ユーザ別、コストセンタ別など）。

カウンタで実行できることを以下に挙げます。

- ソフトウェアプロバイダとの遵守を確認する
- 内部ポリシーの遵守を確認する

カウンタは、ソフトウェア以外のものをカウントするのに簡単に使用できます。

特定資格

権限とインストール/使用をカウントするソフトウェアカウンタです

権限では、単純クエリを使用して、カウントの基準として使用されるレコードを識別できることがよくあります（たとえば、会計部署の全従業員など）。

ただし、単純クエリを常に定義できるとは限りません（たとえば、使用するレコードに共通の特徴がない場合など）

この場合、選択対象レコードが1つづつ一覧される、特定資格を定義する必要があります。

棚卸されたモデルの正常化

棚卸されたモデルの正常化は、棚卸データベースからのソフトウェアインストールモデルから、AssetCenterの限られた個数のソフトウェアインストールモデルへのマッピングにより構成されます。

これを行うことで、ソフトウェアインストールの整理と構成を簡単に効率的に行えます。

ITIL

ITIL (Information Technology Infrastructure Library) とは、ITサービス管理の方法体系です。

この方法体系は、ベストプラクティスの試行と試験のライブラリから構成されます。

数多くの組織がITIL研修と認証を、コンサルタントサービスと併せて提供しています。

12 参考情報

ナビゲーションバー、メニューとタブ

以下に挙げるWindowsクライアントのナビゲーションバーリンクとメニューは、ソフトウェア資産モジュールに直接リンクされています。

表 12.1. ソフトウェア資産モジュールのナビゲーションバーリンク、メニューとタブ - 一覧

メニューとナビゲーションバーリンク	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールド、またはリンク	コメント	関連するマニュアルの章
ファイルモジュールの起動	N/A	N/A	ライセンスファイルがモジュールを承認する場合は、ソフトウェア資産モジュールを有効または無効にすることができます。	マニュアル『カスタマイズ』のパート1「クライアントコンピュータのカスタマイズ」にある、「クライアントワークステーションのカスタマイズ」の章、「モジュールの起動」の節を参照してください。

メニューとナビゲーションパーリンク	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールド、またはリンク	コメント	関連するマニュアルの章
[ポートフォリオ / ポートフォリオ品目]メニュー [ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目]リンク	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	<ul style="list-style-type: none"> [ソフトウェアのインストール]タブ [使用]タブ [ライセンス]タブ 		<ul style="list-style-type: none"> 方法2: メニューを使用する [献 47] 方法2: メニューを使用する [献 48]
[ポートフォリオ / 資産とロット]メニュー [ポートフォリオ管理 / 資産]リンク	資産 (amAsset)	<ul style="list-style-type: none"> [ライセンス]タブ 		
[ポートフォリオ / ソフトウェアのインストールと使用]メニュー [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェアのインストール]リンク	ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)	<ul style="list-style-type: none"> すべて 		ソフトウェアのインストールと使用の管理 [献 55]
[ポートフォリオ / 属性]メニュー [ポートフォリオ管理 / 属性]リンク	属性 (amNature)	<ul style="list-style-type: none"> [オーバーフローテーブル]フィールド (OverflowTbl) [ソフトウェアをインストール]フィールド (bHasSoftInstall) [ライセンス]フィールド (bSoftLicense) 		<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアのインストール/使用を手動で作成する [献 62] ソフトウェアライセンスの属性を作成する [献 45]
[ポートフォリオ / モデル]メニュー [ポートフォリオ管理 / モデル]リンク	モデル (amModel)	<ul style="list-style-type: none"> [ソフトウェアのインストール]タブ [ライセンス]タブ 		<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアのインストール/使用を手動で作成する [献 62] 方法2: メニューを使用する [献 46]

メニューとナビゲーションバーリンク	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールド、またはリンク	コメント	関連するマニュアルの章
[ポータルフォリオ / 特定資格] メニュー [組織 / 特定資格] リンク	特定資格 (amEntitlement)	<ul style="list-style-type: none"> すべて 		ソフトウェア資格の管理 [献 51]
[ソフトウェア / ソフトウェア資産管理] メニュー [ポータルフォリオ管理 / IT / ライセンス / ソフトウェアの管理] リンク	N/A	N/A	ソフトウェアの管理ウィザードをトリガします。	レコードの作成方法 [献 25]
[ソフトウェア / コントロールパネル] メニュー [ポータルフォリオ管理 / IT / ライセンス / コントロールパネル] リンク	N/A	N/A	レポートコントロールパネルを表示します。	方法 : ナビゲーションバーのリンクを使用する [献 91]
[ソフトウェア / 確定版ソフトウェアの保管庫] メニュー [ポータルフォリオ管理 / IT / ライセンス / 確定版ソフトウェアの保管庫] リンク	モデル (amModel)	<ul style="list-style-type: none"> [ソフトウェアのインストール] タブ 	[オーバーフローテーブル] フィールド (OverflowTbl) が「ソフトウェアのインストール」 (amSoftInstall) に設定されている属性にリンクされた [モデル] テーブル (amModel) のレコードのリストを表示します。	
[ポータルフォリオ管理 / IT / ライセンス / 棚卸されたソフトウェアキー] リンク	棚卸されたモデル (amInventModel)	<ul style="list-style-type: none"> すべて 		AssetCenterデータベースでのインポート結果 [献 57]

メニューとナビゲーションパーリンク	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールド、またはリンク	コメント	関連するマニュアルの章
[ソフトウェア/ソフトウェアカウンタの結果]メニュー [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタの結果]リンク	ソフトウェアカウンタ (amSoftLicCounter)	■ すべて	モデルではない全カウンタの一覧を表示し、選択したカウンタの結果も表示します。 カウンタの再計算、ウィザード使用によるカウンタの変更、ライセンス権限とインストール/使用間の不整合の解決にも使用できます。	ソフトウェアカウンタの結果の更新 [献 84]
[ソフトウェア/ソフトウェアカウンタ]メニュー [ポートフォリオ管理/ソフトウェアカウンタ]リンク	ソフトウェアカウンタ (amSoftLicCounter)	■ すべて		方法3: カウンタを直接作成する [献 79]
[契約/契約]メニュー [契約/契約]リンク	契約 (amContract)	■ [ライセンス]タブ		方法2: メニューを使用する [献 32]
[契約/マスターリース]メニュー [ポートフォリオ管理/IT/ライセンス/契約]リンク	契約 (amContract)	■ [ライセンス]タブ		方法2: メニューを使用する [献 32]
[ツール/アクション/編集]メニュー [管理/アクション]リンク	アクション (amAction)	■ すべて		マニュアル『はじめに』の「参考情報」の章、「アクション」の節を参照してください。
[ツール/アクション/<アクション名>]メニュー ナビゲーションバー上複数の場所は、アクションの機能ドメインによって異なります。	N/A	N/A	状況に依存しないアクションや、状況が成立している状況依存アクションにアクセスできません。 選択されたアクションをトリガします。	アクションとウィザード [献 166]

メニューとナビゲーションパーリンク	アクセスするテーブル (テーブル名とSQL名)	専用のタブ、フィールド、またはリンク	コメント	関連するマニュアルの章
[ツール/ツールバーのカスタマイズ]メニュー	N/A	N/A	ツールバーに対して、アイコンを追加または削除できるようになります (ポートフォリオカテゴリ)。	Windowsクライアントツールバーのアイコン [献 160]
[ツール/レポート機能/レポート]メニュー [管理/レポート機能/レポート]リンク	レポート (amReport)	■ すべて		レポートと書式 [献 173]
[ツール/レポート機能/書式]メニュー [管理/レポート機能/社内用書式]リンク	内部用書式 (amForm)	■ すべて		レポートと書式 [献 173]
[管理/画面一覧]メニュー	N/A	N/A	メニューからアクセスできないテーブルを表示します。 このようなテーブルは直接変更してはならないため、管理者のみが同メニューにアクセスできます。	マニュアル『はじめに』の「レコードリスト」の章、「リストを使用する」の節を参照してください。
[管理/リストデータ]メニュー [管理/システム/リストデータ]リンク	リストデータ (amItemizedList)	■ すべて		リストデータ [献 164]
[管理/カウンタ]メニュー [管理/システム/カウンタ]リンク	カウンタ (amCounter)	■ すべて		カウンタ [献 166]
[管理/特殊フィールド]メニュー [管理/システム/特殊フィールド]リンク	特殊フィールド (amCalcField)	■ すべて		特殊フィールド [献 165]

この表には、ソフトウェア資産モジュールに含まれ、ナビゲーションバーの[ポートフォリオ管理/IT/ライセンス] ブランチに表示される、アクションやレポートは一覧されません。

Windowsクライアントツールバーのアイコン

ソフトウェア資産モジュール向け、Windowsクライアントのツールバーアイコンはありません。

ツールバーのカスタマイズに関する詳細は、マニュアル『カスタマイズ』のパート1「クライアントコンピュータのカスタマイズ」にある、「クライアントワークステーションのカスタマイズ」の章、「ツールバーのカスタマイズ」の節を参照してください。

Windowsクライアントのインターフェースのオプション

ソフトウェア資産モジュール専用のWindowsクライアントインターフェースオプションはありません。

インターフェースのオプション設定に関する詳細は、マニュアル『カスタマイズ』のパート1「クライアントコンピュータのカスタマイズ」にある、「クライアントワークステーションのカスタマイズ」の章の「AssetCenterインターフェースオプション」を参照してください。

テーブル

ソフトウェア資産モジュールでは、多数のテーブルが使用されます。以下に挙げるテーブルは、直接ソフトウェア資産モジュールにリンクされています。

表 12.2. ソフトウェア資産モジュールのテーブル - 一覧

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルにアクセスするために使用するナビゲーションバーにあるリンク	関連するマニュアルの章
一般的なテーブル			

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルにアクセスするために使用するナビゲーションバーにあるリンク	関連するマニュアルの章
ポートフォリオ品目	amPortfolio	ポートフォリオ管理 / ポートフォリオ品目	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアライセンスの作成 [献 46] ■ ソフトウェアのインストール/使用を手動で作成する [献 62]
モデル	amModel	ポートフォリオ管理 / モデル	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアライセンスモデルを作成する [献 46] ■ ソフトウェアのインストール/使用のモデルを作成する [献 62]
属性	amNature	ポートフォリオ管理 / 属性	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアライセンスの属性を作成する [献 45] ■ ソフトウェアのインストール/使用の属性を作成する [献 61]
ソフトウェア専用テーブル			
契約	amContract	契約 / 契約	ソフトウェアライセンス管理 [献 31]
特定資格	amEntitlement	組織 / 特定資格	ライセンスのための特定資格を作成する [献 51]
ソフトウェアカウンタ	amSoftLicCounter	ポートフォリオ管理 / ソフトウェアカウンタ [管理 / 画面一覧]、 [ソフトウェアカウンタ(以前の形式)] 行	インストールのライセンスコンプライアンスを監視する [献 71]
権限/使用カウント	amRightsUsesCount	[管理 / 画面一覧]、 [権限/使用カウント] 行	定期削除 [献 85]
ソフトウェアのインストールまたは使用	amSoftInstall	ポートフォリオ管理 / ソフトウェアのインストール	ソフトウェアのインストールと使用の管理 [献 55]
棚卸されたモデル	amInventModel	ポートフォリオ管理 / IT / ライセンス / 棚卸されたソフトウェアキー	AssetCenterデータベースでのインポート結果 [献 57]

テーブル名	テーブルのSQL名	テーブルにアクセスするために使用するナビゲーションバーにあるリンク	関連するマニュアルの章
作成するインストール	amModelSoftInfo	[管理 / 画面一覧]、 [作成するインストール] 行	

テーブルの関係

ソフトウェア資産モジュールでは、多数のAssetCenterデータベースが使用されます。これらのテーブル間には多数のリンクが存在します。これらのリンクがあるため、ある定義された順番でテーブルを入力することが便利であることが分かります。

以下で記述する入力順に必ずしも従う必要はありません。AssetCenterでは、リンクするテーブルで欠けているレコードを必要に応じて作成することができます。リンクされているテーブルの一覧とレコードの能率的な入力順は、以下の表のとおりです。

本マニュアルで記述したシナリオ例では、以下の入力順に従って操作が進められています。

表 12.3. テーブル間の依存関係 - 表

テーブル (テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル (テーブル名とSQL名)	必須の値	自動的に作成されるレコード
場所 (amLocation)			
部署と従業員 (amEmplDept)	場所 (amLocation)		
契約 (amContract)	部署と従業員 (amEmplDept)		

テーブル (テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要のあるテーブル (テーブル名とSQL名)	必須の値	自動的に作成されるレコード
属性 (amNature)		[作成] (SQL名: seBasis) フィールド: ポートフォリオ品目 [オーバーフローテーブル] (SQL名: seOverflowTbl) フィールド: (テーブルなし) [管理条件] (SQL名: seMgtConstraint) フィールド: 固有資産タグ [ライセンス] (SQL名: bSoftLicense) フィールド: はい	
モデル (amModel)	属性 (amNature)	[作成] (SQL名: seBasis) フィールド: ポートフォリオ品目 [オーバーフローテーブル] (SQL名: seOverflowTbl) フィールド: ポートフォリオ品目 [管理条件] (SQL名: seMgtConstraint) フィールド: 個別管理しない	
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	モデル (amModel)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 資産 (amAsset) ■ ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall) ■ 権限/使用カウント (amUsageCnt)

テーブル(テーブル名とSQL名)	前もって入力する必要があるテーブル(テーブル名とSQL名)	必須の値	自動的に作成されるレコード
特定資格 (amEntitlement)	部署と従業員 (amEmplDept)		
クエリ (amQuery)			
カウンタ (amCounter)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部署と従業員 (amEmplDept) ■ モデル (amModel) ■ クエリ (amQuery) ■ ポートフォリオ品目 (amPortfolio) ■ 特定資格 (amEntitlement) 		権限/使用カウント (amRightsUsesCount)

リストデータ

フィールドに値を入力する際に、リストデータ（オープン/クロズド）を使って値を選択する場合があります

[リストデータ] (SQL名: **amItemizedList**) テーブルにアクセスするには、[管理/リストデータ] メニューを選択します。

ソフトウェア資産モジュール専用のリストデータを以下に挙げます。

表 12.4. リストデータ - 一覧

テーブル(テーブル名とSQL名)	リストデータを使って入力するフィールド(フィールド名とSQL名)	リストデータの識別子
ソフトウェアカウンタ (amSoftLicCounter)	属性 (Type)	amSLCountNature
ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)	言語 (Language)	amLanguage
ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)	OS (SoftOS)	amOS
ソフトウェアのインストールまたは使用 (amSoftInstall)	ステータス (Status)	amSoftInstStatus
契約 (amContract)	属性 (Nature)	amCntrNature

テーブル(テーブル名とSQL名)	リストデータを使って入力するフィールド(フィールド名とSQL名)	リストデータの識別子
契約 (amContract)	ステータス (Status)	amCntrStatus

リストデータの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「リストデータ」の章を参照してください。

特殊フィールド

ソフトウェア資産モジュールでは、多数の特殊フィールドが使用されます。
ソフトウェア資産モジュール専用の特殊フィールドを以下に挙げます。

表 12.5. 特殊フィールド - 一覧

特殊フィールドの名前	特殊フィールドのSQL名	特殊フィールドの適用先 テーブル (テーブル名 とSQL名)	使用
インストール済み生産性ソフトウェア数	sysSamOfficeInst	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	プログラミング
生産性ソフトウェアライセンス数	sysSamOfficeLic	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	プログラミング
使用ポイント数	sysSamUses	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	プログラミング
ライセンスポイント数	sysSamLicences	ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	プログラミング

特殊フィールドの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「特殊フィールド」の章を参照してください。

スクリプトの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「スクリプト」の章を参照してください。

APIの使用に関する情報は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

カウンタ

ソフトウェア資産モジュールでは、カウンタは使用しません。

[カウンタ] (SQL名: amCounter) テーブルにアクセスするには、ナビゲーションバーにある [管理/システム/カウンタ] リンクを選択します。

アクションとウィザード

ソフトウェア資産モジュールでは、一般的なタスクを自動化するためにアクションを使用します。

[アクション] (SQL名: amAction) テーブルにアクセスするには、ナビゲーションバーにある [管理/アクション] リンクを選択します。

ポートフォリオとソフトウェア資産の各モジュールにリンクされたアクションをフィルタするには、以下に挙げるフィールドの1つで単純フィルタを使用します。

- [ドメイン] (SQL名: Domain) フィールド
- [属性] (SQL名: Domain) フィールド

以下に挙げるアクションは、ソフトウェア資産モジュールに直接リンクされていません。

表 12.6. アクションとウィザード - 一覧

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成	sysSamCreateSoftwareCounter	ウィザード		方法1: [ソフトウェアライセンス管理カウンタの作成...] (sysSamCreateSoftwareCounter) ウィザードを使用して複雑なカウンタを作成する [献 76]
単純カウンタの作成	sysSamSimpleSoftCounterCreate	ウィザード		方法2: [単純カウンタの作成] ウィザード (sysSamSimpleSoftCounterCreate) を使用して単純カウンタを作成する [献 78]
全ソフトウェアのインストール数の計算	BstSamComputeAllLicAndInstall	スクリプト		「ライセンス数の定期検証」ワークフローチャートの主な機能 [献 89]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
ソフトウェアのコントロールパネル	BstSamDashBoard	コントロールパネル		コントロールパネルをカスタマイズする [献 91]
ライセンス数超過に関する管理者へのメール	BstSamLicenses_exceeded	メッセージシステム	amSoftLicCounter	ライセンス数超過の場合に自動メッセージを送信する [献 88]
見つからないソフトウェア割り当て	BstSamMissingSoftware	スクリプト	amComputer	前回のコンピュータのスキャンで見つからなかったソフトウェアにフラグを設定する [献 60]
違反ソフトウェアのインストールに関して管理者にメール	BstSamUnauthinstallation_found	メッセージシステム	amSoftInstall	違反インストールが発生した場合に自動メッセージを送信する [献 64]
ASPユーザの追加	sysSamAddAspUsers2Ctr	ウィザード		ユーザを現在のASP契約に追加 [献 68]
ソフトウェアライセンスタイプ (モデル) を作成...	sysSamCreateLicModel	ウィザード		ソフトウェアライセンスの作成 [献 46]
インストールからソフトウェアライセンスモデルを作成...	sysSamCreateLicModFromInst	ウィザード		ソフトウェアライセンスの作成 [献 46]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
新規ソフトウェアライセンスの作成...	sysSamCreateLicpfi	ウィザード		<ul style="list-style-type: none"> 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する [献 46] これにより、新規ソフトウェアライセンスの作成 (sysSamCreateLicpfi) ウィザードが開始します。 [献 46]
特定資格の依頼を作成...	sysSamCreateReqFromEntitledTemp	ウィザード		方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する [献 48]
ソフトウェア契約(原案)を作成...	sysSamCreateSoftContract	ウィザード		<ul style="list-style-type: none"> ライセンス契約を作成する [献 31] ライセンス契約を変更する [献 41]
ASPユーザの削除...	sysSamDelAspUsersFromCntr	ウィザード		現在のASP契約からユーザを削除 [献 68]
OEMインストールをフラグ...	sysSamFlagOEMInst	ウィザード		OEMインストールとしてインストールをフラグ [献 67]
現在のソフトウェア契約を選択...	sysSamGetEnv	ウィザード		ソフトウェアの管理 ウィザード (sysSamLauncher) で現在の契約を選択する [献 33]
ソフトウェアコンプライアンスの問題を解決...	sysSamIdentifyIllegallInstall	ウィザード		インストール/使用とライセンス間の不整合を処理する [献 86]
ソフトウェアの管理...	sysSamLauncher	ウィザード		レコードの作成方法 [献 25]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
ライセンスおよびソフトウェアのインストールの準備...	sysSamLicenseProcess	ウィザード		<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアライセンスの作成 [献 46] 方法1: [ソフトウェアの管理] ウィザード (sysSamLauncher) を使用する [献 48]
請求明細を契約にリンク...	sysSamLinkInvoices2Cntr	ウィザード		請求明細を現在の契約にリンク [献 43]
権限数とインストール数を再計算	sysSamReCalcCounters	ウィザード		インストール/使用とライセンス間の不整合を処理する [献 86]
外部ソフトウェアライセンスモデルの照合更新...	sysIvtReconcExtModelWiz	ウィザード	amInventModel	[棚卸しされたモデル] (amInventModel) テーブルに新しいレコードが作成されたときにトリガされる自動処理 [献 59]
契約の承認を依頼...	sysSamReqContractApproval	ウィザード		現在の契約の承認を依頼する [献 39]
外部モデルの照合更新を伝達	SYS_RES_MOD_ACT01	スクリプト	amInventModel	インポートによってトリガされる自動処理 [献 59]
考慮に入れるインストールモデルのリストの変更...	sysSamAddInst2Counter	ウィザード	amSoftLicCounter	ソフトウェアカウンタを変更する [献 82]
考慮に入れるライセンスモデルのリストの変更...	sysSamAddLic2Counter	ウィザード	amSoftLicCounter	ソフトウェアカウンタを変更する [献 82]
カウンタの適用範囲の定義	sysSamAddScope2Counter	ウィザード	amSoftLicCounter	ソフトウェアカウンタを変更する [献 82]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト (テーブルのSQL名)	関連するマニュアルの章
ソフトウェアライセンスの依頼...	sysSamCreateLicReq	ウィザード		新規ソフトウェアライセンスを依頼する [献 48]
ソフトウェアの割り当て...	sysSamEntitleUserOrItem	ウィザード		ライセンスのための特定資格を作成する [献 51]
ソフトウェアライセンスを変更...	sysSamModifyLicpfi	ウィザード		ソフトウェアライセンスの変更 [献 47]
不明なインストールと既知のソフトウェアのインストールとの照合更新...	sysSamNormalizeModels	ウィザード		不明なインストールの照合更新 [献 66]

アクションの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「アクション」の章を参照してください。

スクリプトの詳細に関しては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「スクリプト」の章を参照してください。

APIの使用に関する情報は、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

新しいアクションの作成や、既存のアクションのカスタマイズが可能です。

ワークフロー

ソフトウェア資産モジュールでは、ワークフローチャートを使用して特定の手続きを処理します。

[ワークフローチャート] (amWfScheme) テーブルにアクセスするには、ナビゲーションバーにある [管理/ワークフロー/ワークフローチャート] リンクをクリックします。

以下に挙げるワークフローチャートが、ソフトウェア資産モジュールに直接リンクされています。

表 12.7. ワークフロー - 一覧

ワークフローチャートの名前	ワークフローチャートのリファレンス	ワークフローチャートのコンテキスト (テーブルの SQL名)	関連するマニュアルの章
ライセンス数の不足	BST_SAM01	amSoftLicCounter	ライセンス数超過の場合に自動メッセージを送信する [献 88]
ライセンス数の定期検証	BST_SAM02	amSoftLicCounter	ソフトウェアカウンタを定期的に検証する [献 89]
違反インストール	BST_SAM03	amSoftInstall	違反インストールが発生した場合に自動メッセージを送信する [献 64]
前回のスキャンで見つからなかったソフトウェアの検出	BST_SAM20	amComputer	前回のコンピュータのスキャンで見つからなかったソフトウェアにフラグを設定する [献 60]
契約の承認	sysSam_CNTR_APPR	amContract	概要 [献 34]
モデルの正常化: 'amInventModel'が解決されました	syslvtExtModelEnd	amInventModel	[棚卸しされたモデル] (amInventModel) テーブルに新しいレコードが作成されたときにトリガされる自動処理 [献 59]
モデルの正常化: 'amInventModel'が追加されました	syslvtExtModelNew	amInventModel	[棚卸しされたモデル] (amInventModel) テーブルに新しいレコードが作成されたときにトリガされる自動処理 [献 59]
モデルの正常化: 'amPortfolio'が変更されました	syslvtExtModelSync	amPortfolio	[棚卸しされたモデル] テーブルの既存のレコードがソフトウェアインストールに最初にリンクされたときにトリガされる自動処理 [献 60]

ワークフローの詳細については、『AssetCenterの高度な使い方』ガイドの「ワークフロー」の章を参照してください。

新しいワークフローチャートを作成するか、既存のワークフローチャートをカスタマイズすることができます。

AssetCenter Serverモジュール

AssetCenter Serverモジュールの一部は、ソフトウェア資産モジュール専用です。
AssetCenter Serverモジュールを表示するには、次の手順に従います。

- 1 AssetCenter Serverを起動します。
- 2 AssetCenterデータベースに接続します。
- 3 [ツール/モジュールの設定] メニューを選択します。

表 12.8. AssetCenter Server モジュール - 一覧

モジュール名	説明
WkGrlddAcoupSYS_SAM	実行グループ'SYS_SAM'にワークフロー規則を適用
EdAc	Enterprise Discovery 棚卸結果を使用してデータベースを更新します。

AssetCenter Serverモジュールの詳細については、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節を参照してください。

システムデータと専門分野データ

AssetCenterは、以下の標準データパッケージと共に提供されています。
これらのデータパッケージは、以下のグループに分類できます。

- システムデータ：AssetCenterの使用に不可欠のデータ
- 専門分野データ：必要に応じて、本番データベースに挿入するデータ
このデータは、機能別に分類されています。
- サンプルデータ：AssetCenterの使用に慣れるために便利なデータ

ソフトウェア資産モジュールに固有のシステムデータ

ソフトウェア資産モジュールには、数多くのテーブル向けデータを含むシステムデータパッケージが含まれます。以下に例を挙げます。

- アクション (amAction)
- スクリプト (amScriptLibrary)
- アプリケーションのオプション (amOption)

システムデータは、デフォルトでAssetCenterデータベースに組み込まれていません。

ソフトウェア資産モジュールに固有の専門分野データ

ソフトウェア資産モジュールには、数多くのテーブル向けデータを含む専門分野データパッケージが含まれます。以下に例を挙げます。

- [従業員グループ] (SQL名: amEmplGroup) テーブル
- ソフトウェアカウンタ (amSoftLicCounter)
- アクション (amAction)
- ワークフローチャート (amWfScheme)
- [リストデータの値] (SQL名: amItemListVal) テーブル
- 棚卸されたモデル (amInventModel)
- レポート (amReport)
- コントロールパネルアイテム (amDashboardItem)

専門分野データは、AssetCenterと共にインストールされるデモ用データベースに自動的に含まれます。

専門分野データを実際のデータベースでも使用するには、AssetCenter Database Administratorでこのオプションを指定する必要があります。

▶ 専門分野の既存データベースへのインポート [献 28].

レポートと書式

AssetCenterには、フォームとレポートが備わっています。このようなフォームとレポートの一部は、ソフトウェア資産モジュール専用です。

レポートと書式をデータベースで使用するには、AssetCenter Database Administratorを使ってインポートを行う必要があります。

ソフトウェア資産モジュール専用のレポートをインポートして識別する

レポートのインポートについては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「Crystal Reports」の章、「レポート作成プログラムの操作とインストール」「既製のCrystal Reportsレポートを実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

ソフトウェア資産モジュール専用のレポートを見分ける方法については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「Crystal Reports」の章、「モジュールに関連するCrystalレポートの識別」の節を参照してください。

ソフトウェア資産モジュール専用の書式をインポートして識別する

書式のインポートについては、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「書式」の章、「既製の書式を実際に使用するデータベースにインストールする」の節を参照してください。

ソフトウェア資産モジュール専用の書式を見分ける方法については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「書式」の章、「モジュールに関連するCrystalレポートの識別」を参照してください。

バックグラウンドプロセス

AssetCenterがバックグラウンドで実行する自動プロセスについては、マニュアル『データベース構造』を参照してください。同マニュアルで記述されている各テーブルの章ごとに、「自動プロセス」という節があります。

▶ [テーブル](#) [献 160].

API

ソフトウェア資産モジュールでは、特定のAssetCenter APIが使用されます。ソフトウェア資産モジュールに関連するAPIの一覧および説明については、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

ビュー

ソフトウェア資産モジュールには、デフォルトのビューがありません。ビューの使用の詳細については、マニュアル『カスタマイズ』のパート1「クライアントコンピュータのカスタマイズ」にある、「クライアントワークステーションのカスタマイズ」の章、「ビューの使用法」の節を参照してください。

その他のマニュアル

このガイドに記載されているのは、ソフトウェア資産モジュールに直接関連している情報のみです。

本マニュアルに加えて、以下のマニュアルを参照することをお勧めします。

表 12.9. その他のマニュアル-リスト

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
インストールとアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> AssetCenterのインストール方法 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*InstallationAndUpgrade*.pdf \doc\chm\install.chm
主要テーブル	<ul style="list-style-type: none"> 場所と従業員の管理 	印刷版 オンライン	\doc\pdf\CommonTables*.pdf \doc\chm\commontables.chm
ユーザインタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアのインタフェース 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*UserInterface*.pdf \doc\chm\userinterface.chm
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> 属性、モデル、ポートフォリオ品目、資産の管理 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*Portfolio*.pdf \doc\chm\portfolio.chm
データベース管理	<ul style="list-style-type: none"> ウィザードの使用 フィールドのカスタマイズ 特殊フィールドの使用 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*Administration*.pdf \doc\chm\administration.chm
AssetCenterの高度な使い方	<ul style="list-style-type: none"> リストデータの管理 スクリプトの作成 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*AdvancedUse*.pdf \doc\chm\advanceduse.chm
フィールドおよびリンクに関する状況依存ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> データベースのフィールドおよびリンクの使用 	オンライン	フィールドまたはリンクに関する状況依存ヘルプにアクセスするには、次の手順に従います。 <ol style="list-style-type: none"> フィールドまたはリンクを選択します。 次のアクションの1つを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 右クリックして、[フィールドのヘルプ]メニューを選択します。 キーボードで [Shift + F1] キーを押します。 [ヘルプ/フィールドのヘルプ]メニューを選択します。
プログラマーズリファレンス	<ul style="list-style-type: none"> APIの使用 	印刷版 オンライン	\doc\pdf*ProgrammersReference*.pdf \doc\progref.chm

マニュアル名	内容	フォーマット	AssetCenterのインストール先フォルダにおけるパス
データベース構造	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベースのテーブル、フィールド、リンク、インデックスの一覧 ■ AssetCenterが自動的にトリガするエージェント 	テキストファイル オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ■ doc\infos\database.txt ■ \infos\tables.txt \doc\chm\dbstructure.chm
標準オンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ アプリケーションの全機能 	オンライン	標準オンラインヘルプにアクセスするには、以下の操作の1つを行います。 <ol style="list-style-type: none"> 1 キーボードで [F1] キーを押します。 2 [ヘルプ/トピックの検索] メニューを選択します。

インデックス

- アイコン, 160
- アクション, 166
- インタフェース - オプション, 160
- インタフェースのオプション, 160
- ウィザード, 166
- カウンタ, 166
- システムデータ, 172
- ソフトウェア
 - (参考 ソフトウェアのインストール)
 - (参考 ソフトウェアライセンス)
 - (参考 ソフトウェア - 管理)
- AssetCenterライセンス, 27
- ITIL
 - 定義, 153
- Microsoft Select, 131
- コントロールパネル, 91
- ステータス, 91
- テーブル, 21
- モジュール, 27
- レコードの作成, 25
- レポート, 92, 91
- 概要, 21
- 管理タイプ, 24
- 契約, 31
 - メンテナンス, 42
- ユーザ - 削除, 68
- ユーザ - 追加, 68
- 現在の契約, 33
- 作成, 31
- 資産, 43
- 承認 - 依頼, 39
- 承認 - 却下, 40
- 承認 - 更新, 41
- 承認 - 受領, 40
- 承認 - 進行状況, 40
- 請求書, 43
- 変更, 42, 41
- 実装, 24
- 実用例, 93
- 正常化
 - 定義, 153
- 物理データモデル, 22
- ソフトウェアカウンタ(参考ソフトウェア-管理)
- ソフトウェアのインストール
 - (参考 ソフトウェア)
- OEM契約, 67
- インポートする, 57
 - トリガされる自動処理, 59
- ソフトウェア使用

- 定義, 151
- テーブル, 63
- ポイント, 63
- モデル, 62
- ライセンスとのリンク, 23
- 権限 - 通知, 64
- 作成
 - Enterprise Discovery, 55
 - 自動化, 55
 - 実際の使用, 63
 - 除却する, 65
 - 消失, 60
 - 属性, 61
 - 定義, 151
- ソフトウェアのインストール/使用
 - 作成, 62
- ソフトウェアのコントロールパネル, 91
- ソフトウェアの管理 (ウィザード), 25
- ソフトウェアライセンス
 - (参考ソフトウェア)
 - モデル, 46
 - ライセンスまたは資格の権限
 - 定義, 152
 - 作成, 47, 46
 - 除却する, 49
 - 照合更新, 66
 - 属性, 45
 - 定義, 152
 - 変更, 48, 47
- ソフトウェアレポート, 92
- ソフトウェア - 管理, 71
 - カウンタ
 - ウィザード, 78
 - ウィザードなしで変更する, 83
 - ソフトウェアの不正を処理する, 86
 - テーブル, 73
 - 旧モードカウンタ, 87
 - 計算, 85
 - 更新, 84
 - 作成, 76
 - 削除, 85
 - 参照フィールド, 80
 - 定期計算, 89
 - 定義, 152
 - 変更, 82
 - 概要, 71
 - 特定資格 - テーブル, 73
 - ソフトウェア使用 (参考ソフトウェアのインストール)
 - ソフトウェア資格 (参考ソフトウェアライセンス)
 - タブ, 155
 - ツール, 160
 - ツールバー, 160
 - テーブル, 160
 - 関係, 162
 - データベース
 - 準備, 28
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 28
 - 新しいデータベース, 28
 - データベース記述ファイルを開く (新規データベースの作成 (オプション)), 28
 - ナビゲーションバー, 155
 - バックグラウンドプロセス, 174
 - ビュー, 174
 - マニュアル, 174
 - メニュー, 155
 - モデルの正常化 (グループ), 56
 - ライセンスまたは資格の権限 (参考ソフトウェアライセンス)
 - リストデータ, 164
 - レポート, 173
 - ワークフロー, 170
 - 契約
 - (参考ソフトウェア)
 - ライセンス, 22
 - 準備タスク, 27
 - 書式, 173
 - 正常化
 - 定義, 153
 - 専門分野データ, 172, 28, 28
 - 棚卸されたモデル, 59
 - 特殊フィールド, 165
 - 特定資格
 - (参考ソフトウェア - 管理)
 - 作成, 51
 - 削除, 52
 - 定義, 152
 - 変更, 52

A

API, 174

AssetCenter Database Administrator

 専門分野データ - インポート

 既存のデータベース, 28

 新しいデータベース, 28

AssetCenter Server

 モジュール, 172

AssetCenter - インストールとアップグレード,

29

C

Connect-It, 55

E

edac-swnorm.scn (シナリオ), 56

I

ITIL

 定義, 153

M

Microsoft Select, 131

S

Select, 131

